夕刊
滿洲日報
四月廿七日
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

政府と軍部の衝突で愈よ軍縮問題重大化す
議會は切拔けても樞府が問題
憂慮さるゝ其成行

【東京二十七日發電】軍縮問題に對する政府の答辯に於て政府側は軍部の意見を無視したる事なしと主張し軍部は政府は軍部の意嚮を蹂躙したものであると揚言し、遂にこの問題は尖鋭化するに至つた而して衆議院に於て政府がよしんばこれを切り拔けるとするも貴族院の方は爾く容易に片附けるを得ざるべく而も最も政府を憂慮せしめつゝあるは樞府の形勢で議會に於ける本問題の形勢は必至的に樞府に反映しつゝあり樞府側では個人的に質問材料を蒐集しつゝあるものもあり從つて該條約の精査委員會は勿論本會議に於ても極めて厄介な事態を惹起するであらうと豫斷され軍縮問題は今や政府の一大暗礁となつた

軍令部の態度は
海相の歸國を待ち決定

【東京二十七日發電】統帥權問題に關し軍令部は首相、外相の議會に於ける演説答辯に極度憤慨し財部海相の歸國を待ち問題を進展せしむるものと見られる、即ち財部海相がロンドン條約に對し
一、反對であるが四圍の事情已むを得ず贊成したものか
二、全然贊成を表し割り當てられた數量にて國防の責任を負ひ得るものと確信せるか
三、又は國防の缺陷は他の方法に依り補はんとしてゐるか

に依り軍令部は一の場合は斷然反對の立場を明かにすべくこの場合に對しては軍令部對海軍省の意見の相違對立抗爭となり相互の進退問題となり三の場合は問題は極めて容易に落着の望みがある、このため財部海相の歸國は問題の進展に極めて重要なる要素となつてゐるので加藤軍令部長は財部海相歸國後直ちに海相と會見其の眞意を確める筈である

たのみで回訓案に反對であると は言つて居ない
一、軍部に對し諒解を得た事は回訓發送當時加藤軍令部長と末次

軍事參議院開會說
海相と軍令部長の會見後に

次長とも會見して政府の所信と帝國の立場を述べ諒解を求め更に濱口首相は海相代理として海軍省部內に對しても同樣の顚末を知らしめたものである

【東京廿七日發電】加藤軍司令部は海相と會見後、ロンドン會議の軍事專門事項に關する件につき軍事參議院の開會方を奏請し以てロンドン條約反對に努めるものと觀られる

樞府の解釋
軍部意見問題を重視

【東京廿七日發電】統帥權問題に關する樞密院側の解釋はこの際最も注目されてゐるが、樞府側の解釋によれば

統帥權無視なりや否やの問題は外相の演說に於ける「軍事專門家の意見を參酌し」、また首相の答辯中「軍部の意見を尊重し」と言ふ其の參酌尊重の程度によりて決する、然るに軍令部長の

聲明の如く軍令部はアメリカ案に對し飽迄反對で政府はこれを押し切りてアメリカ案同意の回訓を發したといふのであればこれは明瞭に憲法蹂躙である、內閣官制第七條、軍令部條例各條より見て憲法第十二條の軍の編制權に關する解釋をせば軍の編制は軍令部長の同意なくしては政府は行ふを得ざるは明瞭な處である、故に政府が事實上軍令部長の主張を無視したものとせば政府は憲法を蹂躙した事となり此の事實の下に於いて締結された條約の批准さるべからざるは勿論である

と言ふにあり此の解釋は憲法の權威たる伊東、金子、平沼の諸顧問官首め

各顧問官 も一致して居るので軍令部長の主張を無視せる事瞭かとなる時は時局は意外に重大化する模樣である

財部海相を途中まで出迎る
一切の國內事情を報告の爲
近日古賀副官が出發

【東京二十七日發電】軍縮條約に關する統帥權問題につき目下ロンドンより歸國の途にある財部海相の言說如何は影響する處甚大なりとし二十六日濱口海相代理出槊海軍次官等協議の結果、海軍省高級副官古賀峰一大佐に右の旨を含めて長春或はハルビンまで財部海相を出迎へせしめ同車せしめて一切の國內事情を報告せしむる事となつた、大佐は近日中出發の豫定である

統帥權問題と政府の解釋

【東京廿七日發電】統帥權問題は議會に於ける政府側の說明答辯によつて貴衆兩院及び軍部の問題となり政友會はもとより貴族院の反政府系は委員會を徹底的に糺彈せばこの一事を以てしても政府に相當傷手を負はし得べしと意氣込んでゐるが一方軍部、樞府方面も同樣對政府態度硬化するに至つたので政府としても單に法理上解釋や說明のみを以てこれに對する譯に行かぬ狀態に陷り其の對策につき憂慮し今後の說明に細心の注意を拂つて感情の融和に努める事となつたが、問題となつて居る議點に就いては左の如く解釋して居る

一、政府が國防の責任を有する事は憲法第十二條にある天皇は陸海軍の編制及び常備兵額を定む

とあるによつて明瞭であり軍令部の意見は參考案として愼重に考慮するもこれに從ふべき理由は毫末もない、即ち該部編制に關しては輔弼の責めにある國務大臣の權限にある事である

一、政府は保有量に關して軍部の意向を參酌せる事は當時海軍及び外務の間に數度接衝せる事によつて瞭で政府獨斷を以て保有量の數字が出よう筈はない然乍ら軍部の意向を參酌したのであるから軍部の意向全部を採用する事は世界の平和と親善の促進國民負擔の輕減から出來なかつた事は遺憾であるが、またやむを得ない事である

一、軍令部長は回訓に對し反對の聲明をなしたと言ふが彼の聲明は當時政府も承知の上の事であるその文案は「米國案には我國の國防上反對である」旨を述べ

立場に窮す海相
全權と軍部との板挾み
軍令部主腦者の決心如何も
政局に重大な影響

【東京二十七日發電】軍縮問題に關する統帥權問題は更に貴族院にも一問題を起し又樞府御諮詢の際には

大論戰を 豫想され軍令部は政府が其の意嚮を無視したものなりと突つぱね軍部對政府の對立尖鋭化せん形勢であるが、この板挾みとなつてゐるのは財部海相で全權としての立場と軍部側としての立場との間に挾まれて殆ど進退に窮してゐるから或は海相の桂冠を見るに至りはせぬかとされてゐる、若し海相にして桂冠せば茲に內閣の一角は崩れその後任を補塡し無事內閣の改造をなし得るや否やは多大の疑問とされ

斯くては 內閣は重大なる危機に直面するものと云はねばならぬ、又軍令部方面の不平不滿の結果加藤軍令部長末次次長の肚裡に重大な決心の潛んでゐる事は軍部再度の聲明に依り看取せらるゝ處であるので若し本案が樞府にて阻止し得られなかつた時は或は國防上の責任を負ひ辭しとして桂冠するに至るやも知れず其の場合果して政府は晏如たり得るや問題であり軍縮問題に依つて濱口內閣は非常な難局に直面したものと見られる【寫眞は財部海相】

衆議院緊張
統帥權問題の惡化で
傍聽人殺到

【東京廿七日發電】軍縮問題に絡む統帥權問題の惡化に急に緊張を來たした議會の空氣に觸るべく廿七日の日曜日開會の衆議院本會議めがけて詰かけた傍聽人は朝來何千を以て註す折柄晩春の快晴院外はポカ〳〵暖かにして既に初夏の氣分を漂はしてゐるが、院內は尾崎行雄氏を先頭に野黨側の猛者登壇政府に互彈を放つべしとの事に殺氣橫溢の感あり衆議院質問戰第二日は漸く油が乘つて來た感あり政府閣僚の顏もただならぬ緊張さがうかがはれる

出淵駐米大使
米奧地を訪問

【ワシントン二十五日發電】出淵大使は豫定通りアメリカ奧地巡回訪問の途に上り知人大使館員等と先づニューオルレアンスに向つた到着は二十八日の豫定で日本人會商業會議所招待會に出で夫よりテキサス、ニューメキシコ、アリゾナ諸州を訪問し西アンセル五月六日、サンフランシスコ五月十二日、シャトル五月二十日、オッタワ六月一日、ワシントン歸着は六月五日の豫定である

馮軍總攻擊の準備
各將領は全部前線へ向ひ出發
馮氏は專心軍事督勵

【天津廿七日發電】鄭州來電に據れば馮玉祥氏は洛陽にて各軍將領と軍事會議を開きたる結果平漢、隴海、津浦各線に近く總攻擊令を下すことに決定したので各將領は二十四日全部前線に向つた、馮氏は黨の問題については一切同氏に任せ、陝甘二省の問題は（一）人身賣買禁止（二）貧民救濟（三）土匪討伐（四）水利提唱（五）吏治整頓の五大政策を確定し之が實施を劉郁芬氏に一任し全軍を率ゐて河南に入り專心軍事を督勵してゐると

は其準備のやうな模樣もないたゞ奉軍の改編は順調に行はれてゐるのみである

反蔣軍の主力
隴海線集中
愈開戰迫る

【天津特電二十七日發】平漢線に於ける山西軍（孫楚、楊效歐の二師、趙承綬の騎兵）は黃河を渡つたが、馮軍と聯合して隴海線の中路を擔任することに決定し準備を整へてゐる、右翼は孫殿英、任應岐兩軍、左翼は石友三、萬選才兩軍で反蔣側の主力は隴海線上に集中されつゝある、津浦線では李生達軍萬城に迫つて韓復榘軍と對峙し、傅作義軍は濮縣から河岸に進出し李石兩軍に呼應して進擊する姿勢を整へた、洛陽軍事會議も終り各將領は鄭州、開封に赴きそれ〲前線に立つたから開戰近しと傳へられてゐる

奉軍進出は事實無根
依然中立態度

【山海關特電二十六日發】平津方面で奉天軍が中央擁護の爲め灤河以西へ進出したとの噂が高いが、右は事實無根で關內の奉軍は依然原駐屯地のまゝで南方の時局に超然たる態度を示してゐる、同時に關外からの入關兵もなく東北政權管轄下の北寧鐵路沿線は引つゞき平穩である、又天津に在る北寧鐵路局が當地に移轉することに決定したとの說も傳つて來たが當地に

は警備を嚴重にすると共に共產黨及蔣派便衣隊狩りに懸命の努力をつゞけてゐる

奉天共產狩
益々峻烈
各學校手入れ

【奉天特電二十七日發】軍警當局の反帝國主義大同盟檢擧は益々峻烈化し逮捕せる首領人物は既に二十餘人に達してゐるが、憲兵司令部の探偵隊は同澤中學校と各小學校を除く以外の全部の各學校に對し連日搜査を續けて居り公安局では各郵便局に人を派し嚴重な郵便物檢查を開始した

赤化の系統
鐵血團の潛入

【奉天二十七日發電】過般來臨が れてゐる奉天省城における共產黨學生の系統につき仄聞するに勞農政府外交委員會より東鐵沿線及び東北省の赤化運動の目的達成のため六十餘名の赤系鐵血團員を東北各主要都市に潛入せしめた模樣あり是等の手により哈市奉天省城の學生青年等が操縱されてゐるものゝ如く赤化委員は各地と巧妙な聯絡をとり活動を續けてゐるので支那側當局は赤化防止に血眼となつてゐる

メーデーに罷業計畫
天津の蔣派狩

南京政府鐵道部勞工科長謝後岑氏は窃に入津し前總工會監察委員張賡祥氏を始め蔣派黨員と共に北寧津浦兩鐵道從業員を買收してメーデーに一大罷業を決行し反蔣側の後方を攪亂せんとしてゐたことが天津警備司令部の爲めに發覺した、張氏は唐山古冶方面の宣傳を終へて歸津したところを直ちに逮捕されて目下嚴重なる取調をうけてゐるが、計畫に相當大規模なものらしく鐵道局では滅に緊張し保安隊を增加して萬一に備へ警備司令部で

奉天で蒙古會議
既に呼倫貝爾の代表來奉
南京側は無期延期

【奉天特電二十七日發】國民政府が外域民族に三民主義政治思想を徹底せしめ且つ行政の統一を目的として本年四月十日から二十日間南京に蒙藏委員會に於て昨年來

積極的に 準備を進め既に各地に於ては蒙古王公の局部的豫備會議を開催した向もあるが、その後時局が急轉して今にも大戰亂勃發せんとする狀況に立至つたので南京に招集する筈の蒙古會議大會は遂に無期延期となるに至つた而して東北政權の勢力範圍に屬する各蒙旗王公は既に大會出席の一切の準備を整えその人名まで確認してゐるので張學良氏は中央の大會の成否は別として豫備會議の立前で東北側だけで蒙王會議を奉天に開催することゝし代表王公三十六人に

招集命令 を發したが、呼倫貝爾代表王公十人は既に二十四日來續々着奉しその他の各地の王公も近日中到着する筈であるから不日會議を擧行すべく張學良氏は蒙旗處を督勵して準備を進めてゐる

東北空軍の大飛行場
三臺子に新設

【奉天特電二十六日發】東北軍は空軍を擴張充實すべく最に東北航空總司令部を新設し張學良氏自ら總司令となり張煥相氏を代理總司令として空軍の發展に鋭意努力中であるが、今回新に北陵の三臺子に大規模の飛行場を建設することゝなり既に土地の測量に着手した

武裝のまゝ支那兵逃亡
帽兒山駐屯軍

【ハルビン特電二十七日發】東支東部線臨江縣帽兒山駐屯の支那兵三百數十名は給料の不拂から武裝した儘逃亡したと言ひ支那官憲は馬賊に入るを恐れ警戒中

胡氏は辭任

【奉天特電二十七日發】王家楨氏の外交次長任命と同時に衞生部次長に任命された奉天派の胡若愚氏は二十六日離奉天津に赴いたが瘧疾の肋膜炎か倚治癒せず當分靜養を要するので衞生次長には就任しないことになつた

四靑訓所が國旗揭揚式
天長の佳節に

市內常盤、沙河口、大廣場、育成の四靑年訓練所では廿九日天長の佳節を奉祝するため同日午前八時から左の如きプログラムで莊嚴なる國旗揭揚式を忠靈塔國旗臺に於て擧行する筈であるが、主催者側では當日は廣く一般市民の參列を希望してゐる

▲開式喇叭「氣ヲ付ケ」▲國旗揭揚喇叭「君ヶ代」吹奏▲「君ヶ代」合唱▲遙拜▲天皇陛下萬歲三唱▲國旗降下喇叭「君ヶ代」吹奏▲閉式喇叭「解散」

上田市庶務係主任辭表提出

大連市役所庶務係主任上田馬志平氏は田中市長の意嚮を察してこの程辭表を自發的に提出した

修養團觀櫻會

修養團大連市支部忠靈塔分團では廿九日の天長節に當り午前六時忠靈塔境內に參集、遙拜及國歌の齊唱をなし終つて健康增進のため綠山登山と觀櫻會を兼ね行ふ筈

香港丸船客

【門司特電二十六日發】廿八日大連入港豫定の香港丸の主なる船客左の如し

久保久雄、土屋繁男、樋口悌爾、杉浦陛男、多田大佐、兒島卯吉、旗崎直之、淺沼武夫

廿八日午前九時半大連港外着豫定

天氣豫報

二十八日（南の風曇り）
滿潮 午前十時十分 午後十時二十分
干潮 午前三時四十五分 午後四時十分

日曜閑話
或年のメーデー
巴里の郊外における

今から丁度滿十年前、一九一九の五月一日、記者は巴里郊外のビヤンクールといふところに居た。ビヤンクールといふところに居た。セーヌ河が曲りくねつて、ヴエルサイユの方から流れて來、このビヤンクールをかすめ、われらの寓居であるローズヴイラの前を流れるのであつた。

そのセーヌの流れに臨んで、一軒のレストランがある。料理店といつても郊外の汚さくるしい、全くの田舍料理店であつた。記者は毎朝、毎晩のやうに、このレストランへ行つて食事を取つてゐた。食事前の切符を買つて行き、それを片つ端から切り取つてはパンを買つてゐたのであつた。料理といつても相當にまづく、かつ高いものは出來ぬ千篇一律。それもその筈、獨身者他國人としての特殊なもの珍しさから、互に顏馴染となつて會歸するやうなものもあつた。

ある春の日曜日であつた。セーヌ河の向の森には、若い木の芽がツヤ〳〵とかがやいてゐる。レストランの方の河岸に植込まれたポプラの並木や、自分のところで炊事をやるよりは却つて安くつくといふので、朝から押しかけて來る失婦者などばかりであつたから。

それでも、毎朝、毎晩、通つてゐるうちに、そこの主人と顏馴染になり、また食卓を向ひ合はす客筋にも、春の陽の溫かい風が渡つてゐる日であつた。水の邊りの岸草に日向ぼつこをして、それから晝食にレストランに行く。と毎日曜日にやつて來る盲目のピヤニストが早くも奏樂してゐる。一杯機嫌の若い男女が、レストランの前の大路に出で、二十人ばかりが嬉々として行樂に耽溺してゐる。いかにも樂し相である。われ〳〵のやうなエトランゼーも、いつとはなしに伴れ込まれ、その行樂の雰圍氣中の人となるのであつた。

春の日曜日を、ひねもす行樂に耽り、唄つたり踊つたりして午後いよ〳〵散會する頃になると、肝煎り役が盲目のピヤニスト先生のために奉加帳を廻すといつた風。大抵、一フランぐらゐづゝを盆の上に載せてやると、ピヤニスト先生は、それをポケットに入れ、とぼ〳〵として杖を家路に曳くのであつた。

メーデーの前日であつたと思ふ。そのレストランの主人が、こつそり、翌朝は裏口から、人の目に入らぬやうにして來て異れ、パンだけは食はすといふのであつた。われ〳〵は兎にかく、その店の常顧客であり、それにチップも他のお客よりは、外國人といふので多くやるので、深切に特別扱ひを受ける譯であるらしい。

五月一日、例によつてベットから飛び起き、顏をソコ〳〵に洗つて、例の如くレストランに出かけると、案の定、表口は堅く閉ぢて開かぬ。のみならず椅子や卓子が入口一杯に立てかけてあるのがガラス戸越しに見える。はゝあ、これがメーデーだなと、仕方なく〳〵裏口へ廻ると、おやぢが出て來てこつそりと引入れ、とにかく朝の食事だけは難なく取らして異たのであつたが、街頭には人ひとりなく、全く水を打つたやうな靜寂さであつた。またおやぢの醫さへもひそ〳〵と何物かが今にも彼を襲ひ來るかのやうな怯ぢ〳〵した態度で、何やら分らぬことをいふのであつた。

五月一日は、こんな風で、一種の下安、戰々兢々といつた嵐しの前の靜けさといつた調子で過し、二日の日も警戒裡に經過し、三日から何事もなく、平常の通りであつたが、とにかく一九一九年の五月、ヴイルサイユで平和が成立するか、せぬかといふ騷ぎのときのメーデーの一日、パリーのレストランに裏口のあることが、記者のやうな他國人にも知ることが出來たのであつた。（一記者）

スタンドを埋む大觀衆
晴れの決勝戰の幕開く
榮えの優勝旗果していづれへ
國際？消費？けふの關東州野球大會

本社主催第十五回關東州野球大會は去る二十日大連工場對大連商業戰を序曲として華々しく火蓋を切られ、その間幾多の好試合を演出してファンを熱狂せしめ遂に國際、滿鐵と消費組合の兩チーム最後の輸贏を爭ふこととなつたが、いよ〳〵今二十七日をもつて榮えある優勝旗爭奪の晴れの決勝戰は近來稀な好天氣に惠まれた春酣の中央公園滿鐵球場で午後二時を期して擧行された、この日正午早くも觀衆續々として殺到しスタンドを埋む、このころ國際チーム必勝の色を現はして三壘側ベンチは現はれば大觀衆は一齊に拍手をもつて之を迎ふ、消費チームもまた十二時十分一壘側ベンチに現はれ、直に兩軍ともに輕いウオーミングアツプの後入り亂れてフリーバツチングを開始する、木下、武居、立石、二神、緣川、吉野等の長打、宮竹、松尾、二神、宗正、吉野等の美技演出に喚聲頻りに湧く、斯て午後一時半を報ずる警鈴に依り消費軍シートノツクを開始、約十五分間で終り、國際軍も應援團の拍手裡に約十五分のシートノツクを終へ午後二時國際先攻にて疋田拾三氏の宣するプレーボールにより愈々最後の覇權目指して戰ひの火蓋は切つて落された因に兩軍メムバー左の如し

國際		消費	
井下	8	川條	9
石河	5	神任	8
武田	6	野山	5
宮尾	2	上正	2
渡川	1	味	3
木石	4	吉宗	7
石山	3	井吉	1
立松	7	古青	6
武石	9	緣時南	4

玄海灘の浪高けれど
益す御元氣に拜す
「無事航海を禱る」の御親電に
三陛下の御機嫌を奉伺

【鹿島丸二十六日發電】高松宮、同妃兩殿下には二十六日正午故國の土を離れさせられたが、鹿島丸出帆に際しはる〴〵下關まで御見送り遊ばされた竹田宮大妃、同姫宮殿下とのお別れは誠に御愛床しく拜された、本船出帆後間もなく天皇、皇后兩陛下から兩殿下に宛させられた「無事航海を禱る」との御情愛溢き御親電があつたが、兩殿下には直ちに天皇、皇后、皇太后三陛下へ電報をもつて母國を離るゝに當つての御機嫌奉伺を遊ばされた、玄海灘の浪はなほ高いが兩殿下に御機嫌麗しく拜される、然し婦人船客の多くは船暈のため晩餐の食卓に就くものが少數であつた、へ夜の晩餐から食卓の着座順が極まつたが新聞記者團は時に隨員と同卓で兩殿下の御側近く着座する光榮を與へられた

華々しく蓋開の
春競馬賑ふ
けふ午前中の成績

前人氣頗る旺だつた大連競馬倶樂部の春の競馬大會はいよ〳〵今廿七日午前十時から星ヶ浦競馬場で開催されたが、折柄の日曜と花見氣分で浮れ出た人々によつて素晴らしい人出殊に關東廳改良産馬レースの施行によつていやがうへにも人氣を煽り近年にない盛況を呈した、午前中の成績は左の如し

▲第一競馬（緊鶴速歩三千二百米）一着千里（八分卅六秒一）、二着白虎、三着萬歳（配當八圓九十錢）

▲第二競馬（新抽千八百米）一着早風（二分二十四秒三）、二着石見、三着叶（配當六圓五十錢）

▲第三競馬（各抽千六百米突）一着淡月（一分十二秒）、二着豹、三着青嵐（配當八圓六十錢）

▲第四競馬（新呼千八百米突）一着土州（一分十三秒新記錄）、二着丸加、三着勝會（配當なし）川合騎手が記錄賞を獲得

▲第五競馬（各抽二千米）一着昇龍（二分四十秒一新記錄）、二着日の丸、三着薫王（配當六圓四十錢）田原騎手が記錄賞を獲得

老婆殺しの
口を割る
殺人鬼の夫次郎

【東京二十七日發電】實弟殺し谷口夫次郎の取調べは二十六日午後三時半から警視廳にて午後十時四十分まで續けられたが、夫次郎は遂に弟庄次郎と共に昭和三年六月廿七日松澤村上北澤水谷ハル（當時六十二）方に強盜の目的にて押し入りハルを殺害した旨をも自白した夫次郎は他の嫌疑に對しては一切口を緘して語らぬが警視廳では松澤病院に入院中の弟新三郎に探りを入れんとして努めてゐる

デ盃戰
歐洲ゾーン
英三―獨二

【ロンドン二十七日發電】デ盃歐洲ゾーン第一回戰準決試合第三日目の成績左の如く、結局英三對二でドイツを破り、第二回戰でルーマニヤ對ポーランド試合の勝者と覇を合せる事となつた

オースチン（イギリス）	六―三、六―四、七―五	プレン（ドイツ）	
リー（イギリス）	五―七、六―三、六―二、六―三	ランドマン（ドイツ）	

署長、巡査を
瀆職で告發

【東京二十七日發電】南品川町三借家人同盟婦人部委員中田小春は荏原署長及び同署佐藤巡査を相手取り二十六日瀆職罪の告訴を提起した、右は佐藤巡査は白畫小春を不穩ビラ所持の廉で身體檢査をなさんとし、小春がこれを拒むや路上に引倒し散々亂暴全治一週間の傷を負はしめたうへ同署に留置したといふのである

誇る健康
體力測定會に押かけた大連市民

春たけて花下酣
浮かれ出した人々
どこもこゝもソレは素晴らしい
けふ日曜の賑ひよ

二十七日の日曜はあつらへた樣なおだやかな花曇り、二十日ころから蕾がほころび初めた大連近郊の櫻は一齊に滿開をみるものとの期待から電氣遊園、星ヶ浦、沙河口水源地、老虎灘方面への人出は素晴しい、常盤橋の交叉點ではこれら觀櫻の縣人家族會の借切自動車バスや滿車飾をほどこしたトラツクに滿載されて繰出すカフエー女給の一隊。滿員電車からはみ出たモガの悲鳴……等々が反響し合ひうづまいて花見シーズンのエロテイシズムが街いつぱいにふり撒かれた、特に星ケ浦および老虎灘方面行の電車の雜沓は正午近くなるに伴れ從々はげしく、乘務員も交通整理の巡査も汗だくの態だ、浪速町商店街は景氣のいゝ五月幟の賣出しや、聯合春の賣出しのデコレーションで行人の購買心を唆りたて、滿街溢花の櫻でおめかしをした開店祝賀賣出中の連鎖商店街から電氣遊園一帶へかけての人出は花見でなく春らしい浮かれ氣分で誘ひ出された子供伴れの婦人、老人が多かつた丈け午後からは一きはめまぐるしい賑ひぶりを呈した

電氣遊園　こゝは滿鐵が子供の遊び場所として力を入れてゐるだけにナンといつても「小市民」が壓倒的多數だ、可憐らしい蓮翹の花の滿開、リラの花を交へて約六百本の櫻密集せる櫻は今が頂點で天長節までもつかどうか危まれるが、地の利を占めてゐるので夜の電飾に映發する滿開の美景をめでやうとて春日池方面と共に夜間は晝間以上に雜沓ぶりを示すことであらう

老虎灘　こゝも嘯月園の八重櫻をはじめ千勝館附近の八重吉野は廿八日が開花の最盛期と思はれる、大連富士裏の山地の櫻は盛りはすぎたが落花を踏みカメラを携へて逍遙するにはよい靜けさだ

伏見臺　（配水池）ふるいだけにガツチリした古木が多い、こゝの特長は境内の廣いグリーンである、即ち家族が莚をのべてピクニツクするにお誂へ向きで二十六日頃滿開となり二、三日中に風が出れば天長節には大分散つてゐるだらう、廿七日は數組の縣人會、家族連で非常に賑はつてゐた

その他　彌生ケ池、春日池龍王塘少し離れて王家店の櫻も杖を曳く人が多かつたが、南華園の夜櫻は月末ごろ、星ケ浦遊園は五月一、二日頃が見頃で、沙河口水源地も天長節前後とみられ遠足かたがた次の日曜には星ケ浦、龍王塘、王家店方面に人が吸引せられるであらう

軍隊手帳を紛失し
覺悟の自殺と判明
柳樹屯聯隊中島一等卒の死因

二十六日午前一時ごろ柳樹屯駐屯歩兵第二十聯隊第二大隊第六中隊一等卒中島留吉（三）が彈藥庫に立哨中變死した事件に關しては、現場附近にモーゼル一號拳銃の藥莢五個を發見し、處より小銃のため射殺された他殺説と、本人の所持品中何等強奪された形跡のない處より自ら死を選んだ自殺説の二樣あり、檢證も嚴重に行はれたがその結果、現場附近より發見されたモーゼル一號拳銃の藥莢五個は最初に驅付けた衞兵が遺失したものと判明、他殺説は薄弱となり更に本人の盲貫銃創より歩兵銃の彈丸が發見、數日前軍隊手帳も紛失してゐる處よりいよ〳〵自殺と判明良心の呵責に堪へず携帯の歩兵銃で覺悟のうへ右の行爲に出たものらしいと

校長を押込み
自決を促す
濱松遠江商業學校の紛糾
警官隊まで乘出す

【濱松二十七日發電】濱松私立遠江商業學校生徒對校主の紛爭については父兄會にて善後策を講じてゐたが、二十六日午後二時から校内に學校側と父兄との聯合協議會を開き、五年生七十餘名は曾我校長と會見し度しと申込み校長を一室に引き入れ鍵を下ろし校長の不誠意を詰り自決を促し罵詈をげた父兄等は驚いて驅けつけたが手の附け樣なく四年生三百名も上級生に聲援し形勢不穩のため濱松署より警官二十餘名自動車で現場に出張漸く事なきを得た

羅馬の
日本美術展
愈よ蓋開く

【ローマ二十六日發電】日本美術展覽會は本日ムツソリーニ首相の

黒シャツ宰相に
烏帽子を贈呈
日本美術代表

【ローマ二十六日發電】ムツソリーニ首相は本日非公式に日本美術展覽會關係の日本側を招いたが席上、平福、百穗、長谷川路可、松岡映丘氏等より鎌倉時代型の烏帽子を首相に贈呈した

司會により開會式を擧げた、ム首相はグランヂ海相を從へ各陳列室を參觀、頻りに感歎の辭を放つてゐた、なほ展覽會は五月末まで開催の筈である

官紀肅正の
訓令
臧主席から

【奉天二十六日發電】臧遼寧省主席は就任以來官紀の肅正に意を用ひ調査研究中だつたが、今回左の如き辦法を東北政務委員會に提出決議を經たるうへ管下各廳、處、局長及び五十八縣長に對し訓令を使に對し左の如き公文を送達して來た

一、土地家屋を購買せる場合は國土盜賣罪に照して處分す

一、任地にありて自ら不動産を購入せしものは查辦の上免職處分に附す

一、官職に在りて別業を營むもの公款を私用せしもの人民に賄賂提供を仄かしたるもの私人を任用するために履歷を僞り報告せしもの、擅に職を離るゝものは何れも免懲處分に附す

一、各行政官吏にして任地に在り長官を欺罔せしものは查辦の上處罰す

一、外人と連絡し或は外人に代り

反政府軍の
武器購入に
躍起の國民政府

【上海二十五日發電】國民政府は最近北方及び廣西の反政府軍に武器がドシ〳〵海外から入つて來るのに業を煮やし二十三日附各國公使に對し左の如き公文を送達して來た

國民政府は四月十八日以後支那に輸入する總ての軍用物品及び機械には在外支那公使館の查證せる證明を必要とす、然らざるものは密輸品と認めて賣主及び仲介者に對し嚴重なる處置をとり、且つその輸送に當つた船舶貨物一切を沒收するに決定したから其の旨貴國の關係業者に傳達せられ度い

初夏の小兒病
見分け方と手當法

小兒科の權威內村博士が婦人倶樂部五月號に懇切に發表、母親方は是非ごらんおき下さい。

滿洲青年聯盟
健康週間の催し

滿洲青年聯盟では健康週間の催しとして二十九日十時三十分發列車で大房身へ遠足會を行ひ岡田聯盟理事經營の農場で農園實習をなすが希望者は至急聯盟本部へ申込まれたいと、なほ三十日より五日間市內數ケ所で健康增進の體育映畫並に講演會を行ふと

ペシヤワル暴動
漸く鎭靜

【ボンベー二十五日發電】インド國民議會委員會發表に依ればペシヤワル暴動の死者五十二名、負傷者三十名、暴徒の大部分はパセン人でガンジーの義勇隊は一人も居ない、なほ暴動も漸く鎭靜したので同地方の外出禁止令は解かれた

開宗記念會

市內春日町大連寺では、來る廿八日宗旨健立の吉日をトし、信徒有志は當日午前三時半より南山麓の頂に集合、旭日昇天と共に讀經唱題し有りし日を追憶記念するが有志多數來會を希望すと

お花見辨當に舌づゝみ
けさ春日池畔にて

艶色生膽秘譚 (95)

伊藤松雄作　河原緑龜太郎畫

暴風雨（三）

夜がふかむにつれて雨音は愈々わびしかつた。

「明日になれば止みませう、暴風にでもなるかと想はれたに」

妙香は欣彌に服藥を飲ませると濕つく夜着をかけ直してやり、その傍らに身を横へた。

縁下の小さな蟋蟀がさや／＼とそよぐばかりで犬の遠吠もいつかパッタリと絶へてしまつた。

「お姉上、五三郎はやすみましたか」

「ええ」

「五三郎奴大手柄でございましたなア」

「ほんに」

「とにかく仇敵と決れば大江戸をくまなくさぐるにも張合があります。それとももしや左近様では御座いますまいか」

「ほんに」

またしても妙香はその小さな胸をおのゝかせるのであつた。

「明日は早く起きねばなりませぬではおやすみなさいまし」

欣彌は二回服用したのみであつたが、五三郎のもつて來た煎藥の利目か、熱も下つたらしく、すや／＼とかるく快い寢息をたてはじめた。

が、妙香はなか／＼眠りつけなかつた。

「いよ／＼明日から仇敵をさがし求めにこのひろい大江戸へ出てゆくのだ」

さう思ふにつけ、弟欣彌の病態が一日もはやく全快してくれねばと心細くもある。

そつと起き直ると、部屋の隅に設けた神棚に向つて手を合せた。

「日本第一大軍神」

諏訪明神の御神符をとつて押しいただいて肌身につけ、再び寢床へ戻つた。

つい隣りした部屋に五三郎はパッチリと冴へた眼をまつくらな天井へむけてゐた。

「御主の仇敵――と云へばきこえはよいが、あの病弱な若様、そしてお嬢様では迚も右近様は討てまいよ、それにお嬢様は何かにつけて左近様を慕つておいでになる、あゝ暢氣な話よ、あんまり力をおとしておいでなので、うつかりすると元氣づけに右近様を見かけたなどとつくりごとを云つたもの、それにつけても左近様は？と來るいやになつちまふなア」

五三郎はこんな風に考へてゐた

「お嬢様の寢息がきこえる、もうお嬢様も廿歳だ、あたら嬢盛りを郷藩にあのまま屋敷を守つておいでなされよいものを、若様の御身體だつてどうせヒビの入つたも同然、長いことはあるまいに、かうなれば俺にしたつて、お嬢様と一緒に末長く暮せでもすることなら、草の根をわけても御主の仇敵をうたねばなるまいが、こんな[illegible]下の破ら屋に漸く雨露をしのぎ、いつめぐりあふか知れぬ仇敵さがしを想ふと明日にもお暇を頂きたくなる奴さ、だが、いまの處、俺にしたらお嬢様の側は離れられない、どうで及ばぬ、叶はぬ、とは知り乍らかうまで心を惱ますとは、ああ、これが戀とやら云ふものかなア」

五三郎はいつまでも輾轉反側しつゝ思ふのであつた。

いつか窓外は白むでゐた。

雨の音は依然として佗しい。

が、妙香はぢつとして居れなかつた。

支度もそこ／＼に欣彌の身は氣になつたが、五三郎を伴に破ら屋を立出た。

「ではいつてゐらつしやいませ」

床の中から挨拶した欣彌、二人が草鞋ふみしめ出てゆく足音が消えた途端である。

風もないのに神棚からパッタリと枕もとへおちて來た神符。

「あッ！」

手にとり見れば諏訪明神のそれである。

「はて、風もないに神符がおちてくるとは、氣にかかることだ」

欣彌はぢつと考へこんだ。

演藝日記

▼四月廿五日　浪速館の事務室でお茶子さんがせつせと臺本を寫してゐる、映畫館風景にしても一寸珍らしい。大日活へ「狼の唄」がトリの積りで行くとナカでやつてゐる。ところで舞踏會の夜のラヴシーンの畫面がカットされてスクリーンは黒く音だけが聽える、このトーキーカットはお客にとつては初めての經驗であるし、影は見えずに而もその場面が充分に想像されるので客席に妙なざわめきがある次がオールトーキー「巨人」の豫告篇を上映。日活食堂では大連小劇場と滿洲新劇場の同人が集つてゐる、歌舞伎座の橘之助の初日をのぞくと珍らしく茶化兵衛さんの顔が見える。久振りの寄席氣分で橘之助の曲彈きを聽く。矢張り歳は爭へない花橘は不相變噺よりも文人踊りにおかしみがある。大切は橘之助の地で圓の踊り。ところで花橘の噺でマクラからゲヲゲラ笑ふ大連の人達は斯うしたものに少々だらしがなさ過ぎるから甘く見られるのでないかと思つたりする。今晩の常盤座の「ショーボート」（無聲版）の試寫は中止

喋話

川喜多氏がドイツで獲得して來たウファ映畫の全支那配給權は▲「アスファルト」で封切されるらしいが、これにはアラケロフ氏も齒が立たないワーナーも日本側に權利のある作品は總和公司が扱ふし關東州内の洋畫配給も大分面白くなつて來た▲大日活ニュースの「酒前茶後」の森川みち子の正體が紙外見かけ倒しの漫談だらうとの評判▲「テンピ」は上映に決つたが、組合す日本物がきまらず、そこに大連映畫館の惱みがあると▲ゆふべの常盤座の物凄い人氣、これこそ驚値なしの無料解放である

◇◇二刀流安兵衛◇◇　山中貞雄原作脚色後藤岱山監督嵐寛壽郎主演の中山安兵衛で原駒子羅門光三郎が助演してゐる、東亞の時代劇（次週浪速館上映）

『椿の花』を見て　原作と其演出に就いて（上）

靜田晴雄

常盤座黒龍座一派によつて上演された、志野半吉氏作の小品舞臺劇「椿の花」（一幕）を見ていさゝか感想がある。

「椿の花」は社會劇とでも云ふ可きものであらう。南國の小島の寺院に寺男として働いて居る兄の下へ、幾年か前に都へ走つた妹が着かざつて歸つて來る。兄は其の妹の態度をせめるが、妹はかへつて兄の餘りも皮相的な社會觀を悲しみ、結局自分が都へ走つた原因は今此の島一の大德として尊ばれて居る、兄の寺の住職に身を汚された爲であると語る。しかし兄はあく迄住職を信じ、兄が打ちならす鐘の音を一生忘れるなと鐘樓に上り、幕となるのである。

以上述べた梗概の如く、「椿の花」は吾々が現時社會に於てしば／＼見聞する所の事象を取材して之を脚本化したものであるが、其の根底には作者獨自の解釋、批評とによつて現代宗教の内實暴露を行ひ、現代思想の根底たる解放思想と民本的思想と、事物に徹しやうとする合理的要求とを持つた脚本で、其の點大いに成功したものと云へよう。

ラヂオ

大連　JQAK（四月廿八日午後七時）

▲童話　大連早苗高等小學校久富先生
▲講話（健康第一）　滿鐵衛生課醫學博士金井章次
▲五月祭舞踊練習　櫛木龜二郎
▲箏曲新日本音樂（イ）春の夜の風宮城道雄作曲（ロ）影町田嘉章作曲、尺八道具點山、同成田彰耀、琴森川とし子、同木次初榮
▲長唄小笠原松寸、三絃線福永大勾當、琴高音森川とし子、同低音木次初榮
▲支那劇（坐宮殺妻）　連東倶樂部々員
▲料理献立
▲天氣豫報
▲ラヂオ體操

東京　JOAK（四月二十八日午後六時二十五分）

▲趣味講座日本名寶に就いて　文學博士笹川臨風
▲狂言と小謡（狂言名取川）　修業僧野村萬助、名取の何某野村萬齋、ぢ同萬造、桐谷龍平（狂言小謡）　吉野派野村萬造、同詩且同萬齋
▲河東節（熊野淨瑠璃）　山彦小文次外見藤州、三味線山彦八重子上調子同とめ子
▲管絃樂とチエロ　（一）歌劇サクンタラ序曲ゴルマルク作（二）ハンガリア狂詩曲チエロ獨奏、ポッパー作（三）スラブ舞曲、ドヴォルザーク作AK交響樂團指揮近衛秀麿、チエロ齋藤秀雄

文藝

首都の断面 ―東京雜記―

大内隆雄

東京に來てもう二週間になる。日本はもう春も盛りを過ぎた。都會の店頭風景は初夏晩春の色彩に熾烈だ。——仕事のために驅け廻つてゐる身體にも、時々、都會の論理が、またその風景が這入つて來る。走り書的に少し書いておく。

×

植民地にゐる我々が、時々故國を訪ふ事は非常に有益だと私は思ふ。眼に刺戟を與へられるといふ點だけでも然う言へる。時に少年期、青年期を海外に、そして國外に成長に育つ者は、今の日本の激化した情勢を見る必要がある、と私は言ひたい。

×

日本の農村の姿は私にはおぼろげである。私は、牧歌的な(少くとも表面の)その風景の中に、理論的にそれを理解する外はない。だが、都會に來ると、その斷層の様相は強烈に我々の前に示される。

×

私は昨日、映畫「アスファルト」を觀た。先づ最初にその母親は「世の中にはどんなにか澤山の出來事が行はれてゐるやう。新聞に出ただけでもこんなにある——」と語る。それは、都會が——言ひ換れば、近代社會が生んだ暗黒面へ物語を導いて行く暗示なのだが、まさにその物語と同じいことが、この東京に於て行はれてゐないと誰が言へる？

シネマ・ファンとしての私には「アスファルト」は正しく、好作品だつた。そして、社會事象に關心を持つ者としての私には、それはなまなましい問題を指し示したものであつた。——ともに見た「ショウ・ボート」はその甘い優美さで好ましくはあつたが「アスファルト」は實に、鐵槌のやうに私を撃つたと言ひたい。

「虐げられて來た女が、今、立上つて強くはね返すのだわ！」

私の連れは私にそう言つた。

やがて「アスファルト」は大連をも訪れるであらうが、人はその近代的なエロ味にのみ注意を向けることなく、上に言つたやうな、それが含む現代性に於いてそれを理解するやう私は希望する。

×

貴司山治の「ゴー・ストップ」を讀む。これもまさに、尖端日本の斷圖だ。其處に示された、伸び行く者の健康な朗かさ！(此處ではこれだけを言つて置く)

私はまた、グラトコフの「醉ひどれの太陽」を讀んだ。それを生んだ社會は我々の現實と異るが、これもまた我々の見方から見て興味深い作である。

×

新築地の「慶安太平記後日譚」を觀た。いろいろ考へさせられた。薄田研二、丸山定夫、高橋豊子の力を見た。——現在の條件の下では、原作も、演出も、上出來だと言ふのが大體の批評のやうである——目覺めた武士の奮鬪、それはよく示されて居り、同情者の位置にある町奉行も面白い。しかし私としては、その上に、いかにして農民一揆が起つて來たかといふその必然性を示すだけの具體性を與へたら、もつと變つたものになりはしなかつたかと要望した。

×

鐘紡の問題、市電の問題。失業日本。日本の春はまさに爛熟を超えてゐる。時代の様相の鋭さは、小市民的旅行者の眼にもあざやかに映じてくる。——四月十九日。東京——

隨筆 春を妹に聞く

志野羊吉

たとへば「若返り法」をほどこした老人の皺苦茶な皮膚が、新鮮な皮に變つてきた、と言つた風な肌の樹々を縫つて、私達二人は歩いた。

「今日は日曜だし、お天氣も良さそうだから、先だつて話した多賀子のこと、おたのみするよ」

朝起き立てにこう言つて母からたのまれた私は、ひる過ぎから妹をひつぱりだして、ぶらぶら歩いているうちに、いつか中央公園に這入つてゐた。

もうぼつぼつ、話を出さなければ……。こう思つた私は、肩を並べて歩いている妹をちらッと見た。妹は私に、はつらつたる言葉をかけた。

「たまに妹を連れて、散歩に出た兄さんのご感想はどう……」

「なま意氣を言ッちやいかん」

こん畜生、話の出ばなをくぢきやがつて、と思つた私へ、妹の笑ひがフヽヽと聞こえた。

「あら……こゝんとこの草、もうこんなに伸びてるわ」

これではいかん、早く話をしてしまはなければ、といらいらしてきた私は、妹が立ちどまつて草の芽を見入つてるらしいのには眼もくれないで、づけづけ歩いた。

「此頃の散歩に、萌え出る草を無視するなんて、兄さんなんかつまらないわ」

「それどころじやないんだよ、兄さんは……」

「まあ、どうして……」

「今日はお前に、少し聞きたいことがあるのでね」

「私に聞きたいことッて、なあに」

「お前の結婚のことさ」

「あら、いやだ、そんなこと私知らないわ」

「知らないッて……ばか、兄さんは眞面目に話してるんじやないか」

「どうせおばかさんよ……結婚なんて私いやーなこと……」

「いやなら、いやでいゝさ、だがお前は、いつまでそんな子供じみたことを言つてるんだ」

「いつまでだッていゝわ、そんなこと私の自由だわ」

「なま意氣を言ッてると、ぐわんとお見舞ひするぞ」

むかむかと湧いてきた興奮にまかせて私は、ステッキで力まかせに立木を打つた。

「いゝわ……せつかく散歩に連れて出て下すッたと思ふと、變なこと云ひだしたりして……私ぶんがいしてよ」

「何も變なことじやないじやないか、女が歳頃になれば、結婚するのは當り前じやないか。お母さんだッて、近頃では隨分氣をもんでゐるのがお前にわからないはずはないだらう……」

「そんなお話の爲めに、今日兄さんは、私を散歩に連れて來て下すッたの……」

「そうだよ、何の用もないのにお前を連れて、こんなところをぶらぶらする程兄さんは、ひんけつ性じやないのだからね」

こんなことで、私と妹の會話はぷうつり切れてしまつた。がすぐ私の頭には、私とそうして多賀子の晴れ晴れしい顔を待つてゐる母がいつぱいになつて、どうにもならなかつた。で私は、どうにかして妹とこの問題について、もう少しでもいゝめはなをつけて歸らなければならないとあせつてきた。このとき妹は、私より十五六歩もおくれて、ハンドバックを兩手で胸のところに抱いたまゝ、とぼとぼと運ぶ足先に眼線をあつめて歩いてゐた。

私はふたゝび、妹と肩を並べて歩けるやうに、そして今度はぐつとやわらかくしんみり話の出來るやうに、私自身の足なみを次第次第にゆるめながら、妹の近寄るのを待つた。だが妹の歩調は私のそれにつれて運ぶのか、二人の間隔はそのまゝで、私は表忠塔の丘にさしかゝる勾配にまで來てしまつた。

「どうしたの……多賀子、早くおいで、もうつかれたのかい」

何がなしやさしい私の聲に、妹はだまつたまゝ私を見上げて、その口元に微笑を浮せた。そしていそいそと近寄つて來た。愉快になつた私は、子供らしく口笛を吹いたりして、妹をむかへた。

「そんなの履いてちや歩けないだらう」

「そうよ、でも母さんが兄さんと歩くのだから、今日はこれをお履きッておろして下すッたの」

「で、おこずかひもだらう」

「それは、兄さんと歩くからッて母さん下さらなかッたわ」

「じゃあ今日は、まる、兄さんのふたんなんだね」

「そんなこと、あたり前じやありませんか」

「よし、今日はうんとおごッてあげるよ」

「きッとね」

「きッとだよ」

私と妹は、表忠塔の右側を赤々とそめる陽をまともに受けて、乾いた枯草に腰をおろした。

「ねー多賀子、さつきの話だがほんとうにお前、結婚してもいゝッて言ふ氣持ちには、まだなれないかい」

「結婚ッて……たれとなの、そのおはなし……」

「誰ッて……まだそんな具體的な話ではないんだよ、只お前の氣持を聞いてみるだけなんだ」

「……でも結婚なんて、私なんだか……それにみず知らない人は私こまると思ふわ」

「かくべつ困るッて云ふことはないが……じやあ兄さんの知つてる人だッたら承知するかい」

「いゝわ……でも、そんなこと今きめなくてもいゝじやないの」

「それじや困るんだよ、お母さんにだつて安心がさせられないから で兄さんにすべてをまかせてくれないかい、ねー多賀子」

「いゝわ……」

「よし、じやあ踊ろう」

「あら、おごッて下さるお約束だつたわ」

「みつ豆か」

「そんなもの、つまんないわ」

「じゃあ行こうカフェーへ」

「カフェー、私いやだわ」

「兄さんとだからいゝじやないか。お前も一度ぐらゐ行つて見ておくさ」

「だッて、私兄さんとでは、はづかしいわ」

「なぜ……」

「だッて兄さんが、もう少しスタイルでもいゝと私……はづかしくないだけど……」

私は無理にでも笑つて、妹に見せなかつたのだが、夕風が急に身にしみて、身體がこわばるのを覺えるばかしだつた。何か云つてる妹の聲を、私は背後に聞きながら瞳孔いつぱいに埃ッぽい道路を寫して、丘をすたすた下つて行つた。

勳章

岩崎健

むかし、をんなの心づくしで置かれた青い花瓶だが、けさもなんにも挿されてゐなかつた。

窓をあけるとゆふべの月がまだ街の上にのこつてゐる。はるか遠い出來事のやうに——

私は山へゆかう。山に往つて私はなるやうにならなければならない。そして、それから——

——ではいよいよお立ちでございますか。

お別れですね。

さすがをんなは泪ぐんだ。そしてぽけつとから桐の花の勳章をとり出して、私の胸にぴんでしつかりとめてくれた。

五月になつて私は山から降りてきた。

私はどうにもならなかつた。

桐の花が胸の上ではかなく散つた。だがをんなは再び新しい季節の勳章を私にくれなかつた。

ながい時を私はべつとにうづくまりあの紫色した勳章の夢をみつづけた。

北村舞人の詩

大庭武年

北村舞人は私の最も推賞したく思つてゐる詩人である。それは友人への提灯持ちではなく、實際的に彼の作品が私を打つからだ。彼の詩は實に心境的にも清純だし、詩そのものも藝術の香氣が高い。私は彼が現在實力的に青年詩人の一流に伍してゐるものと確信して憚らぬし、勿論彼の將來は約束されてゐるものと思つてゐる。私は今茲に、彼の三四篇の詩を紹介したく思ふ。この數篇の各々異つた傾向の詩より彼のフレキシビリテイが察せられるものとしたならば彼の藝術は明らかに單なる獨ロマンチシズムの亞流ではないと言ひ得られるであらう。

ボヘミア調

——大庭武年に——

北村舞人

結婚しやう ボヘミアの少女
馬車に乘つて 平野を行き
やがてわれわれは賑やかな町で結婚しやう
眼を深くして ボヘミアの少女
われわれはやさしく唇をあはせよう
賑やかな町で熊をおどらせ
われわれはギタアを奏かう
黄色い陽の照る近東地方で
アレクサンドリアのダイヤを買はう
ボヘミアの少女 ボヘミアの少女
眼を深くして

友に

——たより

北村舞人

今夜は友だちの口笛を聽かう
どうでもいゝことだが——
あの本屋は引越した。小さな店へ
あのだゞつぴろい店さきに
僕らは
埃まみれなチエホフや
ストリンドベリを見たつけが……
新らしい本棚には
さつぱりした本が並んでゐる。
「何の木？」
知らない。
僕はまだ
チヨイと外から覗いてみただけなのだ。

悲傷しめる友

北村舞人

今日は一人の友が遊びに來るから
妻よ
何ぞもてなすやうに工夫してくれ
その人は近頃弟を亡くし
それ以前に兄を亡くし
その前に妹を亡くした人だ。
妻よ
暗い悲しみを背負つた人だ。
遊びに來る友が
少しでもたのしくあるやうに
妻よ
何ぞもてなすやうに工夫してくれないか。

闘志

北村舞人

考へてみると俺はいつも受身だつた。
小學時代にあの背のずんぐりした色の眞黒けな教師にぶん毆られた時からしてさうだつた。
俺はおとなしく涙ぐむよりほかのことを知らなかつた。
毆られた時はいつでも俺は受身だつた。
中學に入つてあの數學の教師に
俺たちが毎週提出することになつてゐた日記帳に
俺があんまり何も書かな過ぎると云つて怒鳴られたときも
其のあげくに俺の日記帳でほつぺたを代る代るひつぱたかれたときも
俺は默つてつゝ立つたまゝ
生唾をのみ込むだけで反抗する氣持も持てなかつた。
それから十何年と云ふ年月の經つたいま
その光景を思出すことが堪らなく慘めだ。
それは俺が今でも何事につけ受身になるよりほかを知らないから
俺の此の獸從の精神が餘り忌々し過ぎるから。

2

冬の日の寒い留置場で
おどおどして
生れて始めてあいつにぶん毆られたとき
あいつの手にした竹刀が俺の頭上に打おろされたとき
あの冷酷なあいつに蹴倒されたとき——
默つて歯を食しばつて
手を束ねて爲すまゝにされるよりほかなかつた俺の姿が忌々し過ぎるから。
だから
だから俺はどうしても
——受身の位置を相手に讓らなければいかぬと決心したのだ。
——原始復興より——

滿洲日報

社說 在滿朝鮮人問題

滿洲における朝鮮人、第一、その數において精確を缺く。その如く、その救濟、保護といふやうな問題に立ち入つて、さて具體的對策は如何となると、事の決して容易、簡單でないことが分明する。

八十萬とも、また二百萬ともいはれる。かくの如きは、全く地理上、歷史上、朝鮮と滿洲、朝鮮人と滿洲といふものが、出入複雜、關係の最も密接なるものが存するからに外ならぬ。

もと〳〵滿洲は、歷史的には朝鮮民族の故土であつたといふことも出來る。從つて、八十萬といふのも、眞實であれば、また二百萬といふのも、必ずしも誇張でないといふことが出來るのである。

漢民族が、この滿洲へ發展し來る以前にありては、遼河の以西にまで朝鮮民族が活動して居つたのであつた。今日なほ、高麗の遺跡は、滿洲の隨所に發見することが出來るのである。

近代史に入つて、滿洲民族が、長白山中から勃興して、淸朝を確立し、支那の歷史中、比較的、最も完全な統一時代を出現したのであつたが、淸朝は亡び、滿洲民族は漢民族の同化するところとなつたのである。

然るに朝鮮民族は、その母土として朝鮮半島に占據し(今日の吉林は鷄林の轉化せるもの)滿洲民族の如く、容易には漢民族に同化せらるゝことなく、八十萬乃至二百萬の朝鮮民族を、この滿洲に生存せしめつゝあるのである。

かくの如く、今日の漢民族よりも、この滿洲にありては先住民族たるの歷史を有するの關係上、在滿朝鮮人問題といふものは、非常に錯綜した問題となるのである。

すなはち人種學上からは、立派に朝鮮人の血液を傳統せるものであつても、民族的には、早くも既に漢民族となり切つてゐるものが相當に多く、現在の奉天官場等にありても、レースとしては、立派な朝鮮人でありながら、たゞネーションとして支那人になつてゐるものが少なくないのである。

されば漢民族に同化し切らず、さればとて民族的に、純然たる朝鮮人なりとも斷じかねる同化過程の在滿朝鮮人もまた決して尠少なりといふことは出來ぬ。

かかる現狀であるから、新來のものは格別、然らざるものにありては、支那服を纏へる朝鮮人あり朝鮮服を着用しつゝある支那人ありといふ狀態で、すこぶる曖昧模糊の狀態にありといひ得る。

この曖昧模糊の現狀に對して、とにかく問題の解決を期せんとするならば、その間、相當、斷然たる措置に出でねばならぬことは當然のことゝいはねばならぬ。

當面の問題が厄介なりとて、かの三矢協定の如きことを敢てし、一時を糊塗せんとするが如きは、決して在滿朝鮮人問題を解決する所以とならぬことは明白である。

また、かの商租權の細則協定により、朝鮮人も滿洲にありて土地商租の權利を發生せしむるが如きも、最も必要なる事項の一ツには相違ないが、條約や法規の制定のみにては、未だ以て眞に、朝鮮人を保護することにはならぬのであることを知らねばならぬ。

民族自決といはんか、歸化權を認むべしなどの問題もある。併しながら、白衣の朝鮮人は、滿洲の隨所において支那人から排斥され、また支那の官憲から迫害されつゝあるのである。

而してまた、わが日本の官憲に賴らんとしても、未だ甚だ及ばざるものあり、その多くのものは、轉々流々、喪家の犬の如く、隨所に流浪しつゝありといふ、甚だ同情すべき狀態に置かれてあるのである。」

されば今日、當面の問題としては、この朝鮮人は日本臣民なりと確認するや、その朝鮮人を、徹頭徹尾、保護愛撫するの精神を以て在滿朝鮮人の戶口臺帳を作成し、以て同じ朝鮮民族であつても、たゞ血液上、また民族上、朝鮮人であるといふのみにて、日本官憲に賴らざるものは、斷然、これを顧みざることが肝要ではあるまいか。

すなはち在滿朝鮮人を、血液上の朝鮮人、民族としての朝鮮人、而してまた日本臣民としての朝鮮人とに截然たる區劃を確立し、その區劃內の朝鮮人は、日本臣民として、これを徹底的に保護愛撫する、その埒外のものは、これを滿洲における支那官憲の保護に一任するといふことが、在滿朝鮮人問題を解決する、根本的にして、しかも最緊切の政策ではあるまいか。

きのふの衆議院本會議

綱紀肅正を絕叫し首相に詰め寄る

小橋氏奏薦で遺憾の意を披瀝 先陣を承る尾崎氏

【東京二十七日發電】衆議院本會議は午後一時十分開會、直ちに國務大臣に對する質疑に入り藤澤議長は尾崎行雄氏を呼ぶ、尾崎氏は背廣服の上着のポケットよりハンカチを覗かせ稍反り身になつて演壇に立つ

尾崎行雄氏 小橋前文相問題では既に質疑が行はれたが、十分の答辯がないので本員より改めて質問をするから首相より責任ある答辯を願ひ度い

と舌鋒鋭く小橋前文相問題で詰め寄れば政友會側は頻りに拍手を送り民政黨は「共和政治はどうした」「アメリカへ行け」と弥次早くも議場騷然、尾崎氏屢々發言を中止され論旨議場に徹底せず傍聽席は鈴なりの滿員で貴族院議員傍聽席には德川議長や鈴木喜三郞氏等が熱心に傾聽してゐる

尾崎氏 刑事被告人たる小橋君を國務大臣に奏請したる首相の責任は重大である、當初犯罪事實を知らなかつた事は陛下輔弼の任にあるものとして何等辯解にならぬ、前例なき由々敷き不祥事である(と鋭く切り込み)小橋文相の罪狀決定した今日尙ほ濱口首相は政治上の責任を執らぬとせば後世に惡例を貽し天下人心に及ぼす惡影響は以つて思ふべしである首相は責任を執りになるかならないか明白な答辯を承り度い

と一本差して降壇、此の時民政黨の山崎傳之助氏自席に突つ立つて例の首を傾げて何事か述べて愛嬌を遣る

濱口首相 尾崎君の御話は謹んで拜聽しましたが將來を御戒め下されたものと心得て承つた小橋君の問題は事實なるも小橋君を奏請せる時には斯る事實を知る由もなかつた小橋君の起訴されたのは退官後である

と述ぶるや政友會「夫れが三百代言だ」と猛烈として彌次る

濱口首相 私は小橋君を奏薦したるを深く遺憾に存ずる此の心情は小橋君の起訴された時からの心情であるから衷心より遺憾に堪へぬ所である

と遺憾の意を披瀝して降壇

經濟國難の打開政策を追究

俵商相も登壇して初答辯 堀切善兵衞氏質問

次いで政友會の闘士前議長堀切氏登壇

堀切善兵衞氏 井上藏相は金解禁後の財界は順調に進んでゐると述べられたが、我國は今日の如き危機に遭遇した事は未だ嘗てない、この原因は即ち政府が金解禁を爲さんために金解禁を行つたからである、次ぎに政府は聲を大にして產業の合理化を唱へてゐるが、產業合理化の第一要件は消費力の增大である、政府は全國に消費節約を宣傳してゐてどうして產業合理化が出來るのであるか、次に大戰後に起れる製鐵工業、輸出工業化學工業の解禁に依る打擊の甚大なるに對し如何なる對策を有せらるゝや第三に正貨流失は藏相の高言に拘らず二億圓に達し在外正貨も減少してゐる、而して上半期の貿易狀態を見るに下半期に正貨が再び戾される樣な事は斷じてない、更らに金解禁に依る爲替の恢復に伴ふ諸物價の下落に依り百五十億圓丈け國民の懷工合は損失し且つ金持は益々金持ちとなり貧民は益々貧民となる、現在の不景氣、勞働者への過重負擔に對し團結して資本家に當るは夫れ丈けの理由がある、鐘紡爭議東京市電爭議の如き其の例である經濟の要諦は人を高くし物價を安くするにあるが、政府は人の値を安くすると共に物の値を上げてゐる、減俸問題の如きこれである、政府の政策を見ると物本位で其の結果失業續出となつてゐる政府は現在の經濟國難を如何にして打開せんとせらるゝや

と論理整然流石に政友のピカ一たる處を見せる

濱口首相 金解禁後の不景氣は海外の事情に影響されてゐるもので已むを得ない、政府は解禁を聲明した頃の事情が解禁に焦眉の急に迫つてゐた事は御承知の通りである、又產業合理化は金解禁前から遣つてゐた

と云ふや政友會「嘘をつけ」と一齊に彌次る

濱口首相 重要產業の保護は必要であればやる、金解禁後二億圓位の流出はあるものと豫想してゐた、下半期となつて一年を通ずれば正貨流出も差程心配はいらぬ、更に有產階級無產階級の利害は大體一致するものと思ふ、金解禁後の經濟立て直しに當つては政黨の立場を離れてお互に諒解し合つて貰はねばならぬと思ふから篤と諒承せられ度い

と答へて降壇、代つて井上藏相登壇し、大體首相の答辯で盡きてゐる、とて數字の點で二三の駁論をした物價が下落すれば貨銀が下るのは常道である、と述ぶるや政友頻りに彌次り民政黨も亦これに應酬議場騷然代つて初登辯の俵商相登壇

俵商相 今日の經濟界對策は產業を振興し根本策としては輸入防止輸出增進の外はない、即ち五、六億圓の輸入品代用品を生產させるのが大切である政府は此の點に意を用ひ官廳民間に對し輸入品代用品使用を獎勵してゐる

「何處から教はつた」「落第々々」と盛んに彌次らる、野黨「モウ宜い〳〵」と連呼する、商相構はず輸出產業獎勵生產單純化等をまくし立てた後國民の消費を盛んにしと遣つたので政友盛に拍手を送る俵商相最後に消費節約は輸入品節約國產品愛用を意味し產業の合理化と矛盾せず、と結んで降壇すれば藤澤議長起つて議場に靜肅を求める、堀切氏再登壇し經濟政策に對する政府の矛盾を指摘し「商相の口裏を御察しする」と皮肉つて降壇

軍縮と回訓問題

內田信也氏の難詰

次いで內田信也氏(政)が登壇し五六册の原稿を出すと早くも「內田金を出せ」と名彌次を飛ばせる者がある

內田信也氏 軍縮は國防の安固を前提とする、而して其比率は七割たるは財部海相の聲明した處であるが、若槻全權はアメリカに渡つて發した聲明書には何處にも七割の數字はない、これこそ政府が英米と妥協する肚のあつた事を示すもので會議に於ける我國の失敗も此處に胚胎する

と述べ更に

一、若槻全權の聲明書中國防に充分なる最少限度とあるは誰の意見に依る最少限度か
二、條約上の兵力量は誰の責任で極めたものか
三、軍令部の最少限度を破つて尙ほ國防安全なりと云ふ以上國家に最少限度が二つある事となる江木君は軍部の參與せざる最少限度は甚だ如何はしいと第四十五議會で云つたが、今日の所感は如何
四、アメリカに對しては寧ろ軍擴となる
五、首相は海相事務代理として軍機軍令に關する職務を執行せしや
六、回訓をなすに當り軍令部長を無視した所以
七、外相は一千九百三十六年末アメリカの大型巡洋艦三隻未完成に依り我七割保持をなし得るとするも建造中の艦船は現在之れを現有勢力に加算してゐるではないか
八、大型巡洋艦七割で國防に差し支へなくば若槻內閣に於て三年前何故對米十三割五分五厘の計畫を樹てたか
九、潛水艦二萬六千噸縮小に對する對策如何

民政黨側の猛烈な妨害裡に述べ立てる

濱口首相 條約の內容につき說明するは國家の爲めに何等利益がないから(と逃げ手を打ち)又最少限度問題に就ては)若槻全權の聲明は政府が責任を以つて發表したものでないから此處に責任を以つて答辯する譯には行かない又軍令部との意見の相違に就ては答辯の限りでない、調印に當つては專門家の意見を十分に斟酌した、其の專門家の誰たるやは答辯の要なし、一千九百三十六年までの國防の安固に就ては政府は絕對責任を持つ條約の成立は一つには國際協調に依りしもこれに缺陷あらば他日これを補ふ覺悟である、尙ほ詔勅云々を引用するはお互に慎みたい

と述べて降壇するや藤井達也氏(政)等議席を飛出し首相の後を追ひ不敬呼ばりするも守衞これを遮る、內田氏再登壇、各質問條項に對し何等答ふる處なきは何たる醜態ぞ、と難詰して降壇すれば政友會拍手して氣勢を擧げる

處女演說に大山議員の熱辯

議席から淺原議員が聲援 午後六時半に散會

次で勞農黨の大山郁夫氏は處女演說を試みるべく登壇、人氣者の事とて場內俄にざわめき立つ

大山郁夫氏 私は全國の勞働者、農民、無產市民の立場から濱口首相の施政方針に對して質問する首相の施政方針の演說に對しては全國の無產階級は絕對反對を投げかけてゐる政友會でさへ反對してゐる

と常時の大衆に呼びかける時の樣に大きく手を振つて熱辯を揮ふと政友會拍手を送るや大山氏は竹箆返しに「政友會とは絕對立場を異にする」と大見得を切れば今度は民政黨側から拍手を送る

大山氏 濱口內閣は今日まで公約せる政策を實行した事がない勞働組合法の如き一部資本家の反對に遭つて聲明を裏切つてゐる、現內閣はこれより將に政策實行期に入らんとする時、既に政策の破綻を來してゐる先づ失業對策である、私は全國勞働者に代つて質問する、政府は失業救濟と云ふ溫情的表現をなす資格さへない、首相は第五十七議會の施政方針演說では失業對策につき効能を列べ立てゝゐるが今度は何等の內容もない

この時民政黨頻りに彌次るので淺原氏(大衆)議席に突つ立ち上り怒號し議長又は大山氏に何事か注意をすると議長「干涉するな」と怒鳴る紺の背廣に勞農黨のマークをつけた大山氏の熱辯は次第に熱を加へ自由勞働者の最近の慘狀を詳述したる後

產業の振興は搾取の增大以外何物もない產業合理化の當然の結果は失業者の大量生產と勞働力のより大なる搾取である日增しに增大する失業者が將來何をするか諸君も豫め承知し置くべきである

この時大臣席より議席に出てゐた俵商相に對し政友會の藤井達也氏が「產業合理化問題だ大臣席に歸れ」と怒鳴る、大山氏更に濱口首相に對し失業手當て法に依り其の生活を保證する意志なきや、と訊し次に農民問題に移り施政方針演說中に農民問題に觸れてゐない事を難じ更に農民は今六十億の借金を背負つて貧窮のドン底にある勞農黨は月收百五十圓以下の者の借金支拂延期法案を提出する

と述ぶるや政友、民政兩黨とも拍手する者あり「借金踏倒し」と野次るものあり、更に勞働爭議等に對する彈壓に及び

安達內相は將來增加する爭議に對し如何なる方針を有するかと實例を引き極めつければ淺原(大衆)氏議席より大聲で「安達內相の正體を暴露せよ」と絕叫する、大山氏轉じて言論文書集會の自由が無產黨に於て剝奪されてゐると難じ猛烈なる彌次の中に一時間半に亘る長廣舌を終つて降壇

濱口首相 大山君と我々とは立場が違ふので答辯が喰ひ違ふかも知れぬ大山君は今議會に於ける失業對策の內容の乏しいことを指摘されたが、特別議會であるからこれに必要な丈け演說した

と述ぶるや淺原氏議席より「尤もらしき噓つき雄辯」と怒鳴る

濱口首相 產業振興は大量生產に依り產業合理化が實現せば夫れ丈け失業が少くなる數億の失業手當を出す意志はない又政府は謂れなくして勞働爭議や無產運動に彈壓した事はない

と答へて降壇、大山君再び登壇し產業振興產業合理化と云つても失業者をどん〳〵街頭に放り出して何が合理化か、と追究したが、首相答へず午後六時三十三分散會

第一控室の委員一名を割當てる

昨日の各派交涉會で決定

【東京二十七日發電】衆議院各派交涉會は二十七日午前十一時より開催二十八日(月曜)本會議を開き國務大臣に對する質問を續けるに略決定、次で第一控室には十八名以上の特別委員會には一名を割り當てる事に決定して會を閉ぢ、次で懇談の形式で選擧違反で收容中の議員を速かに保釋する樣政府に對して正副議長より交涉するに決し正午散會した

首相の議會答辯は大權干犯でない

國防の責任は國務大臣が負ふ 憲法上の通念から

【東京二十七日發電】統帥權問題に關し政界一部の有識者及び政府系に於てはこれを次の如く見て一部の人々の妄動は我國に對する國際的猜疑を深めるのみならず却つて軍部の威信其のものを失墜せしむるものと眉を顰めてゐる、夫等有識者の見解左の如し

本問題を取り扱ふに當つては狹量な

一方的 立場に偏することなく凡有方面から判斷を下し殊に軍縮問題が現世界人類の最大事業として其の實現のためロンドン會議が開かるゝに至つた世界神精に即しなければならぬ、國防は獨り兵力の充實にのみあるものではない、國際平和の保證は國家の安全策であり民力の涵養は國力の增大である、國民は軍務を以つて總てを超絕せる最大の國務なりとする從來の謬見に捉はれてはならぬが、憲法の根本精神から解釋して一切の國務に關する輔弼の責任は國務大臣に存するのである、第十一條の統帥の大權に就てもこれを一般國務と

分離し 國務大臣に輔弼の責任なしとせば軍令部は勿論これに關し憲法上の輔弼の責任に任じないのであるから國務にして責任が直接天皇に歸する事項が存する事となり「天皇は神聖にして侵すべからず」となす我憲法の根本義に反する事となる唯政府としてはこの場合法理を直接的に主張する事は從來の制度及び實際から見て時期早尙と見てゐるのであるから政府は今回の條約に依つて國防を全うし得る事に就ての責を負ひ軍令部は只夫れに依つて與へられた兵力の範圍で兵備を全うすべきである、犬養總裁の

質問に 對し濱口首相が「政府が負ふ」と言明したのは憲法上の輔弼の責任に關する通念に依り議會に對する責任は軍令部の負ひ得ざるを明かにしたものであつてこれを統帥權の干犯なりとするは却つて違憲の議論である

北方政府が機關銀行を設立

浙江財閥代表も參加して 財政の獨立を期す

【北平廿七日發電】閻錫山氏は近く樹立さるべき北方政府の財政的獨立を期すべく此の程資本金一億元の國家銀行を設立するに決し其の前提として陸海空軍總司令部より六百萬元の臨時軍用票を發行する事となつた尙右銀行設立には上海及び浙江財閥の有力な代表者が參加してゐるのは注目されてゐる

莫全權とメ總領事の露支協定の內容

正式會議も樂觀さる

【ハルビン特電二十七日發】露支正式會議に對する豫備交涉は莫德惠全權及鍾毓交涉員とメリニコフ總領事の間に於て屢報の如く大體協定を遂げたが

(一)東支鐵道問題に關する細目協定は一九二四年の奉露協定に準據し原則として本會議に支那政府は支買收案を提示する意あるもソウエート政府はこれに對し原則上反對の意を有さざるも特別專門委員會に於て解決し條件として支那資本たることは勿論、共同經營期間隨時買收することを認めるも第三國に讓渡せざることを回答し東支管理局の職制改正案は本會議にて討議することに同意し

(二)露支紛爭中支那側の蒙つた損害賠償は東支に關係あるものは東支が負擔し本會議に於て審議はするもソウエートも亦損害あり相殺とする方針

(三)松黑航行中の支那船舶のソウエートに抑留されたものを本會議終了を俟つて直にソウエートは還付する責任を有する旨を明示すること

(三)ソウエートの提案たる航行權問題は本會議で協定することと支那側は同意する

(四)通商問題は北京條約により双務的に恢復するがソウエート通商代表を外交官として不可侵權を證認し其の事務所に特權を與へる問題は東鐵問題の圓滿なる解決により決定せしむ

(五)兩國大使の交換は北京條約の露支協定に基く、但し大使館を南京に設けることにソウエート政府は同意す

と云ふにありモスクワに於ける正式會議の前途は樂觀されてゐる尙モスクワ政府は通商條約の締結により露支公辦のコペラチーブ、合同企業公司を兩國に設け中央亞細亞を貫通する鐵道の布設權を支那政府から獲得し經濟的に進出せんとする意嚮であると

支那側代表送別宴

莫全權が各國領事招待

【ハルビン特電二十七日發】露支正式會議に入露することに決定した支那側代表は莫全權の外、專門委員劉澤榮、李深、王曾思、秘書蔡運辰、張明哲、王煥文、隨員孫文斗、南文明、謝議行、崔淑蜀、書記吳家棟、馮杰、齊仲怜、陶桂林で旅費は專門委員二千八百元、秘書が二千二百元、隨員一千七百元、書記が一千三百七十五元合計八千七十五元である尙莫全權に對し廿四日はルドウイ局長が自邸で送別宴を開いたのを皮切に廿五日はモデルンで張行政長官廿七日はメリニコフ總領事が東支クラブ、廿九日は東鐵支那側幹部の送別宴あり、廿八日午後八時から莫氏は在哈各國領事を東支俱樂部に招待し一夕の觀親宴を催すと、因に王曾思氏は全權大使の資格をもつて會議に參加するので本會議の結果ソウエートからも大使を派遣することに確定してゐる

これ以上には重大化せぬ

江木鐵相と原總務の打合せ 與黨側の意嚮は樂觀

【東京二十七日發電】重大問題として宣傳されて來た統帥權問題に關し與黨側では政府の意嚮に徵し幹部間に協議を凝らし二十七日午後原總務は院內で江木鐵相と會見、意見の交換をなす處あつたが、與黨側の意嚮は目下軍部の主張は誇大に宣傳されてゐる樣な嫌ひがある、よし軍事參議院會議が開かれてもそれは內輪の事に止まり外部に對しては到底あり得ない處である、又條約が樞府に諮詢された場合樞府で阻止される惧れありとの說をなすものもあるが、これも與黨側に入つた情報に依れば單に一部の策動宣傳に過ぎない、政府が回訓案作成に當り軍部の意見を參酌せる事は明かであり、又政府が國防の責任を負ふ旨明言せるは憲法第十二條に依り當然でこの間統帥權の干犯等とは以つての外である、從つて本問題はこれ以上重大化するが如き事なく無事諒解を得らるゝものと信じてゐる

對策協議

政府は斷乎應戰

【東京二十七日發電】統帥權問題に對し政府は既報の如く憲法第十二條に依り國防の事は國務大臣の輔弼の責にある事を以つて斷乎として應戰するに決したが、政府は貴族院方面に對しては伊澤多喜男、一宮房次郞、上田滿之進氏をして緩和策を講ぜしめてゐるが、二十七日午前九時濱口首相は鈴木翰長、一宮房次郞氏を官邸に招き情勢を聽取する處あり更に鈴木翰長は本日午後の衆議院本會議にける尾崎、堀切、武藤、大山氏等の質問につき打ち合せをなした

三十日から豫算總會

審議順序決る

【東京廿七日發電】政府は豫算審議の進捗に關し與黨側に希望した結果與黨幹部は政友會其の他との交涉の結果を齎し廿七日正午院內に於て濱口首相と協議の結果政府もこれに同意し追加豫算審議順序を左の如く決定した

二十八日國務大臣に對する質疑を打ち切り
二十九日休會
三十日豫算總會追加豫算案審議
一、二日同上
三日午前分科會
四日休會(各黨議決定)
五日午前豫算總會決定直ちに本會議上程決定
六日午前貴族院に上程

露領漁業權擁護案

政友會で提出

【東京特電二十七日發】露領沿海に於ける日本の漁業權は日露漁業條約により確保せられてゐるに拘らず、近年ロシヤ側では右條約を無視して計畫的に漁業權の回收を行ひつゝあり、そのため我が漁業權は漸次侵蝕されて實質的勢力を失ひ、該條約は全く有名無實になつてきたのでこの際その權益を擁護すべしとの議漸く有力となり、野黨政友會では今回同派の東武、砂田重政、西村茂生、中谷貞賴諸氏を提案者として四十餘名の贊成を得て該權益擁護に關する決議案を衆議院に提出することになつたまた一方貴族院に於ても近く同樣決議案の提出を見る筈

咲いた花に眼もくれず滿俱球場に集つた野球ファン▲一球一打に喜悲交々の觀面筋肉の活躍▲ところが笑つたことがないといふので有名な元木消費組合主事が消費軍のベンチに頑張つて▲相變らずの苦い顏をして試合の捌けぶりを眺めてゐたがそのうち次第に我軍優勢に▲梅一輪づゝほど顏面が綻びそめて來たが▲遂に優勝と決つた刹那▲櫻花爛漫として一時に花笑ふ春にめぐり會つたやうにニコ〳〵し出したので▲アベコベに元木さんの笑顏に選手の方が魂消たそうな顏をしてゐたと▲元木さんを笑はした昨日の野球戰のグラウンド風景一つ

本日廳報を添ふ

關東州野球界の霸權、遂に消費組合軍握る
國際軍旬日に亘る力闘も空し
盛況裡に大會終了す

本社主催の第十五回關東州野球大會優勝戰國際對消費戰は夕刊既報の如く七日午後二時疋田拾三氏（球審）安藤忍、中澤不二雄兩氏（壘審）の下に立錐の餘地なき觀衆に取卷かれ國際先攻で開始された、大鐵傘をゆるがす喊聲や花壘の球場空高く響き渡り、白球飛び鐵腕うなるの好ゲームにファンは醉ひしれ、幾度かの美打に觀衆熱叫し今シーズン始まつて以來の盛觀を極めた、勝頭國際一死滿壘の好機を惠まれしも凡退に終り以後兩チームとも攻守伯仲して壘を拔く能はず、漸く五回裏に消費南條敵失に生きて進み二神の二越單打に生還、先づ一點を得たるに反し、國際軍無得、一對〇の接戰でラッキーセブンに入る、國際死力を盡し無死滿壘の好機をつかみしも僅かに一點を得、消費の堅壘をおびやかせしのみ、同裏消費再び南條の遊左を拔く單打をきつかけに綠川の犧バントに送られ吉野、井上共に右前單打で二死滿壘となり、このとき大橋本壘打性三壘打をカッとばし一擧三點を得大勢決まり、國際の攻擊も空しく各者凡退し、遂に四A對一で國際軍遂に長蛇を逸す、かくて旬日に亘る戰雁こゝに全くをさまり、霸權を握りし消費軍は威容を更めてダイヤモンドに進み一列縱隊となつて整列、佐藤本社編輯局長一場の挨拶をのべ北川消費主將に榮ある大會優勝旗及び片山優勝ボール、大每大朝兩社優勝旗並びに玉澤バット店寄贈の大果物籠、山本運動具店寄贈の花環をそれぞれ拍手裡に授與され、消費チームの「滿日萬歲」三唱を最後に盛觀なりし第十五回關東州野球大會目出たくその幕を閉ぢた

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
國際 敵失	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
國際 安打	1	0	0	2	0	0	1	1	0	5
國際 得點	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
消費 得點	0	0	0	0	1	0	3	0	A	4A
消費 安打	0	0	0	0	1	1	4	1		7
消費 敵失	0	1	0	0	1	0	0	0		2

經過
第四回までは兩軍ともゼロ

第一回 國際武井二飛、立石左中間單打に出で二盜、宮武四球を利し渡邊二匍失に生き走者進壘し一死滿壘（古味退き青山一壘に入り大橋投手となる）木下右飛、石河中飛で消費危機を脫す▲消費綠川二匍、二神投匍、吉野三振

第二回 國際山田三匍、松尾三振、石川左飛▲消費井上遊匍一失に生き大橋の投前犧バントに二進、宗正右飛、青山二飛

第三回 國際武井、立石續いて中飛、宮武三匍▲消費時任三匍南條左飛、綠川四球に出で二盜したるも二神遊匍

第四回 國際渡邊遊匍、木下左翼後へ二壘打し石河の三遊間單打に木三進したが、宗正の好投に死しその間石河二壘を突き重殺さる▲消費吉野四球、井上の投前バントに吉野二進、大橋の二匍に吉野三進、宗正四球に出で二盜、青山もまた四球に出で二死滿壘となり好機到れるも時任三振に終る

消費先づ一點 氣勢をあぐ

第五回 國際山田捕邪飛、松尾遊飛、石川二飛▼消費南條三匍高投に生き、綠川投前犧バント に二進、二神の二壘後の單打に南條一擧本壘を突いて生還、二神二盜、吉野四球に出で二神三盜、その間に吉野二盜、井上バントせんとせしも遊飛となり二神重殺さる

第六回 國際武井三匍、立石右飛、宮武一邪飛▲消費大橋二壘後の單打に出で（青山代走）宗正三飛（青山と井上交代す）井上二盜、青山一飛、時任三匍

消費三國際一 大橋の快打

第七回 國際渡邊一、二間單打、木下の投野手選擇に生き石河の投前バントを投手大橋、三壘封殺を企てんとせしも三壘手ハンブル—無死滿壘となる、山田死球に渡邊生還、走者進塁、松尾三振し石川の遊匍に木下本壘に封殺、武井左飛滿壘のまゝ好機を逸す▲消費南條中前單打に出で綠川の投前犧バントに南條二進、二神三振、吉野右前單打に出で南條一擧本壘を突き生還、吉野その間二盜、井上右前單打に吉野また本壘を突いて生還、この際に井上二盜、大橋左中間三壘打に出で井上生還し大橋本壘を突きしも中遊の好投に大橋刺さる

第八回 國際立石三匍、宮武三壘後へ單打渡邊二匍に宮武二壘封殺、渡邊一壘ヒッテングボールに死す▲消費（木下一壘に入り、宮武投手となり、山田三壘へ、立石遊擊となる）宗正右前單打に出で、青山一飛に退き時任の死球に宗正二進、南條の中飛に走者進壘、綠川四球を利し滿壘となりたるも二神一飛に退く

第九回 國際木下左飛、石河二匍、山田中飛

（國際）

打順	選手	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
8	武井	4	0	0	0	0	0	0	0
56	立石	4	0	1	0	1	0	0	1
61	宮武	3	0	1	0	0	0	1	0
2	渡邊	4	1	1	0	0	0	0	0
13	木下	4	0	1	0	0	0	0	0
4	石河	4	0	1	0	0	0	0	0
35	山田	3	0	0	0	0	0	0	1
7	松尾	3	0	0	0	0	2	0	0
9	石川	3	0	0	0	0	0	0	0
	計	32	1	5	0	1	2	1	2

（消費）

打順	選手	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
9	綠川	1	0	0	2	1	0	2	0
8	二神	5	0	1	0	2	1	0	0
5	吉野	2	1	1	0	2	1	2	1
2	井上	3	1	1	1	1	0	0	0
3	古味	0	0	0	0	0	0	0	0
1	大橋	3	0	2	1	1	0	0	0
7	宗正	3	0	1	0	1	0	1	0
13	青山	3	0	0	0	0	0	1	0
6	時任	3	0	0	0	0	1	0	1
4	南條	3	2	1	1	0	0	0	0
	計	26	4	7	5	8	3	6	2

▲三壘打 大橋—一
▲二壘打 木下—一
▲併殺數 宗正、吉野、南條—一
宮武、立石—一
▲死球 宮武—一（時任）大橋—一（山田）
▲殘壘數 國際—六 消費—九
▲試合時間 二時間三十分

バットの響

好試合だけに大なる興味を以て迎へられて居た又試合も終始エキサイトして優勝戰にふさわしい戰ひとなつた▲消費軍この日竹中を出して彼のもつ大きなカーヴで國際軍を攻め立てるであらうと云ふ豫想を裏切つて未だ肩のいえない青山を出した、青山最初から肩を氣にしながら投げて居たが僅か三者に投げた切りで大橋と交代を餘儀なくせられた、來るべき實滿戰をひかへる折から肩のいえない青山を出したことを懸念した人は隨分あつたことゝ思ふ▲大橋はあのヒネくれたボールに時々つり球を混へて國際の强打者を苦めた今日の勝因の一部は彼の悠々迫らない好投に負ふところがあらう▲木下は消費大橋に比べてあえて遜色なき投手振りを示して居た大きなアウドロに時々彼一流のスピードボールで敵の虛をつくところなどは准實滿戰の觀あるなづかせる▲第一回國際一死二走者四回表のチャンス、七回表の無死滿壘等のチャンスありながら遂に運に見離されて得べかりし霸權をした押しに敵を押しながら遂に消費に霸權を與へてしまつた▲第五回裏、二神三盜を蹴りオーバーランし三本間挾擊の時何思ひしか渡邊二神をおひつめずして三壘送球したりしが餘りにボン・ヘッドならずや▲國際軍外野の守備は一體に左寄りの觀あり▲結局試合の分岐點は投手の不足と外野手の實力相違であらう▲大連野球審判協會生れて最初の大會であり然も安藤、岩瀨、中澤、疋田、芥田、二神、平田、上條氏等斯界の先驅權威者が審判の勞をとられたゝめ圓滑に且つ順調に大會が進められて行つたをこと感謝して止まない

この日許りは軍服捨てゝ
盛んだつた旅順重砲兵大隊 第廿四回創立記念日

第二十四回旅順重砲兵大隊創立記念日は花曇りの二十七日午前九時から同大隊營庭に於て擧行された定刻既に來賓及び一般觀覽者は陸續と營門を指して殺到し、營庭を參集した、皇居遙拜の儀式についで渡邊重砲兵大隊長の挨拶あり、續つて觀漫と餅を競ふ櫻花の下に練兵場に砲列を布いた八珊砲は高射砲を取圍んで號令一下一齊射擊を開始し殷々轟々たる砲聲は天地を震撼し、我重砲隊の大威力を如實に現はして參觀者の賞讚を浴び、畑軍司令官の閱兵を以て儀式を終了し午前十時半から餘興に移る、民衆と共に記念日を樂しむと云ふ趣向から中央營庭に設けられた運動場では旅順第一、二小學校生徒と重砲隊員合同の愉快な運動會が催され、一競技毎に急霰の拍手起る、更にまた場內の隨處に縱橫に綠つて張り廻された紅白の幔幕の間には兵隊さん達が智慧袋を傾けて造つた二十種近い造物が配置されて居たが或は世相を諷刺し、國難來を警告し、忠君愛國を高唱する等何れも趣向を凝らして出來榮えに賞讚の跡を擅にした、かくて餘興は壯烈な相撲、愉快な演藝等と進んだが場內に設けられた十數軒の模擬店には旅順全花街の美形連が立並んであでやかなサーヴイス振りに來賓を滿足せしめ、盛りの櫻花と數種の餘興に記念日の一日はのどかに終つた

來賓中の主なる者は畑軍司令官、厚東要塞司令官、滿鐵藤井秘書役、安岡檢察官長、土屋高等法院長、小山工專校長等旅大の官民を網羅した盛況振りであつた

明日の佳節に旅順の花を訪る
戰蹟巡りを兼ねて
滿日婦人見學團の催し

滿洲で邦人が一度は杖を引かねばならぬのは旅順戰蹟巡り、又滿洲で花といへば第一に推されるのが旅順の櫻狩、この二つの目的を兼ぬる我社の婦人見學團は毎春恒例となつてゐるが本年も愈々明日の**天長節**を期して行ふことゝなり續々申込あり裡に本日の午後六時を限りて締切ることゝなつた戰蹟巡りに寒からず暑からず花は滿開で佳き日に幸ひ大丈夫元氣らしいので意義ある一日の行樂を待たれてゐる

當日の行程は一百の婦人が午前七時五分發列車にて旅順に向ひ同九時五分着、直に馬車一臺に二人宛乘込んで先づ白玉山に詣で茲で海陸の戰蹟を指して當時激戰の樣を目にとるやう說明しこより東鷄冠山に到り此處でも攻圍戰講話あり、山を下つて種々の戰利品を蒐めた陳列館を見學の上

晝食をしたゝめ、休憩後は旅順隨一の櫻花名勝地大正公園で心ゆくばかり花を愛でて一應解散し、動物園や博物館を見る人、所用を果すなど各自自由行動をとつた上午後四時二十分發列車に間に合ふやう驛に集まることになつてゐる、大連驛着は同五時五十五分

滿日婦人見學團

時日　來る二十九日（天長節）午前七時五十分大連驛出發午後五時五十五分大連歸着
人員　一百名婦人に限る
會費　一名金二圓五十錢往復汽車賃及馬車賃一切（但し晝食持參のこと）
見學個所　旅順驛下車後馬車にて白玉山、東鷄冠山、戰利品陳列館見學後大正公園觀櫻
申込期日　四月二十八日午後六時限り滿洲日報事業部（電話六三二四八）會費は申込と同時に徽章をお引換します

主催　滿洲日報社事業部

開原驛建物の廂墜落事件

【鐵嶺特電二十七日發】工事の不完全から意外な椿事を惹起した開原驛建物墜落事件はその後開原警察署で嚴重調査の結果、別に不正と認むべき點はないが墜落の原因が工事の缺陷にありし事は明かなるを以て該建築の責任者たる
工事監督滿鐵職員　伊東眞美
大同組代表者　佐伯貫一
同下請負業者　向井熊市
の三名を過失致死罪として一件書類を鐵嶺領事館に送致して來た

大穴が續出
春競馬の第一日成績

星ヶ浦春競馬第一日の入場者は二千二百十七名で午前中は配當も至極平凡であつたが午後になつて第七競馬白眉の五十圓、二着辰龍二圓九十錢配當、第八競馬金峰五十圓、第二着正和三圓四十錢配當、第九競馬旭昇五十圓、第二着武熾島矢七圓十錢配當、第十三競馬辰巳五十圓、第二着一姬八圓六十錢配當、第十五競蓬萊五十圓、第二着豐福七圓二十錢配當といふ最高配當が五回も續出して最高配當の記錄破り人氣はいやが上にも高潮し競馬ファンも全く狂せんばかりであつたが、第九競馬で人氣を集めてゐた齋藤庚氏の嘉洋（騎手田中）が千八百米の箇所附近で倒れ慘死（騎手無事）するなどの騷ぎもあつた、因に初日午後の勝馬及配當（五圓券）左の如くである

▲第六競馬（州內產改良馬一八〇〇米）一着石河（二分十九秒二）二着大孤、三着大連、配當五圓九十錢
▲第七競馬（新抽騸馬一六〇〇米）一着白眉（二分十四秒一）二着辰龍、三着琴崎、配當五十圓、二着配當二圓九十錢
▲第八競馬（各抽一六〇〇米）一着金峰（二分九秒三）二着正和、三着春日、配當五十圓、二着配當三圓四十錢
▲第九競馬（古呼二〇〇〇米）一着旭昇（二分三十二秒三）二着武熾島矢、三着鍾旭、配當五十圓、二着配當七圓十錢
▲第十競馬（新抽牝馬一六〇〇米）一着土佐（二分二十一秒三）二着五光、三着陀偉彌、配當六圓
▲第十一競馬（各抽一八〇〇米）一着豐（二分二十五秒一）二着伊吹、三着天龍、配當二十二圓七十錢
▲第十二競馬 新抽騸馬一八〇〇米）一着勝見（二分二十七秒）二着張隆、三着有明、配當二十八圓四十錢
▲第十三競馬（各抽一六〇〇米）一着辰巳（二分十三秒）二着一姬、三着香取、配當五十圓、二着配當八圓六十錢
▲第十四競馬（各抽一六〇〇米）一着中國（二分十三秒四）二着有利、三着日高、配當二十二圓七十錢
▲第十五競馬（新抽牝馬一六〇〇米）一着蓬萊（二分二十六秒）二着豐福、三着龍、配當五十圓、二着配當七圓二十錢

慶應辛勝す
對法第一回戰

【東京二十七日發電】六大學リーグ戰慶法第一回戰は二十七日午後零時半より天知（球）池田、錢村（壘）の審判の下に慶應先攻にて開戰双方とも好く戰ひ八回表にて慶應一點を入れたのみで一對〇にて慶應の勝利に歸し二時三十四分閉戰、バッテリー慶應水谷、岡田、法政若林、田坂

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
慶應	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
法政	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

帝大雪辱す
對立敎二回戰

【東京二十七日發電】六大學リーグ戰帝大對立敎第二回野球戰は二十七日午後三時十二分より華陽宮の台臨を仰いで淺沼（球）藤田、橫澤（壘）審判の下に帝大先攻で開戰十二對九で帝大雪辱し五時三十九分閉戰バッテリー帝大、古館野本、小林、立敎、辻、鋼岡、小笠原

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
帝大	0	0	0	1	1	0	0	1	0	12
立敎	3	1	1	3	0	0	0	0	1	9

日本共產黨 三一五事件 豫審決定す

【東京廿七日發電】日本共產黨三一五事件の被告中佐野學、荒畑寒村、福本和夫等三十七名に係る治安維持法違反の豫審決定書は來る二十八日、または三十日の夕刻各被告の手許に送達される筈であるが、決定書は三百數十頁に亘る尨大なるもである

藤田謙一氏 保釋出所す

【東京二十七日發電】合同毛織事件で市ヶ谷刑務所に收容中の藤田謙一氏は二十六日午後六時半保釋出所を許された

滿洲體協役員

四月二十六日附夕刊所報の滿洲體育會役員中左記の如く訂正す
會長太田政弘氏を名譽會長に、顧問仙石貢氏を會長に、常務理事に津久井誠一郎、平田驥一郎兩氏、監事に長山七治、高橋武夫兩氏を加へ、委員黑田善八氏を除き主事林田學氏を加ふ

大連俳句會

五月一日午後六時半より山縣通土木建築業協會樓上に於て當月第一例會を開く持寄句「春の闇、蝍生る」各三句會費二十錢であると

電〇

不正直者あり注意！ 大連案內社號外
五月一日現在の電話番號簿改印刷を行ふ事になりました御注意
◎電話名義變更せず共低利貸出
最近電話名義變更せぬ契約で手數料迄取りながら無謀で名義を變て再度の金策を計る不正直者あり
現在電話相場 四ッ番五百五十圓以上 五ッ番四百八十圓以上の
不直洋犬の宣傳は「まつかな」欺瞞宮社では前記相場より金二十圓以上割引して差上げます故不〇〇洋行へ御賣被下ても利益が有りますす電話大暴騰の宣傳は不正手持電話の釣上策不當利得因暴露す、電話市値の高低ブローカの左右する處にあ遞信局と市民諸氏に依りて賣電話多數あり今が買時話多數あり
買入れは卽金です御安心
西通三十五電六六六三大連

決勝戰から【寫眞】上—第五回裏、消費軍二神の二壘左を拔く單打で南條本壘を突き一點先取の刹那、中—佐藤本社編輯局長から優勝旗を授與される北川主將、下—消費組合軍の滿洲日報萬歲三唱

救命袋をお身に 高松宮、同妃殿下
船長の指揮を待たせらる
鹿島丸のボート操練演習

【鹿島丸二十七日發電】二十七日午前十時頃如平和な航海氣分を破つて警笛が鳴る、ボート操練である、高松宮同妃兩殿下にも一般船客同様に救命袋をつけさせられ指定の場所に立たせられ船長の指揮を待たせられたのであつた、演習は約三十分で終つた、兩殿下には二十八日上海御到着、多分領事館の御豫定である

滿日地方版

奉天

鎭江山觀櫻會の申込愈よけふ限り
早くはやく! 定員突破せん勢ひ 參加者注意いろいろ

一年に一度の行樂の絶好チャンスとして發表以來市民の湧くが如き人氣を呼んでゐる滿日奉天支社、奉天日日共同主催の安東鎭江山觀櫻會は愈々今晩出發の日が來た、三寒四溫を吹飛ばした數日來の雨と風の不順な惡天候も漸く常道に歸つて昨日今日は麗かな春光が頻りに遊意を唆つてゐる、申込みは日を逐ふて

加速度

に激増して締切までには恐らく定員を突破するだらうと鐵道事務所では觀てゐる　參加者は左の事項に注意されたい

一、發車は二十八日二十二時五十分で團體込みの客車が二輛連結してあり成るべく早くお乘込みを願ひます

二、安東には二十九日七時に到着します、到着後驛ホーム食堂で辨當を特價で會員に賣ること〻なつてゐますから御入用の方は御買求め下さい

三、朝飯が濟んだら鴨綠江の鐵橋が八時半に開きますから乘船券一枚金二十錢(但し小人十錢)所持の方は乘船の準備を願ひます(案內者の道案內で江岸船着場へ御出で下さい)

四、乘船を希望されない方は鎭江山へ行かれても宜敷うございます

五、船遊びが濟んだら鎭江山へ向ひます

六、鎭江山麓には湯茶の用意がしてあります

七、安東見物が終り五龍背溫泉へ御入浴希望者は安東發午後四時發の汽車で先發を認めます但し會員章は必ず御携帶下さい

八、安東發は二十九日二十時四十分、五龍背發は二十一時半發で五龍背に入浴の方は四時間暇があります

九、安東驛で午後五時頃から客車を側線に留置いてありますから御休憩所として　利用下さい

一〇、毛布その他携帶品は客車で預つて呉れます

一一、不案內のことは驛員及び赤腕章を附ける係員に御問合せ下さい

發車直前

なほ申込締切は本日正午までとなつてゐるが驛の案內所では便宜上まで申込みを受けることになつてゐる、但し定員に達した場合はお斷りすることがあるかも知れぬ

盜まる
奉天文官屯間で 又も電話線

奉天、文官屯間に又復電話線の盜難事件があつた、廿五日午後六時ごろ文官屯を南方に距る千五百米の地點にある遞信局の電信電話線長さ四十米突廿九本を切り取り逃走せんとする支那人二名を守備兵が認め直ちに追跡逮捕せんとしたが、夕闇にまぎれそのまゝ姿を晦まして仕舞つたので、引續き犯人嚴探中である

行される

一日　日吉町、宮島町、芳野通り末廣町各派出所管內

二日　加茂町、本署、隅田町、文官屯・虎石臺各派出所管內

三日　浪速通り、千代田通り、新城子、渾河各派出所管內

四日　奉天驛前、紅梅町、蘇家屯吳家屯　楡樹臺各派出所管內

五日　青葉町、平安通り、陳相屯姚千戶屯各派出所管內

二月來奉し商埠地の國際ダンス場で樂士として働いてゐたが、二十四日午後七時ごろ肺結核で死亡し極度に悲觀した末同夜九時ごろ毒藥を飲み苦悶中を翌朝發見されたものであると

醫大醫院で
健康相談に應ず

醫大醫院では滿洲公私經濟聯合委員會主催の健康週間に參加し本月三十日から來月二日までの三日間午後二時から四時まで健康相談に應ずることになつたので市民多數の利用を歡迎すると

町の便り

當地々方事務所地方係りでは安東地方係と庭球及び野球の對抗試合を安東に於て行ふ事となつたので選手一行は廿八日出發の豫定

◇

小西邊門外雜貨商義順洋行の岡持夫妻殺し犯人については總領事館警察に於て引續き搜査中であるが未だ逮捕するに至らず事件は迷宮に入りはしないかと心配されてゐる

人事

▲寺内守備隊司令官　廿六日安奉線にて來奉
▲平野滿鐵學務課長　廿六日來奉
▲田村同興業部長　二十五日過奉歸連
▲森島奉天領事　廿五日夜赴旅
▲佐原盛京時報社長　廿五日歸奉
▲波出鐵道部參事　廿五日歸連
▲松田關東廳高等課長　廿五日旅順より過奉撫順へ

夫の死を果敢み劇藥自殺

市內琴町三番地露人樂士ソロウイヨフ(三八)妻テイミテレウナ(三三)が劇藥を嚥下し自殺を企てゝゐるのを廿五日午前十時ごろ同傑のものが發見し直に富士町露人開業醫師を呼び應急手當を施した結果、幸ひ生命だけは取止めることが出來た、原因はソロウイヨフは昨年十

鐵嶺

電燈料の値下げ
愈よ近く實現せん

鐵嶺に於ける電燈料値下運動は既報の如く商友會が其烽火を擧げたので市中にも贊同者多く商工會議所からも電燈局に對し値下促進の警告文を發するなど漸く表面化して來たが電燈局でも夙に値下の要求を豫期してゐた事とて事情を具し値下認可の申請書類を關東廳に提出したる由につき何れ近日中に認可實施を見るであらう

忠靈塔
春の招魂祭 來る卅日に

來る三十日午前十時より千代田通忠靈塔に於て春季招魂祭を執行さるが軍隊、各學校生徒其他の團體多數の參拜で非常な賑はひを呈するだらう、尙各官衙學校、會社、銀行は一日休業する

五月一日から大掃除

奉天警察署管內の春季清潔檢査は來る五月一日から五日間左の日程で施

協拓農場開き

鐵嶺協拓農場では嚴立せんと協同の下に當地鐵西百五十町歩の耕地を借受け協拓農場を開設したるが、二十七日午前十一時より在鐵知名士を招待今後の指導援助を依賴したが出席者は何れも其前途を屬望してゐる

益濟寮演藝會

益濟寮創立十七周年記念の演藝會は二十八日午後六時より公會堂を會場とし無料で一般に公開されるが、寮員有志のハーモニカ、落語尺八合奏や演藝では店の夜番、義理のしがらみ、鼠の隠等かなり大物がある

協拓農場開き

協拓農場實習所卒業生藤永小次郎、一ノ瀨逸次、藪下傳、金子太郎の四名は母校において實習した近代的農業教育を基礎とし滿洲

上田氏辭任

鐵嶺輸入組合書記上田武弘氏突然一身上の都合といふので二十五日限り辭任し代理事務は當分の間石炭組合の田代支配人が執務すると

四平街

川野驛員の妻女鄕里へ

去る三月二十六日朝當驛々員川野末後が三江口方面に狩獵に行きしまゝ行方不明となり驛當局者は元より我官憲及び縣人會の有志が全力を傾倒してその搜査に努めしは既報の如くであるが爾來一ケ月を閲する今日消息杳として知る由なく全く萬策盡きて近日稀有のことゝして成行に委ねるに外なく、從つて生還は最早望み難きより姬嶋六ケ月の妻女トリは本年四歲の幼兒を伴ひ驛當局者に慰められ去る二十四日孤影悄然故里鹿兒島に歸省した

營口

驛前の擴張

營口驛では驛前支那家屋取拂の結果同處を客馬車駐車場にあて自動車駐車場を警察派出所の南方へ設け人力車駐車場の一部を同派出所の東北方へ移し附近の樹木は移植又は取除くことになつた從來不便と狹隘とを感じて居た驛附近も之が爲に面目を一新し警察取締上にも非常に便利とすなるであらう

氏子總代會

二十八日午後六時から滿鐵倶樂部に營口神社氏子總代會を開き四年度の祭事及び決算五年度豫算神社十年祭に關する事項を附議した

長春

不思議に命拾ひ
遭難ボーイ

二十四日の邦人及川夫妻遭難の側杖を喰つて頭部その他に彈丸を浴びせられ危篤に瀕してゐる同家のボーイ趙振良(三)は賊の彈丸を額に受け彈は後頭部の皮下に留つてゐるが不思議にも今尙生命をとりとめてゐる、右に關して專門家の言に依れば彈丸は頭蓋骨に當つてそれ皮膚と骨との中間を通り頭を一廻りして後頭部に達したものらしくかくの如き例は往々あるが額から後頭部まで通つた例は稀らしいと

領事館內の邦人々口調

長春領事館管內邦人々口は三月末現在に於て內地人一萬六千八百二十八人、戶數四千四百二十一人、朝鮮人々口三千五百三十五人戶數七百六十九、臺灣人々口十一人、戶數四、總計人口二萬三百四十七人、戶數四千百九十四で內地人の分布狀態は滿鐵は附屬地一萬六千四百三十三人(戶數四千二百九十三)寬城子以南東鐵沿線二十八人、附屬地接壤地百八十人でその他は鐵嶺、長春、懷德、梨樹、伊通各縣に散在するものである、朝鮮人は附屬地の千五百五十九人を除いては伊通縣の九百八十一人、懷德縣の六百三十一人が最も多い

海城

禮砲やら大相撲
野砲隊の天長節祝賀

來る二十九日の天長節に海城野砲隊では午前八時三十分から營內酒保前空地で莊嚴なる式を擧げ、同十時からは西練兵場で分列式、同十一時からは海城神社前で禮砲式が行はれ百一發を發射午後一時から午後三時頃まで野砲隊內の大相撲場で官民合同の大相撲が行はれる、何にしろ野砲隊は猛者揃ひの事であるから勇壯なる取組を見せる事であらう

哈爾賓

五月の催し物

春になると例年各種の催し物が多いので昨今の滿鐵社會係りは繁忙を極め久永主事以下騎手古舞の有樣だが主なる計畫を擧げると

▲五月十一日より十七日まで第二回乳兒審査會
▲同十八日　體育ボール競技會
▲同二十日　四家房千鶴及び宮內省樂手(ヴアイオリン)杉山長谷夫氏演奏會
▲同二十五日　職業女子研究會の吉林龍潭山行き

經費の關係で
東北防衛隊の組織困難

松黑江防艦隊副司令として就任した謝鴻哲少將は日本の商船學校出身で、卒業後は橫須賀海軍機關學校に入り砲術其他を研究した人物であるが、松黑の江防問題について語る

露支紛爭の際同江附近で沈沒した軍艦の引揚げ作業は約七八萬圓を要するので一寸見込がない下流の狀況視察も利捷號がまだ修理されないので行けない、江防艦隊は經費の關係上使用に堪へる船の準備を整へ難いのは甚だ遺憾である

東北江防艦隊もこの調子では下流ソウエート領に對し滿足な防衛隊を組織の實現可能性は乏しい

惡い病氣が流行る

氣候の變り目、木の芽が出る頃になると色々の流行病菌が飛び出す最近廿二名の發疹チブス患者が中央病院に收容された、死亡する者も多い、其れに日本人側では感冒で急性肺炎に變る者もあり一般家庭では時候に對する注意が肝要である

ロータリー倶樂部の成立はうれしい
產婆役の佐原篤介氏語る

ロータリー倶樂部哈市支部發會式の產婆役として佐原篤介氏と天野三井支店長が來哈したが佐原氏は語る

哈爾賓にも倶樂部を設けるため東京からセールフレザーの支店長が來たことあつたが、言語の關係から組織することは六ケしいとあつたのが成立するに至つたことは嬉ばしい、出來れば長春と安東の二箇所にも亦組織されたいものだと思ふ、さうなれば大連、奉天、ハルビンと五ケ所になり滿洲だけで各支部の會議も開くことができるのであるから是非そのやうにしたい、ロータリーの發生地はシカゴからで世界を七十箇管區に分ち其のうちには日本本土、朝鮮を含むが北海道、臺灣は這入らず滿洲は其の一つとなつてゐるが五ケ所の倶樂部が產れたなら大成功だ

廿四日午後七時からモデルで發會式が盛大に擧行され同夜佐原氏は南下歸奉した

天長節奉祝宴出席

風彌三郎は悪辣なる方法で國酌婦の生血を絞つてゐた事其の筋の知る處となり先日營業停止の處分をうけた

從來總督主催の天長節奉祝宴には京城在住者のみ招待されて居たが本年よりは範圍を廣め全鮮に亙つて有力者が招待される事となり、平北よりは多田榮吉、宣川李昌錫、寧邊車弘均の三氏が列席する由

奉祝生花會

安東縣橘會では來る廿九日より五月一日まで三日間五番通幼稚園において奉祝獻花會を催す由

國境雜信

安東山岳會主催の平北寧邊郡鐘乳洞探勝は二十七日安東發の豫定であつたが、無期延期となつた

◇

當地山梨縣人會では二十七日家族午前十一時から鎭江山に於て春季會を催した

◇

全滿憲兵分隊武道大會に安東分隊から犬童、前田兩選手の外數名參加に決し、猛稽古を續けてゐる

濱江雜俎

五月一、二の兩日民會公會堂で春期種痘を施行

◇

五月九日から十一日の三日間公會堂で美術協會の主催で繪畫展覽會を開催

◇

富松副領事は約一週間の豫定で長春、奉天、吉林、旅順を視察のため廿四日午後二十時四十分で出發し各地領事館を訪問し最近の狀況を調査

安東

平北體協總會

平北體協の定期總會は二十三日午後六時より安東縣鴨江春に於て開催、出席者三十餘名、前年度所管事項の概況を各部長より報告、次で昭和五年度豫算案を附議、新に蹴球を陸上競技部に加ふる事となし他は原案通り決定し終つて開宴午後九時散會した

尙ほ五年度豫算は歲入經常部二千二百八十六圓、同臨時部八百五十圓、計三千百三十六圓、歲出經常部二千九百五十六圓、同臨時部百八十圓、計三千百三十六圓にして、前年度に比し一千百九十二圓の減少である

紹介業者にお灸

當地三番通居住の藝酌婦紹介業北

瓦房店

小學校に衛生婦を置く

瓦房店小學校に五年度より學校衛生婦を配置する事となり廿三日附草野やす氏任命せられた、草野氏は內地福岡縣及滿鐵醫院等に於て看護婦助產婦等を勤務せる頗る適任者である

公主嶺

天長節式次

公主嶺の天長節は午前八時公主嶺神社において天長節祭典擧行、同九時小學校講堂において全校生徒の御眞影拜賀式、同三十分守備隊練兵場に觀兵式擧行、十時三十分市民御眞影拜賀、十一時三十分小學校講堂において官民合同の祝賀會を開催すること〻なつた

巡補殺し逮捕

既報市內川岸町一丁目煙草商鄒方を襲ひ同店に居合はした李巡補を射殺拳銃を奪ひ逃走した三名の馬賊に對し嚴探中、鄒房子附屬地支那端の支那宿に賊の一味が潛伏し居るを探知した公主嶺警察署同所屬官派出所駐在張巡捕は、二十二日午前六時三十分該支那宿を臨檢賊の所持の拳銃を取出した刹那、張巡捕は之れを奪ひ戶外に投げ捨て大格鬪の上取押へた、賊は有力なる被疑者で目下嚴重に取調べ中である

電氣實演會

公主嶺家庭研究所主催當地電燈會社後援の電氣の實演會は二十五日午後一時滿倶樓上に開催、電氣に就てと題する講演を終り備田菓子店出張電氣の菓子燒き、飯のたき方、魚の燒き方洗濯機、掃除器アイロン等の使用狀態の實演をなし電氣で燒いた菓子、電氣で沸した茶を供し家庭生活にかける電氣、電熱の智識を普及し多數の來觀者に盛況を呈し四時閉會した

遼陽

天長節の拜賀式
領事館にて

遼陽領事館に於ける天長節當日の御眞影拜賀式は午前九時三十分から十時三十分迄と定められた

結核豫防デー

遼陽警察署では廿七日早朝から當非番員の總動員を行ひ警察取締營業者の喫煙具の檢査、實施する外結核豫防の宣傳をなし特に學校側と協議の上小學校に對し「肺結核とは如何なるものか之が豫防方法の大要を述べよ」といふ如き課題をなし答案を求むる外兒童を通じて家庭に豫防上の注意をなす處があつた

五一節の警戒

遼陽縣政府では遼寧省からの訓電に基き五月一日に民國青年共產黨員が中堅となり國際勞働節の名稱の下に全國總罷業を企てんとする風聞ある故管內淸鄕を督勵して嚴重査察警戒をなせと

少女歌劇來演

日本少女歌劇座一行は滿鐵社會課の後援で沿線各地に於て社員及び家族其の他一般の慰問をなすと遼陽は五月十四日遼陽座に於て開演入場料は特等社員一圓五十錢、一般二圓、一等社員一圓、一般一圓五十錢

圍碁會

遼陽社員倶樂部の圍碁部では廿七日正午から日本間で春季圍碁大會を開催したが參加者三十餘名で極めて盛會であつたと

探偵小說 **女妖**(75)
江戶川亂步作
橫溝正史
伊藤幾久造畫

霧の運河(二)

の邊りに男と二人で隱れてゐるといふやうな話を聞いたんでございますが」

老人は途方にくれたやうな面持をした。

「男と二人で……?して、その男といふのは何をする人なんですか?」

「さあ、何をする男だか……いづれこんな所に隱れ棲といふんですから、大概は知れてゐますがね」

老人は淋しく笑つた。

この老人、讀者諸君も或は記憶があるかも知れない。寄巢街の死美人と共に濠洲から歸つて來たといふ、あの庄司三平である。いつか、鰐田檢事の許に、死美人の身元を知つてゐると言つて屆けて出た男。然し、その當夜、安藤邸さんが何者ともなく殺害されたので折角目星のつきかけた死美人の身許が、再び五里霧中に入つた事は

牛松が倉庫の窓から覗いて呟いたやうに、外はひどい霧が立ち罩めてゐた。

倉庫だの工場だのゝ間にある空地の向ふに、セーヌ河の水が乳色ににぶく光つてゐる。其處に繋つてゐる小蒸汽の灯が、煤けたやうに赤黑く光つてみえた。

ジャランジャランと鳴るのは、その濃い霧の中を航行してゐる蒸汽達の、互の警報であらう。

河沿ひの、とある古工場の中で今しも數人の男が車座になつて何か惡い手遊びにふけつてゐた。どれを見ても荒くれた髯むしやの男たちで、いづれも職にあぶれた泥溝鼠たちであらう。彼等は晝になると、街の方々をうろついて、何かしらんパンにありつける仕事を見つけて來る。そして一日の勞銀を、パンと酒とにかへると、夜はこの古びた工場の軒の下で、饑えたやうな生活を送つてゐるのであつた。

「ヲル、、、!寒い、今夜は又やけに霧の深い晩だぜ。かうして坐つてゐても、じつとりと着物が濡れて來るぢやねえか」

「さうよなア、こんな深い霧を見たのは、何年此方ねえことだ。何か嫌な事が起りさうな晩だぜ」

彼等は低い聲で口々にそんな事を言ふと、後はむつつりとして、又しても汚れたトランプの方へ眼をやつた。

その時、工場の表の方で、ゴトゴトといふ靴の音がしたかと思ふと、一人の老人が覗いて、

「一寸御訊ねします。この邊にお粂といふ女は居りませんかね」

と聲をかけた。

「お粂さん?」

トランプに夢中になつてゐた男達は、ぎよつとしたやうに振返つたが、見ると、これもあまり服裝のよくない老人の樣子に安心したものか、

「さアてね、何をする女だか知りませんが、この邊に女はあまりゐませんぜ」

「さうですかね。何んでも確にこ

讀者諸君もよく御記憶であらう。然し、その庄司三平が、何の故あつて、牛松の情婦お粂を探してゐるのであらうか。

「一體、そんなお粂さんといふのは幾ら位の年頃ですね。一寸思ひ當る事がありますが」

トランプに夢中になつてゐた一人の男が、ふと、何か思ひ出したやうにさう聲をかけた。

「ハイ、今年で確か二十六、一寸垢拔けのしたいゝ女でしたが、何でも、男といふのは牛松とかいふ名前でしたが……」

「おゝ、それなら……」

とトランプ組の連中は一齊に庄司老人の方を振返る。

「えツ、ぢや、お心當りがございますか」

老人はいそいそとして中へ踏込んだ。

夕刊 滿洲日報 四月廿七日

政府と軍部の衝突で愈よ軍縮問題重大化す
議會は切拔けても樞府が問題 憂慮さるゝ其成行

【東京二十七日發電】軍縮問題に對する政府の答辯に於て政府側は軍部の意見を無視したる事なしと主張し軍部は政府は軍部の意嚮を蹂躙したものであると揚言し、遂にこの問題は尖鋭化するに至つた而して衆議院に於て政府がよしんばこれを切り拔けるとするも貴族院の方は彌く容易に片附けるを得ざるべく而も最も政府を惱ませしめつゝあるは樞府の形勢で議會に於ける本問題の形勢は必至的に樞府に反映しつゝあり樞府側では個人的に質問材料を蒐集しつゝあるものもあり從つて該條約の審査委員會は勿論本會議に於ても極めて厄介な事態を惹起するであらうと豫斷され軍縮問題は今や政府の一大暗礁となつた

軍令部の態度は 海相の歸國を待ち決定

【東京二十七日發電】統帥權問題に關し軍令部は首相、外相の議會に於ける演說答辯に極度憤慨し財部海相の歸國を待ち問題を進展せしむるものと見られる、卽ち財部海相がロンドン條約に對し
一、反對であるが四國の事情已むを得ず贊成したものか
二、全然贊成を表し割り當てられた數量にて國防の責任を負ひ得るものと確信せるか
三、又は國防の缺陷は他の方法に依り補はんとしてゐるか

に依り軍令部は一の場合は斷然反對の立場を明かにすべくこの場合に對しては軍令部對海軍省の意見の相違對立抗爭となり相互の進退問題となり三の場合は問題は極めて容易に落着の望みがある、このため財部海相の歸國は問題の進展に極めて重要なる要素となつてゐるので加藤軍令部長は財部海相歸國後直ちに海相と會見其の眞意を確める筈である

たのみで回訓案に反對であるとは言つて居ない
一、軍部に對し諒解を得た事は回訓發送當時加藤軍令部長と末次次長とも會見して政府の所信と帝國の立場を述べ諒解を求め更に濱口首相は海相代理として海軍省部內に對しても同樣の顚末を知らしめたものである

軍事參議院開會說 海相と軍令部長の會見後に

【東京廿七日發電】加藤軍司令部は海相と會見後、ロンドン會議の軍事專門事項に關する件につき軍事參議院の開會方を奏請し以てロンドン條約反對に努めるものと觀られる

財部海相を途中まで出迎る
一切の國內事情を報告の爲 近日古賀副官が出發

【東京二十七日發電】軍縮條約に關する統帥權問題につき目下ロンドンより歸國の途にある財部海相の言說如何は影響する處甚大なりとし二十六日濱口海相代理山梨海軍次官等協議の結果、海軍省高級副官古賀峰一大佐に右の旨を含めて長春或はハルビンまで財部海相を出迎へせしめ同車せしめて一切の國內事情を報告せしむる事となつた、大佐は近日中出發の豫定である

立場に窮す海相
全權と軍部との板挾み
軍令部主腦者の決心如何も 政局に重大な影響

【東京二十七日發電】軍縮問題に關する統帥權問題は更に貴族院にも一問題を起し又樞府御諮詢の際には大論戰を豫想され軍令部は政府が其の意嚮を無視したものなりと突つぱね軍部對政府の對立尖銳化せん形勢であるが、この板挾みとなつてゐるのは財部海相で全權としての立場と軍部側としての立場との間に挾まれて殆ど進退に窮してゐるから或は海相の桂冠を見るに至りはせぬかとされてゐる、若し海相にして桂冠せば玆に內閣の一角は崩れその後任を補塡し無事內閣の改造をなし得るや否やは多大の疑問とされ

斯くては 內閣は重大なる危機に直面するものと云はねばならぬ、又軍令部方面の不平不滿の結果加藤軍令部長末次次長の肚裡に重大な決心の潛んでゐる事は軍部再度の聲明に依り看取せらるゝ處であるので若し本案が樞府にて阻止し得られなかつた時は或は國防上の責任を負ひ離職として桂冠するに至るやも知れず其の場合果して政府は晏如たり得るや問題であり軍縮問題に依つて濱口內閣は非常な難局に直面したものと見られる【寫眞は財部海相】

衆議院緊張
統帥權問題の惡化で 傍聽人殺到

【東京廿七日發電】軍縮問題に絡む統帥權問題の惡化に急に緊張を來たした議會の空氣に觸るべく廿七日の日曜日開會の衆議院本會議めがけて詰かけた傍聽人は朝來何千を以て註す折柄晩春の快晴院外

統帥權問題と政府の解釋

【東京廿七日發電】統帥權問題は議會に於ける政府側の說明答辯によつて貴衆兩院及び軍部の問題となり政友會はもとより貴族院の反政府系は委員會を徹底的に糾彈せばこの一事を以てしても政府に相當傷手を負はし得べしと意氣込んでゐるが一方軍部、樞府方面も同樣對政府態度硬化するに至つたので政府としても單に法理上解釋や說明のみを以てこれに對する議論に行かぬ狀態に陷り其の對策につき憂慮し今後の說明に細心の注意を拂つて感情の緩和に努める事となつたが、問題となつて居る議論に就いては左の如く解釋して居る

一、政府は國防の責任を有する事は憲法第十二條にある
天皇は陸海軍の編制及び常備兵額を定む

とあるによつて明瞭であり軍令部の意見は參考案として愼重に考慮するもこれに從ふべき理由は毫末もない、卽ち該部編制に關しては補弼の責めにある國務大臣の權限にある事である

一、政府は保有量に關して軍部の意向を參酌せる事は當時海軍及び外務の間に數度接衝せる事によつて頗で政府獨斷を以て保有量の數字が出よう筈はない然乍ら軍部の意向を參酌したのであるから軍部の意向全部を採用する事は世界の平和と親善の促進國民負擔の輕減から出來なかつた事は遺憾であるが、またやむを得ない事である

一、軍令部長は回訓に對し反對の聲明をなしたと言ふが彼の聲明は當時政府も承知の上の事であるその文案は「米國案には我國の國防上反對である」旨を述べ

樞府の解釋
軍部意見問題を重視

【東京廿七日發電】統帥權問題に關する樞密院側の解釋はこの際最も注目されてゐるが、樞府側の解釋によれば

統帥權無視なりや否やの問題は外相の演說に於ける「軍事專門家の意見を參酌し」、また首相の答辯中「軍部の意見を尊重し」と言ふ其の參酌尊重の程度により決する、然るに軍令部長の

聲明の 如く軍令部はアメリカ案に對し飽迄反對で政府はこれを押し切りてアメリカ案同意の回訓を發したといふのであればこれは明瞭に憲法蹂躙である、內閣官制第七條、軍令部條例各條より見て憲法第十二條の軍の編制權に關する解釋をせば軍の編制は軍令部長の同意なくしては政府は行ふを得ざるは明瞭な處である、故に政府が事實上軍ゝの主張を無視したものとせば政府は憲法を蹂躙した事となり此の事實の下に於いて締結された條約の批准さるべからざるは勿論である

と言ふにあり此の解釋は憲法の權威たる伊東、金子、平沼の諸顧問官首め

各顧問官 も一致して居るので軍令部長の主張を無視せる事瞭かとなる時は時局は意外に重大化する模樣である

はポカく曖かにして既に初夏の氣分を漂はしてゐるが、院內は尾崎行雄氏を先頭に野黨側の猛者登壇政府に互彈を放つべしとの事に殺氣に滿ちの感あり衆議院質問戰第二日は漸く油が乘つて來た感あり政府閣僚の顏もただならぬ緊張さがうかがはれる

出淵駐米大使 米奧地を訪問

【ワシントン二十五日發電】出淵大使は豫定通りアメリカ奧地巡回訪問の途に上り知人大使館員等と先づニューオルレアンスに向つた到着は二十八日の豫定で日本人會商業會議所招待會に出で夫よりテキサス、ニューメキシコ、アリゾナ諸州を訪問し西アンセル五月六日、サンフランシスコ五月十二日、シャトル五月二十日、オッタワ六月一日、ワシントン歸着は六月五日の豫定である

馮軍總攻擊の準備
各將領は全部前線へ向ひ出發 馮氏は專心軍事督勵

【天津廿七日發電】鄭州來電に據れば馮玉祥氏は洛陽にて各軍將領と軍事會議を開きたる結果平漢、隴海、津浦各線に近く總攻擊令を下すことに決定したので各將領は二十四日全部前線に向つた、馮氏は黨の問題については一切同氏に任せ、陝甘二省の問題は(一)人身賣買禁止(二)貧民救濟(三)土匪討伐(四)水利提唱(五)吏治整頓の五大政策を確定し之が實施を劉郁芬氏に一任し全軍を率ゐて河南に入り專心軍事を督勵してゐると

反蔣軍の主力隴海線集中
愈開戰迫る

【天津特電二十七日發】平漢線に於ける山西軍(孫楚、楊効歐の二師、趙承綬の騎兵)は黃河を渡つたが、馮軍と聯合して隴海線の中路を擔任することに決定し準備を整へてゐる、右翼は孫殿英、任應岐兩軍、左翼は石友三、萬選才兩軍で反蔣側の主力は隴海線上に集中されつゝある、津浦線では李生達軍禹城に迫つて韓復渠軍と對峙し、傅作義軍は濮縣から河岸に進出し李石兩軍に呼應して進擊する姿勢を整へた、洛陽軍事會議も終り各將領は鄭州、開封に赴きそれぐ前線に立つたから開戰近しと傳へられてゐる

メーデーに罷業計畫
天津の蔣派狩

南京政府鐵道部勞工科長譚彼岑氏は窃に入津し前總工會監察委員張國祥氏を始め蔣派黨員と共に北寧津浦兩鐵道從業員を買收してメーデーに一大罷業を決行し反蔣側の後方を攪亂せんとしてゐたことが天津警備司令部の爲めに發覺したて歸津したところを直ちに逮捕され目下嚴重なる取調をうけてゐるが、計畫に相當大規模なものらしく鐵道局では遽に緊張し保安隊を增加して萬一に備へ警備司令部では警備を嚴重にすると共に共產黨及蔣派便衣隊狩りに懸命の努力をつゞけてゐる

奉軍進出は事實無根
依然中立態度

【山海關特電二十六日發】平津方面で奉天軍が中央擁護の爲め灤河以西へ進出したとの噂が高いが、右は事實無根で關內の奉軍は依然原駐屯地のまゝで南方の時局に超然たる態度を示してゐる、同時に關外からの入關兵もなく東北政權管轄下の北寧鐵路沿線は引つゞき平穩である、又天津に在る北寧鐵路局が當地に移轉することに決定したとの說も傳つて來たが當地に

奉天で蒙古會議
既に呼倫貝爾の代表來奉 南京側は無期延期

【奉天特電二十七日發】國民政府が外域民族に三民主義政治思想を徹底せしめ且つ行政の統一を目的として本年四月十日から二十日間南京に蒙古會議を招集する計畫は南京蒙藏委員會に於て昨年來

積極的に 準備を進め既に各地に於ては蒙古王公の局部的豫備會議を開催した向もあるが、その後時局が急轉して今にも大戰亂の勃發せんとする狀況に立至つたので南京に招集する筈の蒙古會議大會は遂に無期延期となるに至つた而して東北政權の勢力範圍に屬する各蒙旗王公は既に大會出席の一切の準備を整えその人名まで確認してゐるので張學良氏は中央の大會の成否は別として豫備會議の立[illegible]で東北側だけで蒙王會議を奉天に開催することゝし代表王公三十六人に

招集命令 を發したが、呼倫貝爾代表王公十人は既に二十四日來續々着奉しその他の各地の王公も近日中到着する筈であるから不日會議を擧行すべく張學良氏は蒙旗處を督勵して準備を進めてゐる

奉天共產狩 益々峻烈
各學校手入れ

【奉天特電二十七日發】軍警當局の反帝國主義大同盟檢擧は益々峻烈化し逮捕せる首領人物は既に二十餘人に達してゐるが、憲兵司令部の探偵隊は同澤中學校と各小學校を除く以外の全部の各學校に對し連日搜査を續けて居り公安局では各郵便局に人を派し嚴重な郵便物檢査を開始した

は其準備のやうな模樣もないたゞ奉軍の改編は順調に行はれてゐるのみである

赤化の系統
鐵血團の潛入

【奉天二十七日發電】過般來奉天に潛入した共產黨による奉天省城における共產黨學生の系統につき仄聞するに勞農政府外交委員會より東鐵沿線及び東北省の赤化運動の目的達成のため六十餘名の赤系鐵血團員を東北各主要都市に潛入せしめた模樣あり是等の手により哈市奉天省城の學生青年等が操縱されてゐるものゝ如く赤化委員は各地と巧妙な聯絡をとり活動を續けてゐるので支那側當局は赤化防止に血眼となつてゐる

日曜閑話
或年のメーデー 巴里の郊外における

今から丁度滿十年前、一九一九の五月一日、記者は巴里郊外のビヤンクールといふところに居た。セーヌ河が曲りくねつて、ヴェルサイユの方から流れて來、このビヤンクールをかすめ、われらの寓居であるローズヴイラの前を流れるのであつた。

そのセーヌの流れに臨んで、一軒のレストランがある。料理店といつても郊外の汚さくるしい、全くの田舍料理店であつた。記者は毎朝、毎晚のやうに、このレストランへ行つて食事を取つてゐた。食糧管理の切符を貰つて行き、それを片つ端から切り取つてはパンを買つてゐたのであつた。料理といつても相當にまづく、かつ碌なものは出來ぬ千篇一律。それもその筈、獨身者他國人としての特殊の珍しさから、互に顏馴染となつて會釋するやうなものもあつた。

ある春の日曜日であつた。セーヌ河の向の森には、若い木の芽がツヤツヤとかがやいてゐる。レストランの方の河岸に植込まれたポプラの並木や、自分のところで炊事をやるよりは却つて安くつくといふので、朝から押しかけて來る失婦者などばかりであつたから。

それでも、毎朝、毎晚、通つてゐるうちに、そこの主人と顏馴染になり、また食卓を向ひ合はす客筋にも、春の陽の溫かい風が渡つてゐる日であつた。水の邊りの若草に日向ぼつこをして、それから晝食にレストランに行く。と毎日曜日にやつて來る盲目のピヤニストが早くも奏樂してゐる。一杯機嫌の若い男女が、レストランの前の大路に出で、二十人ばかりが嬉々として行樂に耽溺してゐる。いかにも樂し相である。われくのやうなエトランゼーも、いつとはなしに伴れ込まれ、その行樂の雰圍氣中の人となるのであつた。

春の日曜日を、ひねもす行樂に耽り、唄つたり踊つたりして午後いよく散會する頃になると、肝煎り役が盲目のピヤニスト先生のために寄附金を廻すといつた風。大抵、一フランぐらゐづつを盆の上に載せてやると、ピヤニスト先生は、それをポケットに入れ、とぼくとして杖を家路に曳くのであつた。

メーデーの前日であつたと思ふ、そのレストランの主人が、こつそり、翌朝は裏口から、人の目に入らぬやうにして來て貰へ、パンだけは食はすといふのであつた。われくは兎にかく、その店の常顧客であり、それにチップも他のお客よりは、外國人といふので多くやるので、深切に特別扱ひを受ける譯であるらしい。

五月一日、例によつてベットから飛び起き、顏をソコソコに洗つて、例の如くレストランに出懸けると、案の定、表口は堅く閉ぢて開かぬ、のみならず椅子や卓子が入口一杯に立てかけてあるのがガラス戶越しに見える。はゝあ、これがメーデーだなと、仕方なくく裏口へ廻ると、おやぢが出て來てこつそりと引入れ、とにかく朝の食事だけは難なく取らして貰つたのであつたが、街頭には人ひとりなく、全く水を打つたやうな靜寂さであつた。またおやぢの臆さへもひそくゝ何物かが今にも彼を襲ひ來るかのやうな怯ちくした態度で、何やら分らぬことをいふのであつた。

五月一日は、こんな風で一種の不安、戰々兢々といつた嵐しの前の靜けさといつた調子で過し、二日の日も警戒裡に經過し、三日から何事もなく、平常の通りであつたが、とにかく一九一九年の五月、ヴヱルサイユで平和が成立するか、せぬかといふ騷ぎのときのメーデーの一日、パリーのレストランに裏口のあることが、記者のやうな他國人にも知ることが出來たのであつた。(一記者)

東北空軍の大飛行場
三臺子に新設

【奉天特電二十六日發】東北軍は空軍を擴張充實すべく最に東北航空總司令部を新設し張學良氏自ら總司令となり張煥相氏を代理總司令として空軍の發展に銳意努力中であるが、今回新に北陵の三臺子に大規模の飛行場を建設することゝなり既に土地の測量に着手した

武裝のまゝ支那兵逃亡
帽兒山駐屯軍

【ハルビン特電二十七日發】東支東部線臨江縣帽兒山駐屯の支那兵三百數十名は給料の不拂から武裝した儘逃亡したと言ひ支那官憲は馬賊に入るを恐れ警戒中

胡氏は辭任

【奉天特電二十七日發】王家楨氏の外交次長任命と同時に衞生部次長に任命された奉天派の胡若愚氏は二十六日離奉天津に赴いたが痼疾の肋膜炎が尙治癒せず當分靜養を要するので衞生次長には就任しないことになつた

四青訓所が國旗掲揚式
天長の佳節に

市內常盤、沙河口、大廣場、育成の四青年訓練所では廿九日天長の佳節を奉祝するため同日午前八時から左の如きプログラムで莊嚴なる國旗掲揚式を忠靈塔國旗臺に於て擧行する筈であるが、主催者側では當日は廣く一般市民の參列を希望してゐる

▲開式喇叭「氣ヲ付ケ」▲國旗掲揚喇叭「君ケ代」吹奏▲「君ケ代」合唱▲遙拜▲天皇陛下萬歲三唱▲國旗降下喇叭「君ケ代」吹奏▲閉式喇叭「解散」

上田市庶務係主任辭表提出

大連市役所庶務係主任上田馬志平氏は田中市長の意嚮を察してこの程辭表を自發的に提出した

修養團觀櫻會

修養團大連市支部忠靈塔分團では廿九日の天長節に當り午前六時忠靈塔境內に參集、遙拜及國歌の齊唱をなし終つて健康增進のため綠山登山と觀櫻會を兼ね行ふ筈

香港丸船客

【門司特電二十六日發】廿八日大連入港豫定の香港丸の主なる船客左の如し
久保久雄、土屋聚男、樋口愼彌、杉浦能男、多田大佐、兒島卯吉、旗崎直之、淺沼武夫
廿八日午前九時半大連港外着豫定

天氣豫報

二十八日(南の風曇り)

滿潮	午前十時十分 午後十時二十分
干潮	午前三時四十五分 午後四時十分

スタンドを埋む大觀衆 晴れの決勝戰の幕開く
榮えの優勝旗果していづれへ
國際? 消費? けふの關東州野球大會

本社主催第十五回關東州野球大會は去る二十日大連工場對大連商業戰を序曲として華々しく火蓋を切られ、その間幾多の好試合を演出してファンを熱狂せしめ遂に國際、滿鐵と消費組合の兩チーム最後の輪贏を爭ふこととなつたが、いよいよ今二十七日をもつて榮えある優勝旗爭奪の晴れの決勝戰は近來稀な好天氣に惠まれた春酣の中央公園滿鐵球場で午後二時を期して擧行された、この日正午早くも觀衆續々として殺到しスタンドを埋む、このころ國際チーム必勝の色を現はして三壘側ベンチは現はるれば大觀衆は一齊に拍手をもつて之を迎ふ、消費チームもまた十二時十分一壘側ベンチに現はれ、直に兩軍ともに輕いウオーミングアツプの後入り亂れてフリーバツチングを開始する、木下、武居、立石、二神、綠川、吉野等の長打、宮竹、松尾、二神、宗正、吉野等の美技演出に喚聲頻りに湧く、斯て午後一時半を報ずる警鈴に依り消費軍シートノツクを開始、約十五分間で終り、國際軍も應援團の拍手裡に約十五分のシートノツクを終へ午後二時國際先攻にて疋田拾三氏の宣するプレーボールにより愈々最後の覇權目指して戰ひの火蓋は切つて落された因に兩軍メムバー左の如し

國際
井石武臺下河田宅川
武立宮渡木石山松石
856214379

消費
川神野上味正山任條
綠二吉井古宗青時南
985237164

玄海灘の浪高けれど 益す御元氣に拜す
「無事航海を禱る」の御親電に 三陛下の御機嫌を奉伺

【鹿島丸二十六日發電】高松宮、同妃兩殿下には二十六日正午故國の土を離れさせられたが、鹿島丸出帆に際しはるばる下關まで御見送り遊ばされた竹田宮大妃、同姬宮殿下とのお別れは誠に御興床しく拜された、本船出帆後間もなく天皇、皇后兩陛下から兩殿下へ宛させられた「無事航海を禱る」との御情愛深き御親電があつたが、兩殿下には直ちに天皇、皇后、皇太后三陛下へ電報をもつて母國を離るゝに當つての御機嫌奉伺を遊ばされた、玄海灘の浪はなほ高い、が兩殿下に御機嫌麗しく拜される、然し婦人船客の多くは船暈のため晩餐の食卓に就くものが少數であつた、へ夜の晩餐から食卓の席座順が極まつたが新聞記者團は特に隨員と同卓で兩殿下の御側近く着座する光榮を與へられた

華々しく蓋開の 春競馬賑ふ
けふ午前中の成績

前人氣頗る旺だつた大連競馬倶樂部の春の競馬大會はいよいよ今廿七日午前十時から星ケ浦競馬場で開催されたが、折柄の日曜と花見氣分で浮れ出た人々によつて晴らしい人出殊に關東廳改良産馬レースの施行によつていやがうへにも人氣を煽り近年にない盛況を呈した、午前中の成績は左の如し

▲第一競馬(緊駕速步三千二百米) 一着千里(八分卅六秒一)、二着白虎、三着萬歲(配當八圓九十錢)

▲第二競馬(新抽千八百米) 一着早風(二分二十四秒三)、二着石見、三着叶(配當六圓五十錢)

▲第三競馬(各抽千六百米突) 一着淡月(二分十二秒)、二着豹、三着青嵐(配當八圓六十錢)

▲第四競馬(新呼千八百米突) 一着土州(二分十三秒新記錄)、二着丸加、三着勝命(配當なし)川合騎手が記錄賞を獲得

▲第五競馬(各抽二千米) 一着昇龍(二分四十秒一新記錄)、二着日の丸、三着華王(配當六圓四十錢)田原騎手が記錄賞を獲得

老婆殺しの 口を割る
殺人鬼の夫次郎

【東京二十七日發電】實弟殺し谷口夫次郎の取調べは二十六日午後三時半から警視廳にて午後十時四十分まで續けられたが、夫次郎は遂に弟庄次郎と共に昭和三年六月廿七日松澤村上北澤水谷ハル(當時六十一)方に强盜の目的にて押し入りハルを殺害した旨をも自白した夫次郎は他の嫌疑に對しては一切口を緘して語らぬが警視廳では松澤病院に入院中の弟新三郎に探りを入れんとして努めてゐる

デ盃戰
歐洲ゾーン 英三―獨二

【ロンドン二十七日發電】デ盃歐洲ゾーン第一回戰英獨試合第三日目の成績左の如く、結局英三對二でドイツを破り、第二回戰でルーマニヤ對ポーランド試合の勝者と鎬を合せる事となつた

オースチン(イギリス) 六―三 六―四 七―五 プレン(ドイツ)

リー(イギリス) 五―七 六―三 六―二 六―三 ランドマン(ドイツ)

署長、巡査を 瀆職で告發

【東京二十七日發電】南品川町三借家人同盟婦人部委員中田小春は荏原署長及び同署佐藤巡査を相手取り二十六日瀆職罪の告發をした、右は佐藤巡査は白晝小春を不穩ビラ所持の廉で身體檢査をなさんとし、小春がこれを拒むや路上に引倒し散々亂暴全治二週間の傷を負はしめたうへ同署に留置したといふのである

誇る健康 體力測定會に押かけた大連市民

お花見辨當に舌つゞみ けさ春日池畔にて

春たけて花下酣 浮かれ出した人々
どこもこゝもソレは素晴らしい けふ日曜の賑ひよ

二十七日の日曜はあつらへた樣なおだやかな花曇り、二十日ころから蕾がほころび初めた大連近郊の櫻は一齊に滿開をみるものとの期待から電氣遊園、星ケ浦、沙河口水源地、老虎灘方面への人出は素晴しい、常盤橋の交叉點ではこれら觀櫻の縣人家族會の借切自動車バスや滿車飾をほどこしたトラックに滿載されて繰出すカフエー女給の一隊。滿員電車からはみ出た

モガの悲鳴 ……等々が反響し合ひうづまいて花見シーズンのエロテイシズムが街いつぱいにふり撒かれた、特に星ケ浦および老虎灘方面行の電車の雜沓は正午近くなるに伴れ益々はげしく、乘務員も交通整理の巡査も汗だくの態だ、浪速町商店街は景氣のいゝ五月幟の賣出しや、聯合春の賣出しのデコレーションで行人の購買心を唆りたて、滿街造花の櫻でおめかしをした開店祝賀賣出中の連鎖商店街から電氣遊園一帶へかけての人出は花見でなく春らしい

浮かれ氣分 で誘ひ出された子供伴れの婦人、老人が多かつた丈け午後からは一きはめまぐるしい賑はひぶりを呈した

電氣遊園 こゝは滿鐵が子供の遊び場所として力を入れてゐるだけにナンといつても「小市民」が壓倒的多數だ、可愛らしい蓮翹の花の滿開・リラの花を交へて約六百本の密集せる櫻は今が頂點で天長節までもつかどうた危まれるが、地の利を占めてゐるので夜の電飾に映發する滿開の美景をめでやうと夜間は晝間以上に雜沓ぶりを示すことであらう

老虎灘 こゝも嘯月園の八重櫻をはじめ千勝館附近の八重吉野は廿八日が開花の最盛期と思はれる、大連富士裏の山地の櫻は盛りはすぎたが落花を踏みカメラを携へて逍遙するにはよい靜けさだ

伏見臺(配水池)ふるいだけにガツチリした古木が多い、こゝの特長は境內の廣いグリーンである、即ち家族が莚をのべてピクニツクするにお誂へ向きで二十六日頃滿開となり二、三日中に風が出れば天長節には大分散つてゐるだらう、廿七日は數組の縣人會、家族會で非常に賑はつてゐた

その他 彌生ケ池、春日池、龍王塘少し離れて王家店の櫻も杖を曳く人が多かつたが、南華園の夜櫻は月末ごろ、星ケ浦遊園は五月一、二日頃が見頃で、沙河口水源地も天長節前後とみられ遠足かたがた次の日曜には星ケ浦、龍王塘、王家店方面に人が吸引せられるであらう

軍隊手帳を紛失し 覺悟の自殺と判明
柳樹屯聯隊中島一等卒の死因

二十六日午前一時ごろ柳樹屯駐屯軍步兵第二十聯隊第二大隊第六中隊一等卒中島留吉(二三)が彈藥庫に立哨中變死した事件に關しては、現場附近にモーゼル一號拳銃の藥莢五個を發見した處より匪賊のため射殺された他殺說と、本人の所持品中何等强奪された形跡のない處より自ら死を選んだ自殺說の二樣あり、檢證も嚴重に行はれたがその結果、現場附近より發見されたモーゼル一號拳銃の藥莢五個は最初に驅付けた衛兵が遺失したものと判明、他殺說薄弱となり更に本人の官貸銃劍より步兵銃の彈丸が發見、數日前軍隊手帳も紛失してゐる處よりいよいよ自殺と判明、良心の呵責に堪へず携帶の步兵銃で覺悟のうへ右の行爲に出たものらしいと

校長を押込み 自決を促す
濱松遠江商業學校の紛糾 警官隊まで乘出す

【濱松二十七日發電】濱松私立遠江商業學校生徒對校主の紛爭については父兄會にて善後策を講じてゐたが、二十六日午後二時から校內に學校側と父兄との聯合協議會を開き、五年生七十餘名は曾我校長と會見し度しと申込み校長を一室に引き入れ鍵を下ろし校長の不誠意を詰り自決を促し罵聲をあげた父兄等は驚いて驅けつけたが手の附け樣なく四年生三百名も上級生に聲援し形勢不穩のため濱松署より警官二十餘名自動車で現場に出張漸く事なきを得た

羅馬の 日本美術展
愈よ蓋開く

【ローマ二十六日發電】日本美術展覽會は本日ムツソリニー首相の司會により開會式を擧げた、ム首相はグランヂ海相を從へ各陳列室を參觀、頻りに感嘆の辭を放つてゐた、なほ展覽會は五月末まで開催の筈である

黒シャツ宰相に 烏帽子を贈呈
日本美術代表

【ローマ二十六日發電】ムツソリニ首相は本日非公式に日本美術展覽會關係の日本畫家を招いたが席上、平福、百穗、長谷川路可、松岡映丘氏等より鎌倉時代型の烏帽子を首相に贈呈した

官紀肅正の 訓令
臧主席から

【奉天二十六日發電】臧遼寧省主席は就任以來官紀の肅正に意を用ひ講究研究中だつたが、今回左の如き辦法を東北政務委員會に提出決議を經たるうへ管下各廳、處、局長及び五十八縣長に對し訓令を發した

一、各行政官吏にして任地に在り長官を撒罔せしものは查辦の上處罰す

一、外人と連絡し或は外人に代りて土地家屋を購買せる場合は國土盜賣罪に照して處分す

一、任地にありて自ら不動産を購入せしものは查辦の上免職處分に附す

一、官職に在りて別業を營むもの公款を私用せしものゝ人民に賄賂提供を仄かしたるもの私人を任用するために履歷を僞り報告せしもの、擅に職を離るゝものは何れも免懲處分に附す

反政府軍の 武器購入に
躍起の國民政府

【上海二十五日發電】國民政府は最近北方及び廣西の反政府軍に武器がドシドシ海外から入つて來るのに業を煮やし二十三日附各國公使に對し左の如き公文を送達して來た

國民政府は四月十八日以後支那に輸入する總ての軍用物品及び機械には在外支那公使館の查證せる證書を必要とす、然らざるものは密輸品と認めて賣主及び仲介者に對し嚴重なる處置をとり、且つその輸送に當つた船舶貨物一切を沒收するに決定したから其の旨貴國の關係業者に傳達せられ度い

初夏の小兒病 見分け方と手當法

小兒科の權威西村博士が婦人倶樂部五月號に懇切に發表、母親方は是非ごらんおき下さい。

滿洲青年聯盟 健康週間の催し

滿洲青年聯盟では健康週間の催しとして二十九日午前十時三十分發列車で大房身へ遠足會を行ひ岡田聯盟理事經營の農場で農園實習をなすが希望者は至急聯盟本部へ申込まれたいと、なほ三十日より五日間市內數ケ所で健康增進の體育映畫並に講演會を行ふと

ペシヤワル暴動 漸く鎭靜

【ボンベー二十五日發電】インド國民議會委員會發表に依ればペシヤワル暴動の死者五十二名、負傷者三十名、暴徒の大部分はパセン人でガンジーの義勇隊は一人も居ない、なほ暴動も漸く鎭靜したので同地方の外出禁止令は解かれた

開宗記念會

市內春日町大蓮寺では、來る廿八日宗旨健立の吉日をトし、信徒有志は當日午前三時半より南山麓頂に集合、旭日昇天と共に讀經唱題 有りし日を追憶記念するが有志多數來會を希望すと

艶色生膽秘譚（95）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

暴風雨（三）

夜がふかむにつれて雨音は颼々とわびしかつた。

「明日になれば止みませう、暴風にでもなるかと想はれたに」

妙香は欣彌に煎藥を飲ませると溫かく夜着をかけ直してやり、その傍らに身を横へた。

床下の小さな蟋蟀がさや〳〵とそよぐばかりで犬の遠吠もいつかパッタリと絶へてしまつた。

「お姉上、五三郎はやすみましたか」

「ええ」

「五三郎奴大手柄でございましたなア」

「ほんに」

「とにかく仇敵と決れば大江戸をくまなくさぐるにも張合があります。それとももしや左近様では御座いますまいか」

「ほんに」

またしても妙香はその小さな胸をおのゝかせるのであつた。

「明日は早く起きねばなりませぬではおやすみなさいまし」

欣彌は二回服用したのみであつたが、五三郎のもつて來た煎藥の利目か、熱も下つたらしく、ぢきスヤ〳〵とかるく快い寢息をたてはじめた。

が、妙香はなか〳〵眠りつけなかつた。

「いよ〳〵明日から仇敵をさがし求めにこのひろい大江戸へ出てゆくのだ」

さう思ふにつけ、弟欣彌の病態が一日もはやく全快してくれねばと心細くもある。

そつと起き直ると、部屋の隅に設けた神棚に向つて手を合せた。

「日本第一大軍神」

諏訪明神の御神符をとつて押しいただいて肌身につけ、再び寢床へ戻つた。

つい隣した部屋に五三郎はパッチリと冴へた眼をまつくらな天井へむけてゐた。

「御主の仇敵――と云へばきこえはよいが、あの病弱な若様、そしてお嬢様では迚も右近様は討てまいよ、それにお嬢様は何かにつけて左近様を慕つておいでになる、あゝ莫迦な話よ、あんまり力をおとしておいでなので、うつかりすると元氣づけに右近様を見かけたなどとつくりごとを云つたものゝそれにつけても左近様は？と來るといやになつちまふなア」

五三郎はこんな風に考へてゐた。

「お嬢様の寢息がきこえる、もうお嬢様も廿歳だ、あたら娘盛りを郷藩にあのまま屋敷を守つておいでなされればよいものを、若様の御身體だつてどうせヒビの入つたも同然、長いことはあるまいに、かうなれば俺にしたつて、お嬢様と一緒に末長く暮せでもすることなら、草の根をわけても御主の仇敵をうたねばなるまいが、こんな崖下の破ら屋に漸く雨露をしのぎ、いつめぐりあふか知れぬ仇敵さがしを想ふと明日にもお暇頂きたくなる奴さ、だが、いまの處、俺にしたらお嬢様の側は離れられない、どうで及ばぬ、叶はぬ、とは知り乍らからまで心を惱ますとはああ、これが戀とやら云ふものかなア」

五三郎はいつまでも輾轉反側しつゝ思ふのであつた。

いつか窓外は白むでゐた。

雨の音は依然として侘しい。

が、妙香はぢつとして居れなかつた。

支度もそこ〳〵に欣彌の身は氣になつたが、五三郎を伴に破ら屋を立出た。

「ではいつてゐらつしやいませ」

と床の中から挨拶した欣彌、二人が草鞋ふみしめ出てゆく足音が消えた途端である。

風もないのに神棚からパッタリと枕もとへおちて來た神符。

「あッ！」

手にとり見れば諏訪明神のそれである。

「はて、風もないに神符がおちてくるとは、氣にかかることだ」

欣彌はぢつと考へこんだ。

演藝日記

▼四月廿五日　浪速館の事務室でお茶子さんがせつせと臺本を寫してゐる、映畫館風景にしても一寸珍らしい。大日活へ「狼の唄」がトリの積りで行くとナカでやつてゐる。ところで舞踏會の夜のラヴシーンの畫面がカットされてスクリーンは黑く音だけが聽える、このトーキーカットはお客にとつては初めての經驗であるし、影は見えずに而もその場面が充分に想像されるので客席に妙なざわめきがある次がオールトーキー「巨人」の豫告篇を上映。日活食堂では大連小劇場と滿洲新劇場の同人が集つてゐる、歌舞伎座の橘之助の初日をのぞくと珍らしく茶化兵衛さんの顏が見える。久振りの寄席氣分で橘之助の曲彈きを聽く。矢張り藝は爭へない花橘は不相變噺よりも文人踊りにおかしみがある。大切は橘之助の地で圓の踊り。ところで花橘の噺でマクラからゲヲゲラ笑ふ大連の人達は斯うしたものには少々だらしがなさ過ぎるから甘く見られるのでないかと思つたりする。今晩の常盤座の「ショーボート」（無聲版）の試寫は中止

嘩話

▲川喜多氏がドイツで獲得して來たウファ映畫の全支那配給權は▲「アスファルト」で封切されるらしいが、これにはアラケロフ氏も齒が立たないワーナーも日本側に權利のある作品は德和公司が

◇◇二刀流安兵衛◇◇　山中貞雄原作脚色後藤岱山監督嵐寛壽郎主演の中山安兵衛で原駒子羅門光三郎が助演してゐる、東亞の時代劇（次週浪速館上映）

扱ふし關東州内の洋畫配給も大分面白くなつて來た▲大日活ニュースの「澁前茶後」の森田みち子の正體が案外見かけ倒しの漫談だらうとの評判▲「テンピ」は上映に決つたが、組合す日本物がきまらず、そこに大連映畫館の惱みがあると▲ゆふべの常盤座の物凄い人氣、これこそ價値なしの無料解放である

『椿の花』を見て　原作と其演出に就いて（上）

靜田晴雄

常盤座黑點座一派によつて上演された、志野半吉氏作の小品舞臺劇「椿の花」（一幕）を見ていさゝか感想がある。

「椿の花」は社會劇とでも云ふ可きものであらう。南國の小島の寺院に寺男として働いて居る兄の下へ、數年か前に都へ走つた妹が落ぶざつて歸つて來る。兄は其の妹の態度をせめるが、妹はかへつて兄の餘りも皮相的な社會觀を悲しみ、結局自分が都へ走つた原因は今此の島一の大德として尊ばれて居る、兄の寺の住職に身を汚された爲であると語る。しかし兄はあく迄住職を信じ、兄が打ちならす鐘の音を一生忘れるなと鐘樓に上り、幕となるのである。

以上述べた梗概の如く、「椿の花」は吾々が現時社會に於てしば〳〵見聞する所の事象を取材して之を脚本化したものであるが、其の根底には作者獨自の解釋、批評とによつて現代宗教の內實暴露を行ひ、現代思想の根底たる解放思想と民本的思想と、事物に徹しやうとする合理的要求とを持つた脚本で、其の點大いに成功したものと云へよう。

ラヂオ

大連　JQAK

（四月廿八日午後七時）

▲童話　大連早苗高等小學校久富先生

▲講話（健康第一）　滿鐵衞生課醫學博士金井章次

▲五月祭舞踊練習　櫛木龜三郎

▲箏曲新日本音樂　（イ）春の夜の風（ロ）城道雄作曲（ロ）影　町田嘉章作曲、尺八道具點山、同成田彩耀、琴森川とし子、同木次初榮唄小笠原松寸、三絃線福永大勾當、琴高音森川とし子、同低音木次初榮

▲支那劇（坐宮殺妻）　遼東倶樂部々員

▲料理獻立

▲天氣豫報

▲ラヂオ體操

東京　JOAK

（四月二十八日午後六時二十五分）

▲趣味講座日本名寶に就いて　文學博士笹川臨風

▲狂言と小謡（狂言名取川）　修業僧野村萬助、名取の何某野村萬齋、ヂ同萬造、桐谷龍平（狂言小謡）吉野派野村萬造、同詩且同萬齋

▲河東節（熊野淨瑠璃）　山彥小文次外見藤州、三味線山彥八重子上調子同とめ子

▲管絃樂とチェロ　（一）歌劇サクソンタラ序曲ゴルマルク作（二）ハンガリア狂詩曲チエロ獨奏、ポッパー作（三）スラブ舞曲、ドヴォルザーク作AK交響樂團指揮近衞秀麿・チェロ齋藤秀雄

文藝

首都の斷面

＝東京雜記＝

大内隆雄

東京に來てもう二週間になる。日本はもう春も盛りを過ぎた。都會の店頭風景は初夏晩春の色彩に刺烈だ。——仕事のために驅け廻つてゐる身體にも、時々、都會の論理が、またその風景が這入つて來る。走り書的に少し書いておく。

×

植民地にゐる我々が、時々故國を訪ふ事は非常に有益だと私は思ふ。眼に刺戟を與へられるといふ點だけでも然う言へる。特に少年期、青年期を海外に、そして割に裕長に育つ者は、今の日本の激化した情勢を見る必要がある、と私は言ひたい。

×

日本の農村の姿は私にはおぼろげである。私は、牧歌的な（少くとも表面の）その風景の中に、理論的にそれを理解する外はない。だが、都會に來ると、その斷層の様相は強烈に我々の前に示される。

×

私は昨日、映畫「アスファルト」を觀た。先づ最初にその母親は「世の中にはどんなにか澤山の出來事が行はれてゐやう。新聞に出たゞけでもこんなにある——」と語る。それは、都會が——言ひ換れば、近代社會が生んだ暗黒面へ物語を導いて行く暗示なのだがまさにその物語と同じいことが、この東京に於て行はれてゐないと誰が言へる？

シネマ・ファンとしての私には「アスファルト」は正しく、好作品だつた。そして、社會事象に關心を持つ者としての私には、それはなまなましい問題を指し示したものであつた。——ともに見た「ショウ・ボート」はその甘い優美さで好ましくはあつたが「アスファルト」は實に、鐵槌のやうに私を擊つたと言ひたい。

「虐げられて來た女が、今、立上つて強くはね返すのだわ！」私の連れは私にさう言つた。

やがて「アスファルト」は大連をも訪れるであらうが、人はその近代的なエロ味にのみ注意を向けることなく、上に言つたやうな、それが含む現代性に於いてそれを理解するやう私は希望する。

×

貴司山治の「ゴー・ストップ」を讀む。これもまさに、尖端日本の斷圖だ。其處に示された、伸び行く者の健康な朗かさ！（此處ではこれだけを言つて置く）

私はまた、グラトコフの「醉ひどれの太陽」を讀んだ。それを生んだ社會は我々の現實と異るが、これもまた我々の見方から見て興味深い作である。

×

新築地の「慶安太平記後日譚」を觀た。いろ／＼考へさせられた。薄田研二、丸山定夫、高橋豐子の力を見た。——現在の條件の下では、原作も、演出も、上出來だと言ふのが大體の批評のやうである——目覺めた武士の奮鬪、それはよく示されて居り、同情者の位置にある町奉行も面白い。しかし私としては、その上に、いかにして農民一揆が起つて來たかといふその必然性を示すだけの具體性を與へたら、もつと變つたものになりはしなかつたかと要望した。

×

鐘紡の問題、市電の問題。失業日本。日本の春はまさに爛熟を超えてゐる。

時代の様相の鋭さは、小市民的旅行者の眼にもあざやかに映じてくる。——四月十九日。東京——

隨筆 春を妹に聞く

志野羊吉

たとへば「若返り法」をほどこした老人の皺苦茶な皮膚が、新鮮な皮に變つてきた、と言つた風な肌の樹々を縫つて、私達二人は歩いた。

「今日は日曜だし、お天氣も良さそうだから、先だつて話した多賀子のこと、おたのみするよ」

朝起き立てにこう言つて母からたのまれた私は、ひる過ぎから妹をひつぱりだして、ぶら／＼歩いているうちに、いつか中央公園に這入つてゐた。

もうぼつ／＼、話を出さなければ……。こう思つた私は、肩を並べて歩いている妹をちらッと見たゞ妹は私に、はつらつたる言葉をかけた。

「たまに妹を連れて、散歩に出た兄さんのご感想はどう……」

「なま意氣を言ッちゃいかん」

こん畜生、話の出ばなをくぢきやがつて、と思つた私へ、妹の笑ひがア、と聞こえた。

「あら……こゝんとこの草、もうこんなに伸びてるわ」

これではいかん、早く話をしてしまはなければ、といら／＼してきた私は、妹が立ちどまつて草の芽を見入つてるらしいのには眼もくれないで、づけ／＼歩いた。

「此頃の散歩に、萌え出る草を無視するなんて、兄さんなんかつまらないわ」

「それどころじゃないんだよ、兄さんは……」

「まあ、どうして……」

「今日はお前に、少し聞きたいことがあるのでね」

「私に聞きたいことッて、なあに」

「お前の結婚のことさ」

「あら、いやだ、そんなこと私知らないわ」

「知らないッて……ばか、兄さんは眞面目に話してるんじゃないか」

「どうせおばかさんよ……結婚なんて私いやーなこと……」

「いやなら、いやでいゝさ、だがお前は、いつまでそんな子供じみたことを言つてるんだ」

「いつまでだッていゝわ、そんなこと私の自由だわ」

「なま意氣を言ッてると、ぐわんとお見舞ひするぞ」

むか／＼と湧いてきた興奮にまかせて私は、ステッキで力まかせに立木を打つた。

「いゝわ……せつかく散歩に連れて出て下すッたと思ふと、變なことを云ひだしたりして……私ぶんがいしてよ」

「何も變なことじゃないじゃないか、女が歳頃になれば、結婚するのは當り前じゃないか。お母さんだッて、近頃では隨分氣をもんでゐるのがお前にわからないはずはないだらう……」

「そんなお話の爲めに、今日兄さんは、私を散歩に連れて來て下すッたの……」

「そうだよ、何の用もないのにお前を連れて、こんなところをぶら／＼する程兄さんは、ひんけつ性じゃないのだからね」

こんなことで、私と妹の會話はぷうつり切れてしまつた。がすぐ私の頭には、私とそうして多賀子の晴れ／＼しい顔を待つてゐる母がいつぱいになつて、どうにもならなかつた。で私は、どうにかして妹とこの問題について、もう少しでもいゝめはなをつけて歸らなければならないとあせつてきた。

このとき妹は、私より十五六歩もおくれて、ヘンドバックを兩手で胸のところに抱いたまゝ、とぼとぼと運ぶ足先に眼線をあつめて歩いてゐた。

私はふたゝび、妹と肩を並べて歩けるやうに、そして今度はぐつとやわらかくしんみり話の出來るやうに、私自身の足なみを次第次第にゆるめながら、妹の近寄るのを待つた。だが妹の歩調は私のそれにつれて運ぶのか、二人の間隔はそのまゝで、私は表忠塔の丘にさしかゝる勾配にまで來てしまつた。

「どうしたの……多賀子、早くおいで、もうつかれたのかい」

何がなしやさしい私の聲に、妹は默つたまゝ私を見上げて、その口元に微笑を浮せた。そしていそ／＼と近寄つて來た。愉快になつた私は、子供らしく口笛を吹いたりして、妹をむかへた。

「そんなのを履いてちや歩けないだらう」

「そうよ、でも母さんが兄さんと歩くのだから、今日はこれをお履きッておろして下すッたの」

「で、おこずかひもだらう」

「それは、兄さんとだからッて母さん下さらなかッたわ」

「じゃあ今日は、まる、兄さんのふたんなんだね」

「そんなこと、あたり前じゃありませんか」

「よし、今日はうんとおごッてあげるよ」

「きッとね」

「きッとだよ」

私と妹は、表忠塔の右側を赤々とそめる陽をまともに受けて、乾いた枯草に腰をおろした。

「ねー多賀子、さつきの話だがほんとうにお前、結婚してもいゝッて言ふ氣持ちには、まだなれないかい」

「結婚ッて……たれとなの、そのおはなし……」

「誰ッて……まだそんな具體的な話ではないんだよ、只お前の氣持を聞いてみるだけなんだ」

「……でも結婚なんて、私なんだか……それにみず知らない人は私こまると思ふわ」

「かくべつ困るッて云ふことはないが……じゃあ兄さんの知つてる人だッたら承知するかい」

「いゝわ……でも、そんなこと今きめなくてもいゝじゃないの」

「それじゃ困るんだよ、お母さんにだつて安心がさせられないからで兄さんにすべてをまかせてくれないかい、ねー多賀子」

「いゝわ……」

「よし、じゃあ歸ろう」

「あら、おごッて下さるお約束だつたわ」

「みつ豆か」

「そんなもの、つまんないわ」

「じゃあ行こうカフェーへ」

「カフェー、私いやだわ」

「兄さんとだからいゝじゃないかお前も一度ぐらゐ行つて見ておくさ」

「だッて、私兄さんとでは、はづかしいわ」

「なぜ……」

「だッて兄さんが、もう少しスタイルでもいゝと私……はづかしくないだけど……」

私は無理にでも笑つて、妹に見せなかつたのだが、夕風が急に身にしみて、身體がこわばるのを譬えるばかしだつた。何か云つてる妹の聲を、私は背後に聞きながら瞳孔いつぱいに埃ッぽい道路を寫して、丘をすた／＼下つて行つた。

勳章

岩崎健

むかし、をんなの心づくしで置かれた青い花瓶だが、けさもなんにも挿されてゐなかつた。

窓をあけるとゆふべの月がまだ街の上にのこつてゐる。はるか遠い出來事のやうに——

私は山へゆかう。山に往つて私はなるやうにならなければならない。そして、それから——

——ではいよいよお立ちでございますか。

お別れですね。

さすがをんなは泪ぐんだ。そしてぽけつとから桐の花の勳章をとり出して、私の胸にぴんでしつかりとめてくれた。

五月になつて私は山から降りてきた。

私はどうにもならなかつた。桐の花が胸の上ではかなく散つた。だがをんなは再び新しい季節の勳章を私にくれなかつた。ながい時を私はべつとにうづくまりあの紫色した勳章の夢をみつづけた。

北村舞人の詩

大庭武年

北村舞人は私の最も推賞したく思つてゐる詩人である。それは友人への提灯持ちではなく、實際的に彼の作品が私を打つからだ。彼の詩は實に心境的にも清純だし、詩そのものも藝術の香氣が高い。私は彼が現在實力的に青年詩人の一流に伍してゐるものと斷言して憚らぬし、勿論彼の將來は約束されてゐるものと思つてゐる。私は今玆に、彼の三四篇の詩を紹介したく思ふ。この數篇の各々異つた傾向の詩より彼のフレキシビリテイが察せられるものとしたならば彼の藝術は明らかに單なる蒼白いロマンチシズムの亞流ではないと言ひ得られるであらう。

ボヘミア調

——大庭武年に——

北村舞人

結婚しやう ボヘミアの少女
馬車に乗つて 平野を行き
やがてわれわれは賑やかな町で結婚しやう
眼を潤くして ボヘミアの少女
われわれはやさしく唇をあはせよう
賑やかな町で館をおどらせ
われわれはギタアを奏かう
黄色い陽の照る近東地方で
アレクサンドリアのダイヤを買はう
ボヘミアの少女 ボヘミアの少女
眼を潤くして

友に

——たより

北村舞人

今夜は友だちの口笛を聽かう
どうでもいゝことだが——
あの本屋は引越した。小さな店へ
あのだゞつぴろい店さきに
僕らは
埃まみれなチエホフや
ストリンドベリを見たつけが……
新らしい本棚には
さつぱりした本が並んでゐる。
「何の木？」
知らない。
僕はまだ
チョイと外から覗いてみただけなのだ。

悲傷しめる友

北村舞人

今日は一人の友が遊びに來るから
妻よ
何ぞもてなすやうに工夫してくれ
その人は近頃弟を亡くし
それ以前に兄を亡くし
その前に妹を亡くした人だ。
妻よ
暗い悲しみを背負つた人だ。
遊びに來る友が
少しでもたのしくあるやうに
妻よ
何ぞもてなすやうに工夫してくれないか。

鬪志

北村舞人

考へてみると俺はいつも受身だつた。
小學時代にあの背のずんぐりした
色の眞黒けな教師にぶん擲られた
時からしてさうだつた。
俺はおとなしく涙ぐむよりほかのことを知らなかつた。
擲られた時はいつでも俺は受身だつた。
中學に入つてあの數學の教師に
俺たちが毎週提出することになつてゐた日記帳に
俺があんまり何も書かな過ぎると云つて怒鳴られたときも
其のあげくに俺の日記帳でほつぺたを代る代るひつぱたかれたときも
俺は默つてつゝ立つたまゝ
生唾をのみ込むだけで反抗する氣持ち持てなかつた。
それから十何年と云ふ年月の經つたいま
その光景を思出すことが堪らなく慘めだ。
それは俺が今でも何事につけ受身になるよりほかを知らないから
俺の此の獣從の精神が餘り忌々し過ぎるから。

2

冬の日の寒い溜置場で
おどおどして
生れて始めてあいつにぶん擲られたとき
あいつの手にした竹刀が俺の頭上に打おろされたとき
あの冷酷なあいつに蹴倒されたとき——
默つて歯を食しばつて
手を束ねて爲すまゝにされるよりほかなかつた俺の姿が忌々し過ぎるから。
だから
だから俺はどうしても
受身の位置が相手に譲らなければいかぬと決心したのだ。

——原始復興より——

滿洲日報

社説　在滿朝鮮人問題

滿洲における朝鮮人、第一、その數において精確を缺く。その如く、その救濟、保護といふやうな問題に立ち入つて、さて具體的對策は如何となると、事の決して容易、簡單でないことが分明する。

八十萬とも、また二百萬ともいはれる。かくの如きは、全く地理上、歷史上、朝鮮と滿洲、朝鮮人と滿洲といふものが、出入複雜、關係の最も密接なるものが存するからに外ならぬ。

もと／＼滿洲は、歷史的には朝鮮民族の故土であつたといふことも出來る。從つて、八十萬といふのも、眞實であれば、また二百萬といふのも、必ずしも誇張でないといふことが出來るのである。

滿洲民族が、この滿洲へ發展し來る以前にありては、遼河の以西にまで朝鮮民族が活動して居つたのであつた。今日なほ、高麗の遺跡は、滿洲の隨所に發見することが出來るのである。

近代史に入つて、滿洲民族が、長白山中から勃興して、清朝を確立し、支那の歷史中、比較的、最も完全な統一時代を出現したのであつたが、清朝は亡び、滿洲民族は漢民族の同化するところとなつたのである。

然るに朝鮮民族は、その母土として朝鮮半島に占據し（今日の吉林は鷄林の轉化せるもの）滿洲民族の如く、容易には漢民族に同化せらるゝことなく、八十萬乃至二百萬の朝鮮民族を、この滿洲に生存せしめつゝあるのである。

かくの如く、今日の漢民族よりも、この滿洲にありては先住民族たるの歷史を有するの關係上、在滿朝鮮人問題といふものは、非常に錯綜した問題となるのである。

すなはち人種學上からは、立派に朝鮮人の血液を傳統せるものであつても、民族的には、早くも既に漢民族となり切つてゐるものが相當に多く、現在の奉天官場等にありても、レースとしては、立派な朝鮮人でありながら、たゞネーションとして支那人になつてゐるものが少なくないのである。

されば漢民族に同化し切らず、さればとて民族的に、純然たる朝鮮人なりとも斷じかねる同化過程の在滿朝鮮人もまた決して尠少なりといふことは出來ぬ。

かかる現狀であるから、新來のものは格別、然らざるものにありては、支那服を纒へる朝鮮人あり朝鮮服を着用しつゝある支那人ありといふ狀態で、すこぶる曖昧模糊の狀態にありといひ得る。

この曖昧模糊の現狀に對して、とにかく問題の解決を期せんとするならば、その間、相當、斷然たる措置に出でねばならぬことは當然のことゝいはねばならぬ。

當面の問題が厄介なりとて、かの三矢協定の如きことを敢てし、一時を糊塗せんとするが如きは、決して在滿朝鮮人問題を解決する所以とならぬことは明白である。

また、かの商租權の細則協定により、朝鮮人も滿洲にありて土地商租の權利を發生せしむるが如きも、最も必要なる事項の一ツには相違ないが、條約や法規の制定のみにては、未だ以て眞に、朝鮮人を保護することにはならぬのであることを知らねばならぬ。

民族自決といはんか、歸化權を認むべしなどの問題もある。併しながら、白衣の朝鮮人は、滿洲の隨所において支那人から排斥され、また支那の官憲から迫害されつゝあるのである。

而してまた、わが日本の官憲に顧らんとしても、未だ甚だ及ばざるものあり、その多くのものは、轉々流々、喪家の犬の如く、隨所に流浪しつゝありといふ、甚だ同情すべき狀態に置かれてあるのである。

されば今日、當面の問題としては、この朝鮮人は日本臣民なりと確認するや、その朝鮮人を、徹頭徹尾、保護愛撫するの精神を以て在滿朝鮮人の戸口臺帳を作成し、以て同じ朝鮮民族であつても、たゞ血液上、また民族上、朝鮮人であるといふのみにて、日本官憲に顧らざるものは、斷然、これを顧みざることが肝要ではあるまいか。すなはち在滿朝鮮人を、血液上の朝鮮人、民族としての朝鮮人、而してまた日本臣民としての朝鮮人とに截然たる區劃を確立し、その區劃內の朝鮮人は、日本臣民として、これを徹底的に保護愛撫する、その埒外のものは、これを滿洲における支那官憲の保護に一任するといふことが、在滿朝鮮人問題を解決する、根本的にして、しかも最緊切の政策ではあるまいか。

きのふの衆議院本會議

綱紀肅正を絶叫し首相に詰め寄る

小橋氏奏薦て遺憾の意を披瀝

先陣を承る尾崎氏

【東京二十七日發電】衆議院本會議は午後一時十分開會、直ちに國務大臣に對する質疑に入り藤澤議長は尾崎行雄氏を麾く、尾崎氏は背廣服の上着のポケットよりハンカチを覗かせ稍反り身になつて演壇に立つ

尾崎行雄氏　小橋前文相問題では既に質疑が行はれたが、十分の答辯がないので本員より改めて質問をするから首相より責任ある答辯を願ひ度い

と舌鋒鋭く小橋前文相問題に詰め寄れば政友會側は頻りに拍手を送り民政黨は「共和政治はどうした」「アメリカへ行け」と弥次り早くも議場騒然、尾崎氏屢々發言を中止され論旨議場に徹底せず傍聽席は鈴なりの滿員で貴族院議員傍聽席には德川議長や鈴木喜三郎氏等が熱心に傾聽してゐる

尾崎氏　刑事被告人たる小橋君を國務大臣に奏請したる首相の責任は重大である、當初犯罪事實を知らなかつた事は陛下輔弼の任にあるものとして何等辯解にならぬ、前例なき由々敷き不祥事である（と鋭く切り込み）小橋文相の罪狀決定した今日尚は濱口首相は政治上の責任を執らぬとせば後世に惡例を貽し天下人心に及ぼす惡影響は以つて思ふべしである首相は責任を御執りになるかならないか明白な答辯を承り度い

と一本差して降壇、此の時民政黨の山崎傳之助氏自席に突つ立つて例の首を傾げて何事か述べて愛嬌を遣る

濱口首相　尾崎君の御話は謹んで拜聽しましたが將來を御戒め下されたものと心得て承つた小橋君の問題は事實なるも小橋君を奏請せる時には斯る事實を知る由もなかつた小橋君の起訴されたのは退官後である

と述ぶるや政友會「夫れが三百代言だ」と猛烈として彌次る

濱口首相　私は小橋君を奏薦したるを深く遺憾に存ずる此の心情は小橋君の起訴された時からの心情である衷心より遺憾に堪へぬ所である

と遺憾の意を披瀝して降壇

統帥權問題　對策協議

政府は斷乎應戰

【東京二十七日發電】統帥權問題に對し政府は既報の如く憲法第十二條に依り國防の事は國務大臣の補弼の責にある事を以つて斷乎として應戰するに決したが、貴族院方面に對しては伊澤多喜男、一宮房次郎、上田滿之進氏をして緩和策を講ぜしめてゐるが、二十七日午前九時濱口首相は鈴木翰長一宮房次郎氏を官邸に招き情勢を聽取する處あり更に鈴木翰長は本日午後の衆議院本會議に於ける尾崎、堀切、武藤、大山氏等の質問につき打ち合せをなした

第一控室の委員　一名を割當てる

昨日の各派交渉會で決定

【東京二十七日發電】衆議院各派交渉會は二十七日午前十一時より開催二十八日（月曜）本會議を開き國務大臣に對する質問を續けるに略決定、次で第一控室には十八名以上の特別委員會には一名を割り當てる事に決定して會を閉ぢ、次で懇談の形式で選擧違反で收容中の議員を速かに保釋する樣政府に對して正副議長より交渉するに決し正午散會した

各法案に對し政友會の作戰

【東京二十七日發電】政友會は二十七日午前十時より院內に政務調査會を開き

一、關稅定率法中改正案につき意見の交換の後

一、輸出補償法案につき、砂田重政、牧野良三、太田正孝三氏の小委員に研究せしむる事とし

一、義務教育費國庫負擔法中改正案は篤と研究の上政務調査總會の態度を決定する事

とし十一時半散會した

三十日から豫算總會

審議順序決る

【東京廿七日發電】政府は豫算審議の進捗に關し與黨側に希望した結果與黨幹部は政友會其の他との交渉の結果を齎し廿七日正午院內に於て濱口首相と協議の結果政府も之れに同意し追加豫算審議順序を左の如く決定した

二十八日國務大臣に對する質疑を打ち切り

二十九日休會

三十日豫算總會追加豫算案審議

一、二日同上

三日午前分科會

四日休會（各黨議決定）

五日午前豫算總會決定直ちに本會議上程決定

六日午前貴族院に上程

次回の本會議が質問戰の峠

愈よ乘出す勝田、藤村の兩氏

芳しからぬ今迄の質問成績

【東京二十六日發電】質問第二日の貴族院に對しては質問者の顔觸れから政府は豫じめ質問要綱を豫想し答辯要綱を用意してゐるが、實戰に於て第一番湯地幸平氏は御本人と縁の遠い經濟問題を持ち出し、第二番目の山岡萬之助氏もまた刑法學者であることを忘れて實行豫算編成問題に就いてやつたので昨年の實行豫算會議以來、この問題に就いてはスッカリ研究の積んである濱口首相から却つて「あなたの御質問の御趣旨を要約すれば」とアベコベに問題の重點を教へられたり法律的、政治的方面から明快に極めつけられた形であり成功の方ではなかつた、然し次回には勝田主計、藤村義朗男等反政府系の主力と見らるゝ人々が登壇する事となつてゐるので次回の質問戰あたりが本議會に於ける質問戰の峠と見られてゐる

貴院本會議（東京廿六日發電　廿六日夕刊續き）

豫算變更は協賛權の侵害

鋭く切込む山岡氏の質問を　意見の相違と首相輕く遇ふ

山岡萬之助氏　政府が變更をなせるは金解禁準備の爲めにして前內閣との政策の相違に基く變更であるあの豫算が現內閣の豫算に一致して居らぬとは云ひながら議會の協賛を經たものである、協賛を經たものを斯く無視さるゝのは正に協賛權の侵害である全然削除された款項二十數項に亙る憲法第六十四條に從へば款項を全然削除する事は豫算を破壞するものと解釋さるゝ此の點につき政府は如何に考ふるか、現內閣を支持する民政黨は在野時代議會中心主義を唱へ我々が皇室中心主義を唱へしに議會を輕んずるものなりとして應酬せり、此の民政黨の總裁たる濱口首相が自ら議會を無視するが如き態度を執りたるなり之れに對し首相は如何に辯解さるるか

濱口首相　實行豫算に對する議論は政治論として承るが大正二年にも四年にも十三年にも前例あり、實行豫算變更は金解禁の必要上行ひたるが解禁が變更の理由とならぬとすればそれは意見の相違といふ外ない

一、豫算變更は重大なる何等かの變動がなければならぬと云はるゝも金解禁は重大なる國務上の變動ではないか、若し然らずと解釋さるゝなら之れ又意見の相違であると云ふ外なし

一、款項全部を削除せる例は大正十三、四兩年昭和二年度に歷然たる前例あり

一、議會中心主義と豫算變更とは關係なし、兩院の協賛は大體の見當を定むるに過ぎざるより其の範圍に於て節約する事は何等議會輕視ではない

一、何故に臨時議會を開かざりしやとの說あるも追加豫算にあらざれば形式上議會に附議する要なし

と答へ之れにて山岡氏の質問を終り午後零時二分散會した

日支關稅協定案　警告附で承認決定

貿易局新設の審査報告書と共に　廿七日各關係へ配布

【東京二十六日發電】日支關稅協定案は廿七日の樞府精査委員會に於て警告を附して承認することになり、審査報告書は金子委員長二上書記官長の手許で作成を終り各委員に配布したところ異議がないので委員會を開かずして二十六日警告附で原案を承認する事とし、即日貿易局新設の審査報告書と共に各顧問官及び國務大臣に配布した

議會風景

流石は天下の猛者揃ひ

政府筋をヒヤつかす　警句・皮肉亂れ飛ぶ

【東京特電二十六日發】貴族院に於ける論戰は二十五、六の兩日に亘り小久保、竹越、湯地、山岡の諸氏が轡を並べての出陣によつて、その豫定のプログラムを進めてゐる、以上の諸氏はいづれも貴族院に於ける政友派の猛者なる事は世間周知の通りである

◆…從つてもし政府側に針の穴程の隙だにあらば、其處に何等かの言質をと割り込んで行く事は疑ひが無いが、今の處はホンの前哨戰に過ぎず、小久保氏の小欄問題、竹越氏の經濟策、湯地氏の產業政策等、いづれもまだ政府の急所に觸れず、山岡氏の攻擊また四年度實行豫算編成の不當を鳴らす程度に過ぎず政府の牙城に肉薄するまでには到つてゐない

◆…處でこれに對する政府側は大部分はまだ總理が一手に引受けて應答し、その理論的な答辯振に綽々たる餘裕を見せてゐるとはいへ、せめても流石に天下の猛者連だ、口を衝いて現れるその警句、皮肉などは屢々政府筋をしてヒヤッと脅威を感ぜしむるもの無きにしもあらず、殊に竹越氏の質問の後半に於て金解禁者偏重の井上藏相に對し我國の銀行家は數年後黃金の壽像を建設するに到るかも知れぬ而かも若し人ありてその黃金像に手を觸れんか、忽ち涙々たる赤い血が――失業者の身から絞つた赤い血が流れ出すだらうと見得を切つたあたりは、聊か無產黨もどきだが、往年の三叉の面目躍如だ

◆…湯地幸平君も皮肉に於ては却々ヒケを取らぬ方だ、濱口總理が、產業施設に對し「特に愼重考慮する」と云つたのは產業施設の經費削減を特に考慮したのだと喝破したのなどはその一例

◆…また問題の義務教育費國庫負擔一千萬圓の增額について單り義務教育費のみ、緊縮已むを得ざる經費として追加豫算に計上する如き到底常識では判斷できぬ藝當だと皮肉つた點なども、政府側にとつては少々耳の痛い話だ

『政府の態度不遜』

貴族院側俄に硬化の兆

【東京二十六日發電】貴族院に於ける二十五日の濱口首相、幣原外相の演說並びに答辯振りは意外に貴族院の空氣を惡化せしめた模樣で、前議會に於ける閣僚の態度と全く相反し傲慢、不遜の嫌ひ多く殊に濱口首相が小久保喜七氏の質問に對し默殺主義を以つて終始したるが如き幣原外相が軍部出身議員を前にして軍縮會議は成功で之れを非難するは世界の大勢を知らぬものであると云ふに等しい言辭を用ひたこと、また井上藏相が竹越與三郎氏の質問に對して應酬した態度の如き何れも各派の反感を挑發するに十分であつて、このため研究會內でも牧野忠篤子等の長老組が寄々協議の結果、前田子、奧平伯等を起たしめ綱紀肅正、不景氣救濟等の諸問題を以つて政府に詰め寄らしむる事となり奧平伯は二十六日午前事務局に質問通告をなした、この外他會派に於ても反政府的熱の高まると共に本會議並びに豫算總會等に於て相當强硬に政府に迫る事となる形勢である

貴族院の空氣　緩和に努む

【東京二十六日發電】二十五日の貴衆兩院に於ける政府側の答辯がとかく多數黨を笠に着たるが如き彈壓的の態度に出で、殊に貴族院における答辯は反抗的又は默殺主義を以て終始したるため俄然兩院の空氣惡化し來たりたるに鑑み、政府側も俄に態度を改め廿六日の貴族院本會議においては湯地、山岡兩氏の質問に對しても首相は愼重に答辯をなし特に貴族院の空氣を緩和せんとする態度が瞭かに見えて來た

預金部資金　運用問題一揉か

政府の弱點と觀らる

【東京二十六日發電】政府が金解禁準備として在外正貨充實を圖るに當り預金部資金を濫用し莫大の損失を與へた事實は、二十五日の衆議院で砂田重政氏によつて指摘され俄然重大な政治問題化するに至つた、即ち政府は金解禁の壯を極めるや昨年九月頃より爲替の昂騰と在外正貨充實の目的から正金銀行をして十一月の解禁聲明までに二億二千萬圓を買向はしめ

政府は　この買附資金として預金部資金一億三千萬圓を融通した、昨年末に至り政府は當初の約に從ひ正金の買持ち資金を全部買上げると共にこれによる損失も全部肩替りしたのである、然るに買上げ仕切相場は平均四十七弗半見當でこれがため預金部の受くるものは七百三十萬圓に上ると云はれてゐる、斯くの如く爲替昂騰途上弗手形を買附けるは爲替が平價に恢復した曉は損失に歸するは明かなる事實で、預金部資金をこれに運用したるは濱口首相が藏相時代に決定した有利且つ確なるものに運用するといふ預金部預金法に

違反す　るものであつて、痛くも我々の預金部運用委員會に於ても議題的非難あり、若し絕對必要であつたら臨時議會が緊急處分の法に依るべきであるとしてゐる、井上藏相もこの違法なるを認め速記を中止して事後承諾を求めた事實がある、砂田氏の質問に對し藏相は一時的損失であつて半年又は一年の中には利廻りに依り利益を舉げ得るとしてゐるが、後日損失をカバーし得るや否やは別個の問題で有利且つ確ならざるものに運用した事は否定され得ない、しかも解禁聲明當初發表された三億四百萬圓の在外正貨は一月十一日の

實施期　までには大部分が輸入資金に消費され現在の在外預金一億三千萬圓は既に正金に指定預金として爲替資金に流用され全然空疎な數字であるといはれ、この點は金解禁强行策の無理を暴露したもので政府の非常な弱點とされてゐる

失業防止委員會

【東京二十六日發電】失業防止並に救濟の中央機關として設置されることゝなつた失業防止委員會の委員幹事並に部屬は二十六日內務省より發表された

回訓案問題重大化

海軍協定問題で公正會色めく

あす緊急總會を開き態度を協議決定す

【東京二十六日發電】海軍協定問題に關連して統帥權問題を重視する貴族院各派では實質よりも手續き上に重大疑義ありとなし、回訓案決定の事前に政府と軍令部間に諒解協定が附いてゐたか否かの事實につき最も

深甚な　注意を拂ひつゝあるが、二十五日の外相の演說に對し海軍側に强硬なる反對論があるやに傳へられてゐるので、貴族院側は俄然緊張を呈し殊に本問題に最も强硬意見を有する公正會政務調査會首腦部は急遽打ち合せの結果、二十八日午後一時より緊急總會を開き本問題に對する會の態度を協議決定する事となつた、なほ同會政務調査部では或は海軍首腦部の說明を聽取しなほ

外相を　訪問する事となるやも知れず、その結果若し海軍側と政府の諒解が完全でなかつたとすれば研究、同和、交友等の諸會派にも重大なる影響を及ぼすものと見られてゐる

政友の軍令部長　議會出席要求說

政府側では一笑に附す

【東京廿六日發電】軍縮回訓に對し軍令部と政府との間に意見の不一致を已たるは當時加藤軍令部長の聲明した如くであるが、廿五日首相及び外相は衆議院に於て兩者間に何等意見の相違はないとなせるは不都合であるとて、政友會は二十六日朝來貴院の反政府派議員と策應し[illegible]院を動かし院議を以て軍令部當局の出席を求めこの間の事情を明かにし政府を窮地に陷いれんとしてゐる、しかして軍令部では行くとしても飽くまで政治的に利用されるを避け專門的說明に止めねばならぬとしてゐるが、軍令部の議會出席には海軍大臣の許可を要し、濱口海相事務代理は問題の紛糾をおそれおそらく許さゞるべく實現は困難と見られてゐる、右につき政府は憲法第五十四條により議員以外の者で議會に出席し得るは國務大臣および政府委員に限られてゐるのであるから斯くの如き院議は提出し得ぬもので、かゝる說は一知半解の徒の言に過ぎずと一笑に附してゐる

政友會幹部會

【東京二十六日發電】政友會は二十六日の幹部會に於て

一、政府は衆議院に於ける質問を廿七日にて打切り廿八日豫算總會を開く方針の樣であるが、廿七日の各派交渉會に於て卅日迄質問を續ける事を主張すること

二、二十七日の本會議に於ける質問者の順位は第一控室より要求があれば尾崎行雄氏を先頭に立たしめ、次いで堀切、內田兩氏を登壇せしめ、武藤山治氏は當人の希望があれば二十七日立たしむるもよいが、同氏に花を持たせるため二十八日の先頭に登壇させてもよい

との意見に一致した

北方政府が機關銀行を設立

浙江財閥代表も參加して財政の獨立を期す

【北平廿七日發電】閻錫山氏は近く樹立さるべき北方政府の財政的獨立を期すべく此の程資本金一億元の國家銀行を設立するに決し其の前提として陸海空軍總司令部より六百萬元の臨時軍用票を發行する事となつた尚右銀行設立には上海及び浙江財閥の有力な代表者が參加してゐるのは注目されてゐる

政府の答辯に

軍部はおほいに憤慨

【東京廿六日發電】國防の重責を負ふ軍令部はロンドン條約における我國の兵力保有量に對して飽くまで反對なる旨を從來極めて明瞭に表示し來つたのであるが、廿五日の議會における總理の「國防の責任は政府が負ふ」といふ言辭や外相の「政府は充分軍部の意嚮を參酌したもので國防上不安はない」と斷言したるに對し軍令部は極度に憤慨し政府のいふことは欺瞞であるとさへ斷定してゐる、即ち軍令部は今まで一度も、これに承認を與へた事なく、しばしば政府に警告して來た位であり、幣原外相が軍令部の意向は充分參酌したといふは持つての外である、政府は何の根據を以て國防の責任を全うし得るといひ得るか、首相の言辭はまた詭辯に過ぎないとて大いに憤慨してゐる

日本石油減配

【東京二十六日發電】日本石油株式會社は二十六日の株主總會で六分の配當案（一分減配）を可決した

露支協定の內容

莫全權とメ總領事の正式會議も樂觀さる

【ハルビン特電二十七日發】露支正式會議に對する豫備交渉は莫德惠全權及鍾毓交渉員とメリニコフ總領事の間に於て屢報の如く大體協定を遂げたが

（一）東支鐵道問題に關する細目協定は一九二四年の奉露協定に準據し原則として本會議に支那政府は[illegible]支買收案を提示する意ある旨を通告しソウエート政府はこれに對し原則上反對の意見を有さざるも特別專門委員會に於て解決し條件としては支那資本たることは勿論、共同經營期間隨時買收することを認めるも第三國に讓渡せざることを回答し東支管理局の職制改正案は本會議にて討議することに同意し

（二）露支紛爭中支那側の蒙つた損害賠償は東支に關係あるものは東支が負擔し本會議に於て審議はするもソウエートも亦損害あり相殺とする方針

（三）松黑航行中の支那船舶のソウエートに抑留されたものを本會議終了を俟つて直にソウエートは還付する責任を有する旨を明示すること

（四）通商問題は北京條約により双務的に恢復するがソウエート通商代表を外交官として不可侵權を證認し其の事務所に特權を與へる問題は東鐵問題の圓滿なる解決により決定せしむ

（五）兩國大使の交換は北京の露支協定に基く、但し大使館を南京に設けることにソウエート政府は同意す

と云ふにありモスクワに於ける正式會議の前途は樂觀されてゐる

モスクワ政府は通商條約の締結により露支公辦のコペラチーブ、合同企業公司を兩國に設け中央亞細亞を貫通する鐵道の布設權を支那政府から獲得し經濟的に進出せんとする意嚮であると

支那側代表送別宴

莫全權が各國領事招待

【ハルビン特電二十七日發】露支正式會議に入露することに決定した支那側代表は莫德惠全權の外、專門委員劉澤榮、李琛、屠慰曾、王曾思、秘書蔡運辰、張明哲、王煥文、隨員孫文斗、南文明、謝議行、崔淑言、書記吳家璟、馮杰、齊仲怜、陶桂林で旅費は專門委員二千八百元、秘書が二千二百元、隨員一千七百元、書記が一千三百七十五元合計八千七十五元である尙莫全權に對し廿四日はルドウィ局長が自邸で送別宴を開いたのを皮切に廿五日はモデルンで張行政長官廿七日はメリニコフ總領事が東支クラブ、廿九日は東鐵支那側幹部の送別宴あり、廿八日午後八時から莫氏は在哈各國領事を東支俱樂部に招待し一夕の懇親宴を催すと、因に王曾思氏は全權大使の資格をもつて會議に參加するので本會議の結果ソウエートからも大使を派遣することに確定してゐる

滿洲重要工業　二十種を選定

同時に助成方策研究のため　五部門の小委員會を設置

關東廳經濟調査會第五回會議の諮問案第二號「滿洲に於て特に獎勵すべき重要工業の種類及び之が助勢の方策如何」に關する第二回特別委員會は二十五日午後四時から八時まで大連民政署會議室に於て開會、理事者側より日下幹事山中書記及び各委員出席のうへ前回に引き續き愼重

審議し　たが、結局重要工業の種類としては、三十餘種中より左記二十種を取敢ず選定、同時にその助成方策をも併せて更にそれ／＼專門的研究調査を遂げて最後の決定をなすべく左の通り斯界の專門家を主とする五部門の小委員會を設置した、なほ第五小委員會は三十日正午より第一委員會は來る五月五日午後四時より何れも大連ヤマトホテルに於て第一回協議會を開催すると

第一小委員會（紡績、製麻、毛織、柞蠶各工業關係）理事井上(輝)、角野、武部、福田、今井、村井、池田、小田

第二小委員會（製紙、製粉、煙草、製鹽、木材加工、燐寸各工業關係）理事津久井、勝弘、田村、船田、西山、野田、今井、井上(輝)、石田、小田

第三小委員會（釀造、家畜飼料製造、油房、油脂及塗料各工業關係）理事古澤、津久井、武部、世良、佐藤、武安、西山、宇佐美、石川、寺田

第四小委員會（畜產加工、硫化染料、硫化曹達、硝子各工業關係）理事武部、佐藤、向井、世良、福田、藤田、村井、橫田

第五小委員會　纖工業、軍輛工業關係）理事船田、田村、高田、上島、井上(輝)、長谷川、寺田、津久井

外務省辭令

【東京二十六日發電】

大使館一等書記官　若杉要

任總領事(三等)　領事　內山清

兼任公使館二等書記官(四等)　特命全權公使　青木新

致馬駐剳兼勤被仰附

辭令

【東京廿六日發電】

任撫順中學校長兼教諭(五等待遇)　撫順高等女學校長兼教諭　寺田喜治郎

任奉天高等女學校長　兼任同校教諭(四等待遇)　安東高等女學校教諭　八木壽治

任撫順高等女學校長兼教諭(五等待遇)　長春高等女學校教諭　植村良男

任撫順高等女學校教諭(六等待遇)　木暮[illegible]

依願免本官　撫順中學校長　後藤基次

依願免本職並兼職　奉天高等女學校長兼教諭　安藤基平

人事

▲千秋寛氏（鞍山製鐵所長）廿六日夜來連ヤマトホテルへ

安與稻子

咲いた花に眼もくれず滿俱球場に集つた野球ファン▲一球一打に喜悲交々の顔面筋肉の活躍▲ところが笑つたことがないといふので有名な元木消費組合主事が滿鐵軍のベンチに頑張つて▲相變らずの苦い顔をして試合の掛けぶりを睨めてゐたがそのうち次第に我軍優勢に▲梅一輪づゝほど顔面が綻びそめて來たが▲遂に優勝と決つた刹那▲櫻花爛漫として一時に花笑ふ春にめぐり會つたやうにニコ／＼し出したので▲アベコベに元木さんの笑顔に選手の方が驚つたさうな顔をしてゐたと▲元木さんを笑はした昨日の野球戰のグラウンド風景一つ

關東州野球界の覇權 遂に消費組合軍握る

國際軍旬日に亘る力闘も空し 盛況裡に大會終了す

本社主催の第十五回關東州野球大會優勝戰國際對消費戰は夕刊既報の如く七日午後二時正田拾三氏（球審）安藤忍、中澤不二雄兩氏（壘審）の下に立錐の餘地なき觀衆に取卷かれ國際先攻で開始された、大鐵傘をゆるがす喊聲、花雲の球場空高く響き渡り、白球飛び鐵腕うなるの好ゲームにファンは醉ひしれ、幾度かの美打に觀衆熱鬧し今シーズン始まつて以來の盛觀を極めた、劈頭國際一死滿壘の好機を惠まれしも凡退に終り以後兩チームとも攻守伯仲して堅壘を拔く能はず、漸く五回裏に消費南條敵失に生きて進み二神の二壘打に生還、先づ一點を得たるに反し、國際軍無當、一對〇の接戰でラッキーセブンに入る、國際死力を盡し無死滿壘の好機をつかみしも僅かに一點を得、消費の堅壘をおびやかせしのみ、同裏消費再び南條の遊左を拔く單打をきつかけに綠川の犧バントに送られ吉野、井上共に右前單打で二死滿壘となり、このとき大橋本壘打性三壘打をカツとばし一擧三點を得大勢決まり、國際の攻撃も空しく各者凡退し、遂に四A對一で國際軍遂に長蛇を逸す、かくて旬日を經る戰鬪こゝに全くをさまり、覇權を握りし消費軍は威容を更めてダイヤモンドに進み一列縱隊となつて整列、佐藤本社編輯局長一場の挨拶をのべ北川消費主將に榮ある大會優勝旗及び片山優勝ボール、大每大朝兩社優勝旗並びに玉澤バツト店寄贈の大果物籠、山本運動具店寄贈の花環をそれぞれ拍手裡に授與され、消費チームの「滿日萬歲」三唱を最後に盛觀なりし第十五回關東州野球大會日出たくその幕を閉ぢた

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
（消費）								
9 綠川	1	0	0	2	1	0	2	0
8 二神	5	0	1	0	2	1	0	0
5 吉野	2	1	1	0	2	1	2	1
2 井上	3	1	1	1	0	1	0	0
3 古味	0	0	1	0	1	0	0	0
1 大盛	3	0	2	1	1	0	0	0
7 宗正	3	0	0	1	0	1	0	0
13 青山	3	0	0	0	0	1	0	1
6 時任	3	0	0	0	1	0	0	0
4 南條	3	2	1	1	0	0	0	1
計	26	4	7	5	8	3	6	2

▲三壘打　大橋一
▲二壘打　木下一
▲併殺數　宗正、吉野、南條―一　宮武、立石―一
▲死球　宮武―一（時任）大橋―一（山田）
▲殘壘數　國際―六　消費―九
▲試合時間　二時間三十分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
國際 得點	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
國際 安打	1	0	0	2	0	0	0	1	1	5
國際 失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
消費 得點	0	0	0	0	1	0	3	0	A	4A
消費 安打	0	0	0	1	1	1	4	1		7
消費 敵失	0	1	0	0	1	0	0	0		2

經過

第四回までは兩軍ともゼロ

第一回　國際武井二飛、立石左中間單打に出で二盜、宮武四球を利し渡邊二飛失に生き走者進壘し一死滿壘（古味退き青山一壘に入り大橋投手となる）木下右飛、石河中飛で消費危機を脫す▲消費綠川二飛、二神投飛、吉野三振

第二回　國際山田三振、松尾三振、石川左飛▲消費井上遊飛一失に生き大橋の投前犧バントに二進、宗正右飛、青山二飛

第三回　國際武井、立石續いて中飛、宮武三飛▲消費時任三振、南條左飛、綠川四球に出で二盜したるも二神遊飛

第四回　國際渡邊遊飛、木下左翼後へ二壘打し石河の三遊間單打に木下三進したが、宗正の好投に死しその間石河二壘をつき井上重殺さる▲消費吉野四球、井上の投前バントに吉野二進、大橋の二飛に吉野三進、宗正四球に出で二盜、青山もまた四球に出で二死滿壘となり好機到れるも時任三振に終る

消費先づ一點 氣勢をあぐ

第五回　國際山田捕邪飛、松尾遊飛、石川二飛▲消費南條三飛失に生き、綠川投前犧バントに二進、二神の二壘後の單打に南條一擧本壘をついて生還、二神三盜、吉野四球に出で二神三盜、その間に吉野二盜、井上バントせんとせしも遊飛となり二神重殺さる

第六回　國際武井三飛、立石右飛、宮武一邪飛▲消費大橋二壘後の單打に出で（青山代走）宗正三飛（青山と井上交代す）井上二盜、青山一飛、時任三飛

消費三國際一 大橋の快打

第七回　國際渡邊一、二間單打木下の投野手選擇に生き石河の投前バントを投手大橋、三壘封殺を企てんとせしも三壘手ヘンブルし無死滿壘となる、山田死球に渡邊生還、走者進壘、松尾三振し石川の遊飛に木下本壘に封殺、武井左飛滿壘のまゝ好機を逸す▲消費南條中前單打に出で綠川の投前犧バントに南條二進、二神三振、吉野右前單打に出で南條一擧本壘をつき生還、吉野その間二盜、井上右前單打に吉野また本壘をついて生還、この際に井上二盜、大橋左中間三壘打に出で井上生還し大橋本壘を衝きしも中遊の好投に大橋刺さる

第八回　國際立石三飛、宮武三壘後へ單打渡邊二飛に宮武二壘封殺、渡邊一壘ヒッテングボールに死す▲消費（木下一壘に入り、宮武投手となり、山田三壘へ、立石遊擊となる）宗正右前單打に出で、青山一飛に退き時任の死球に宗正二進、南條の中犧飛に走者進壘綠川四球を利し滿壘となりたるも二神一飛に退く

第九回　國際木下左飛、石河二飛、山田中飛

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
（國際）								
8 武井	4	0	0	0	0	0	0	0
6 立石	4	0	1	0	0	0	0	0
1 宮武	3	0	1	0	1	0	1	0
2 渡邊	4	1	1	0	0	0	0	0
13 木下	4	0	1	0	0	0	0	0
4 石河	4	0	1	0	0	0	0	0
35 山田	3	0	0	0	0	0	0	0
7 松尾	3	0	0	0	0	2	0	0
9 石川	3	0	0	0	0	0	0	0
計	32	1	5	0	1	2	1	[illegible]

救命袋をお身に 高松宮、同妃殿下

船長の指揮を待たせらる 鹿島丸のボート操練演習

【鹿島丸二十七日發電】二十七日午前十時平和な航海氣分を破つて警笛が鳴る、ボート操練であるる、高松宮同妃兩殿下にも一般船客同樣に救命袋をつけさせられ指定の場所に立たせられ船長の指揮を待たせられたのであつた、演習は約三十分で終つた、兩殿下には二十八日上海御到着、多分領事館に御一泊の御豫定である

決勝戰から

【寫眞】上＝第五回裏、消費軍二神の二壘左を拔く單打で南條本壘を突き一點先取の刹那、中＝佐藤本社編輯局長から優勝旗を授與される北川主將、下＝消費組合軍の滿洲日報萬歲三唱

帝立第一回戰 立教軍捷つ

【東京二十六日發電】六大學リーグ戰帝大對立教第一回戰は午後零時半新田（球）池田、天知（壘）兩審判立教の先攻で開始、十四對十にて立教の勝利に歸し閉戰二時四十七分、バッテリー立教（福岡、小笠原）帝大（高橋、小林）

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
立教	4	3	0	1	1	1	2	0	2	14
帝大	0	6	0	0	3	1	0	0	0	10

滿洲醫大の選手推戴式 猛練習を續く

【奉天電話二十七日】來る五月の下旬毎年陸上競技會で多大の興味を以つて迎へられてゐる旅順工大對滿洲醫大の第四回陸上競技對抗戰は、既報の如く五月廿四、五、六の三日間旅順工大グラウンドに於て擧行されることゝなり兩大學とも必勝を期し猛練習を開始してゐるが、滿洲醫大では廿六日午後四時半から體育館に於て選手三百數十名の盛大な推戴式が行はれた、校歌合唱、選手推戴に次いで稻葉補仁會々長及び補仁會總務部長代理十川彌市氏の激勵の訓辭來賓郁卒業生の挨拶、點川應援團長、熊川選手代表の必勝を期する涙ぐましい挨拶あり、應援歌を合唱して午後五時十分閉式した、式終るや野球に、蹴球に、相撲に、柔劍道に各選手はそれぐ一刻を惜み各競技場に飛出して物凄い練習を開始した

この日許りは 軍服捨てゝ

盛んだつた旅順重砲兵大隊 第廿四回創立記念日

第二十四回旅順重砲兵大隊創立記念日は花曇りの二十七日午前九時から同大隊營庭に於て擧行された、定刻既に來賓及び一般觀覽者は陸續と營門を指して殺到し、營庭を繞つて爛漫と妍を競ふ櫻花の下に參集した、皇居遙拜の儀式についで渡邊重砲隊長の挨拶あり、續つて

練兵場 に砲列を布いた八門の加農砲は高射砲を取圍んで號令一下、一齊射擊を開始し殷々轟々たる砲聲は天地を震撼し、我重砲の最大威力を如實に現はして參觀者の賞讚を浴び、畑軍司令官の閱兵を以て儀式を終了し午前十時から餘興に移る、民衆と共に記念日を樂しむと云ふ趣向から中央營庭に設けられた運動場では旅順第一、二小學校生徒と重砲隊員合同の無邪氣な運動會が催され、一競技每に急霰の拍手起る、更にまた滿庭の櫻樹を縱横に縫つて張り廻された紅白の幔幕の間には兵隊さん達が

智慧袋 を傾けて造つた二十種近い造物が展示されて居たが或は世相を諷刺し、國難來を警告し、忠君愛國を高唱する等何れも趣向を凝らして出來榮えに稱讚の的を擅にした、かくて餘興は壯烈な相撲、愉快な演藝等と進んだが場內に設けられた十數軒の模擬店には旅順全花街の美形連が立並んであでやかなサーヴイス振りに來賓を滿足せしめ、盛りの櫻花と數種の餘興に記念日の一日はのどかに終つた

來賓中 の主なる者は畑軍司令官、厚東要塞司令官、滿鐵藤井秘書役、安岡檢察官長、土屋高等法院長、小山工專校長等旅大の官民を網羅した盛況振りであつた

警官の手をからず 自發的に申告させる

第二回の國勢本調查計畫要綱こ 評議員顏觸れ決る

關東州及び滿鐵沿線各附屬地の第二回國勢本調查は內地同樣、來秋十月一日午前零時を期し一齊に施行さるゝこととなつたので、關東廳では二十五日附これが重要事項を調查審議して長官の諮問に答ふべき國勢調查評議員會規則を制定同時に左の通り評議員を

任命す る所あり、五月三日午前九時より同廳會議室に於て第一回會議を開會、長官の諮問に依り正式に調查期日、地域、各調查事項並に方法機關、結果の整理公表等に關する神議を遂ぐる由であるが、當日提案の計畫要綱は左の通りで、今回は第一回に調查した現在者および常住者とありしを母國同樣現在者に限りたるを初め讀み書きの程度も普通教育の有無に改め日本語又は支那語を解する程度及び不具者調查、阿片吸食者調查

邦人の 兵役關係等の諸調查は經濟困難重複等の理由を以つて一切削除、而して新に所屬の産業、失業、保險問題解決資料として住居の室數調查等を加へ調查することゝなつてゐる、なほ前回の調查は全部警察官吏の手に依つて行はれたが、今回は住民の知識進み調查に對する理解も相當發達してゐるので直接申告者より申告せしめるを原則とすることゝなつた

調查要綱

一、調查期日　昭和五年十月一日（午前零時の現在に依る）

二、調查地域　關東州及南滿洲鐵道附屬地

三、調查事項

一、氏名
二、世帶に於ける地位
三、男女の別
四、出生の年月日
五、配偶の關係
六、職業（本業及副業）
七、所屬の産業
八、失業（日本人）
九、普通教育の有無（滿十五歲以上）
十、本籍、民籍又は國籍
十一、出生地
十二、來住の年（日本人）
十三、住居の室數

四、調查の方法　調查票は各世帶に付一通を用ひ各世帶員に關する事項を列記する世帶票式とし世帶主又は世帶管理者を申告義務者とす調查票の配付蒐集は國勢調查委員をして之に當らしむ

五、調查機關　地方實査は地方國勢調查部長（州內は民政署長及び民政支署長、附屬地は事務官）總理し地方國勢調查委員長（警察官署長）指揮監督の下に國勢調查委員（公務員及地方有志）をして之に當らしめ外に地方國勢調查參與員（公務員及他方有力者）を置き趣旨の普及並調查の圓滑を計らしむ

但し陸海軍の部隊艦船、外國軍艦の調查に付ては關東長官に於て其の首腦部と協議し特別の取扱を爲すものとす

國勢調查委員は警察官署長の推薦に基き地方國勢調查部長の內申に依り關東長官之を命ず

地方國勢調查參與員及び國勢調查委員は名譽職とす

六、結果の整理公表　調查結果の整理は全部中央集查とし申告書其の他の材料は其の儘地方國勢調查委員長より進達せしめ本廳に於て之を整理し結果表を作成するものとす而して結果發表の豫定は左の如し

人口概數報告　昭和五年十二月
人口確定報告　同六年六月
全體結果報告　同六年より八年

評議員

職	氏名
會長內務局長	神田純一
副會長警務局長	中谷政一
評議員財務部長	西山左內
同事務官外事課長	河相達夫
同學務課長	御影池辰雄
同地方課長	水谷秀雄
同遞信局長	櫻井學
同事務官旅順民政署長	西山茂
同金州民政支署長	田邊秀雄
同理事官普蘭店民政支署長	神田公雄
同警視貔子窩民政支署長	武波善治
同海務局技師海務局長	岡本誠
同事務官在牛莊領事館	荒川充雄
同在遼陽領事館	山崎恒四郎
同在奉天總領事館	森島守人
同在鐵嶺領事館	近藤信一
同在長春領事館	田代重德
同在安東領事館	宇佐美珍彥
同關東軍參謀長	三宅光治
同關東軍副官	恒吉秀雄
同駐在海軍武官	久保田久晴
同大連市長	田中千吉
同旅順市長	永山嵩一
同滿鐵理事	大藏公望
同滿鐵鐵道部長	宇佐美寬爾
同滿鐵地方部長	保々隆矣
同滿鐵文書課長	山崎元幹
同幹事事務官文書課長	日下辰太
同高等警察課長	松田芳助
同書記	屬 藤井巳次郎
同	警部 泉文三

六七―一二 二中大勝

對教習籠球戰

二十六日午後四時より二中講堂に於て大連二中對鐵道教習所の籠球戰を行つたが、六十七對十二で大連二中の大勝に歸した（レフェリー大山、アンパイヤー鎌田）

		得	罰	計
二中	森古 F	16	0	
	田賀 C	20	4	
	井瀨 G	27	0	
	酒水	0	0	
	岩上	0	1	
	盛安	0	4	
計		67		41 26 ― 9 3
教習所	對何	0	0	
	田	0	2	
	王	0	0	
	對	5	1	
	下	6	0	
		1	1	
		0	0	
計		12	4	

デ盃戰 歐洲ゾーン

英獨戰二勝一敗

【ロンドン二十五日發電】クインスクラブにおけるデ盃庭球戰歐洲ゾーン英國對ドイツ第二日戰績左の如くドイツ側は二勝一敗となつた

ジー、コリンズ、グレゴリー、博士、コリンズ（英）　六―二、六―四、六―三　ハインリッヒ、クライン、シユローチ博士、フイクトル、デウイルヘルム、ルト（獨）

反英運動

【カルカッタ二十五日發電】反英不服從週間は濟んだにもかゝはらずニーラ地方にてはなほ食鹽私製が行はれ、二十五日反英團と警官隊衝突し警官は實彈射擊をなしてこれを退散させた

夫次郎の兇行か

疑ひ濃厚の殺人事件 續々飛び出す

【東京二十六日發電】夕張郡倉庫より發見された行李詰死體事件はその後取調を中止されてゐたが、實弟殺しの谷口夫次郎の實母ウメヨの實家が夕張郡角田村なるので松澤病院入院中の新三郎が行李詰事件の一端を口走つたといはれる點より或はこれも夫次郎の兇行に據るものではないかと推定されてゐる、また松澤村の老婆殺しは昭和三年六月二十七日發見され、その三日前に泥棒で同樣老婆殺しが發見されてゐるのより見てこれに對する嫌疑も極めて濃厚であるが一方二十六日に至り千葉縣警察部より同縣夷隅郡興津町で昨年八月に東京下町風二十四、五歲の女が殺された事件の犯人は當時の目擊者の話より夫次郎に酷似してゐるとの照會があつた、これ等より推定して殺人鬼夫次郎の兇行は到る所に行はれたものとも豫想されてゐる

日本兩畫家 法王に謁見

【ヴアチカンシチー廿五日發電】ローマ法王ピウス十一世は廿六日よりローマに開催さる日本美術展の日本畫家松岡映丘、長谷川路可兩氏を引見した、氏等は緞地に畫がいた美事な日本畫と日本カトリック教の婦人團から委囑された西洋畫を法王に贈呈した

電○

不正直者あり注意！ 大連案內社號外

五月一日現在の電話番號簿改印刷を行ふ事になりました　御注意

◎電話名義變更せず共低利貸出　最近電話名義變更せぬ契約で手數料迄取りながら無斷で名義を變へ再び金策を計る不正直者あり現在電話四ッ番五百五十圓以上、二話相場五ッ番四百八十圓以上の不直洋犬の宣傳は「まつかな」嘘營社では前記相場より金二十圓上割引して差上げます故不〇〇洋行へ御賣り下さい利益が有ります電話大暴騰の宣傳は不正直者の手持電話の釣上策不當利得暴利原因暴露す、電話市値の高低は一悪ブローカの左右する處にあらず遞信局と市民諸氏に依りて決す賣電話多數あり今が買時貸電話多數あり

買入れは即金です御安心
西通三十五　電六六六三　大連案內社

滿日地方版

奉天

鎭江山觀櫻會の申込愈よけふ限り 早くはやく！定員突破せん勢ひ 參加者注意いろいろ

一年に一度の行樂の絶好チャンスとして發表以來市民の湧くが如き人氣を呼んでゐる滿日奉天支社、奉天日日共同主催の安東鎭江山觀櫻會は愈々今晩出發の日が來た、三寒四温を吹飛ばした數日來の雨と風の不順な惡天候も漸く常道に歸つて昨日今日は麗かな春光が頻りに遊意を唆つてゐる、申込みは日を逐ふて加速度に激增して締切までには恐らく定員を突破するだらうと鐵道事務所では觀てゐる 參加者は左の事項に注意されたい

一、發車は二十八日二十二時五十分で疊敷込みの客車が二輛連結してあり成るべく早くお乘込みを願ひます
二、安東には二十九日十九時に到着します、到着後驛ホーム食堂で辨當を特價で會員に賣ることゝなつてゐますから御入用の方は御買求め下さい
三、朝飯が濟んだら鴨綠江の鐵橋が八時半に開きますから乘船券一枚金二十錢(但し小人十錢)所持の方は乘船の準備を願ひます(案內者の道案內で江岸船着場へ御出で下さい)
四、乘船を希望されない方は鎭江山へ行かれても宜敷うございます
五、船遊びが濟んだら鎭江山へ向ひます
六、鎭江山麓には湯茶の用意がしてあります
七、安東見物が終り五龍背溫泉へ御入浴希望者は安東發午後四時發の汽車で先發を認めます但し會員章は必ず御携帶下さい
八、安東發は二十九日二十時四十分、五龍背發は二十一時半發で五龍背に入浴の方は四時間暇があります
九、安東驛で午後五時頃から客車を側線に留置いてありますから御休憩所として御利用下さい
一〇、毛布その他携帶品は客車で預つて具れます
一一、不案內のことは驛員及び赤腕章を附ける係員に御問合せ下さい

なほ申込締切は本日正午までとなつてゐるが驛の案內所では便宜上發車直前まで申込みを受けることになつてゐる、但し定員に達した場合はお斷りすることがあるかも知れぬ

忠靈塔 春の招魂祭 來る卅日に

來る三十日午前十時より千代田通忠靈塔に於て春季招魂祭を執行さるが軍隊、各學校生徒其他の團體多數の參拜で非常な賑はひを呈するだらう、尚各官衙學校、會社、銀行は一日休業する

五月一日から大掃除

奉天驛附屬地內の春季淸潔法は來る五月一日から五日間左の日程で施行される

一日 日吉町、宮島町、芳野通り末廣町各派出所管內
二日 加茂町、本署、隅田町、文官屯、虎石臺各派出所管內
三日 浪速通り、千代田通り、新城子、渾河各派出所管內
四日 奉天驛前、紅梅町、蘇家屯、與家屯 楡樹臺各派出所管內
五日 青葉町、平安通り、陳相屯、姚千戶屯各派出所管內

又も電話線盜まる 奉天文官屯間で

奉天、文官屯間に又復電話線の盜難事件があつた、廿五日午後六時半ごろ文官屯を南方に距る千五百米の地點にある遞信局の電信電話線長さ四十米突廿九本を切り取り逃走せんとする支那人二名を守備兵が認め直ちに追跡逮捕せんとしたが、夕闇にまぎれそのまゝ姿を晦まして仕舞つたので、引續き犯人嚴探中である

夫の死を果敢み劇藥自殺

市內蓼町三番地露人樂士ソロウイヨフ(三〇)妻テイミテレウナ(二五)が劇藥を嚥下し自殺を企てゝゐるのを廿五日午前十時ごろ同僚のものが發見し直に富士町露人開業醫師を呼び應急手當を施した結果、幸ひ生命だけは取止めることが出來た、原因はソロウイヨフは昨年十二月來奉し商埠地の國際ダンス場で樂士として働いてゐたが、二十四日午後七時ごろ肺結核で死亡し極度に悲觀した末同夜九時ごろ毒藥を飲み苦悶中を翌朝發見されたものであると

醫大醫院で健康相談に應ず

醫大醫院では滿洲公私經濟緊縮委員會主催の健康週間に參加し本月三十日から來月二日までの三日間午後二時から四時まで健康相談に應ずることになつたので市民多數の利用を歡迎すると

町の便り

當地々方事務所地方係りでは安東地方係と庭球及び野球の對抗試合を安東に於て行ふ事となつたので選手一行は廿八日出發の豫定
◇
小西邊門外雜貨商裴順洋行の岡持夫妻殺し犯人については總領事館警察に於て引續き搜査中であるが未だ逮捕するに至らず事件は迷宮に入りはしないかと心配されてゐる

人事

▲寺內守備隊司令官 廿六日安奉線にて來奉
▲平野滿鐵學務課長 廿六日來奉
▲田村同興業部長 二十五日過奉歸連
▲森島奉天領事 廿五日夜赴旅
▲佐原盛京時報社長 廿五日歸奉
▲波田鐵道部參事 廿五日歸連
▲松田關東廳高等課長 廿五日旅順より過奉撫順へ

四平街

川野驛員の妻女鄕里へ

去る三月二十六日朝當驛々員川野末後が三江口方面に狩獵に行きしまゝ行方不明となり驛當局者は元より我官憲及び縣人會の有志が全力を傾倒してその搜査に努めしは既報の如くであるが爾來一ケ月を閱する今日消息杳として知る由なく全く萬策盡きて近時稀有のことゝして成行に委ねるに外なく、從つて生還は最早望み難きより嫁後六ケ月の妻女トリは本年四歲の幼兒を伴ひ驛當局者に慰められ去る二十四日孤影悄然故里鹿兒島に歸省した

營口

驛前の擴張

營口驛では驛前支那家屋取拂の結果同處を客馬車駐車場にあて自動車駐車場を警察派出所の南方へ設け人力車駐車場の一部を同派出所の東北方へ移し附近の樹木は移植又は取除くことになつた從來不便と狹隘とを感じて居た驛附近も之が爲に面目を一新し警察取締上にも非常に便利とするであらう

氏子總代會

二十八日午後六時から滿鐵俱樂部に營口神社氏子總代會を開き四年度の祭事及び決算五年度豫算神社十年祭に關する事項を附議した

長春

不思議に命拾ひ 遭難ボーイ

二十四日の邦人及川夫妻遭難の側杖を喰つて頭部その他に彈丸を浴びせられ危篤に瀕してゐる同家のボーイ趙振良(二〇)は賊の彈丸を額に受け彈は後頭部の皮下に留つてゐるが不思議にも今尙生命をとりとめてゐる、右に關して專門家の言に依れば彈丸は頭蓋骨に當つてそれ皮膚と骨との中間を通り頭を一廻りして後頭部に達したものらしくかくの如き例は往々あるが額から後頭部まで通つた例は稀らしいと

領事館內の邦人々口調

長春領事館管內邦人々口は三月末現在に於て內地人一萬六千八百二十八人、戶數四千四百二十一人、朝鮮人々口三千五百三十五人戶數七百六十九、臺灣人々口十一人、戶數四、總計人口二萬三百四十七人、戶數四千百九十四で內地人の分布狀態は滿鐵は附屬地一萬六千四百三十三人(戶數四千二百九十三)寬城子以南東鐵沿線二十八人、附屬地接壤地百八十人でその他は德惠、長春、懷德、梨樹、伊通各縣に散在するものである、朝鮮人は附屬地の千五百五十九人を除いては伊通縣の九百八十一人、懷德縣の六百三十一人が最も多い

鐵嶺

電燈料の値下げ 愈よ近く實現せん

鐵嶺に於ける電燈料値下運動は既報の如く商友會が其烽火を擧げたので市中にも贊同者多く商工會議所からも電燈局に對し値下促進の警告文を發するなど漸く表面化して來たが電燈局でも夙に値下の要求を豫期してゐた事とて事情を具し値下認可の申請書類を關東廳に提出したる由につき何れ近日中に認可實施を見るであらう

益濟寮演藝會

益濟寮創立十七周年記念の演藝會は二十八日午後六時より公會堂を會場とし無料で一般に公開されるが、寮員有志のハーモニカ、落語尺入合奏や演藝では店の夜番、義理のしがらみ、鐵の腦等かなり大物がある

協拓農場開き

公主嶺農事實習所卒業生藤永小次郞、一ノ瀨逸次、嶽下傳、金子太郞の四名は母校において實習した近代的農業教育を基礎とし滿洲において獨立せんと協同の下に當地鐵西百五十町歩の耕地を借受け協拓農場を開設したるが、二十七日午前十一時より在鐵知名士を招待今後の指導援助を依賴したが出席者は何れも其前途を屬望してゐる

上田氏辭任

鐵嶺輸入組合書記上田武弘氏突然一身上の都合といふので二十五日限り辭任し代理事務は當分の間石炭組合の田代支配人が執務すると

海城

禮砲やら大相撲 野砲隊の天長節祝賀

來る二十九日の天長節に海城野砲隊では午前八時三十分から營內酒保前空地で莊嚴なる式を擧げ、同十時からは西練兵場で分列式、同十一時からは海城神社前で禮砲式を擧行午後一時から午後三時頃まで野砲隊內の大相撲場で官民合同の大相撲が行はれる、何にしろ野砲隊は猛者揃ひの事であるから勇壯なる取組を見せる事であらう

哈爾賓

五月の催し物

春になると例年各種の催し物が多いので昨今の滿鐵社會係りは繁忙を極め久永主事以下轉手古舞の有樣だが主なる計劃を擧げると

▲五月十一日兒童デー
▲同十一日より十七日まで第二回乳兒審査會
▲同十八日 體育ボール競技會
▲同二十日 四家房子醸及び宮內省樂手(ヴアイオリン)杉山長谷夫氏演奏會
▲同二十五日 職業女子研究會の吉林龍潭山行き

經費の關係で 東北防衞隊の組織困難

松黑江防艦隊副司令として着任した謝剛哲少將は日本の商船學校出身で、卒業後は横須賀海軍機關學校に入り砲術其他を研究した人物であるが、松黑の江防問題について語る

露支紛爭の際同江附近で沈沒した軍艦の引揚げ作業は約七八萬圓を要するので一寸見込がない修理されないので行けない、江下流の狀況觀察も利捷號がまだ防艦隊は經費の關係上使用に堪える程の準備を整へ難いのは甚だ遺憾である

東北江防艦隊もこの調子では下流ソウエート領に對し滿足な防衞隊を組織の實現可能性は乏しい

惡い病氣が流行る

氣候の變り目、木の芽が出る頃になると色々の流行病菌が飛び出す最近廿二名の發疹チブス患者が中央病院に收容された、死亡する者も多い、其れに日本人側では感冒で急性肺炎に變る者もあり一般家庭では時候に對する注意が肝要である

ロータリー俱樂部の成立はうれしい 產婆役の佐原篤介氏語る

ロータリー俱樂部哈市支部發會式の產婆役として佐原篤介氏と天野三井支店長が來哈したが佐原氏は語る

哈爾賓にも俱樂部を設けるため東京からセールフレザーの支店長が來たこともあつたが、言語の關係から組織することは六ケしいとあつたのが成立するに至つたことは嬉ばしい、出來れば長春と安東の二箇所にも亦組織されたいものだと思ふ、さうなれば大連、奉天、ハルビンと五ケ所になり滿洲だけで各支部の會議も開くことができるのであるから是非そのやうにしたい、ロータリーの發生地はシカゴから世界を七十箇管區に分ち其のうちには日本本土、朝鮮を含むが北海道、臺灣は這入らず滿洲は其の一つとなつてゐるが五ケ所の俱樂部が產れたなら大成功だ

廿四日午後七時からモデルで發會式が盛大に擧行され同夜佐原氏は南下歸奉した

濱江雜俎

五月一、二の兩日民會公會堂で春期補痘を施行
◇
五月九日から十一日の三日間公會堂で美術協會の主催で繪畫展覽會を開催
◇
重松副領事は約一週間の豫定で長春、奉天、吉林、旅順を視察のため廿四日午後二十時四十分で出發し各地領事館を訪問し最近の狀況を調査

安東

平北體協總會

平北體協の定期總會は二十三日午後六時より安東縣鴨江春に於て開催、出席者三十餘名、前年度所管事項の槪況を各部長より報告、次で昭和五年度豫算案を附議、新に蹴球を陸上競技部に加ふる事となし他は原案通り決定し終つて開宴午後九時散會した

尙ほ五年度豫算は歲入經常部二千二百八十六圓、同臨時部八百五十圓、計三千百三十六圓、歲出經常部二千九百五十六圓、同臨時部百八十圓、計三千百三十六圓にして、前年度に比し一千百九十二圓の減少である

紹介業者にお灸

當地三番通居住の藝酌婦紹介業北[illegible]風間三郎は惡辣なる方法で藝酌婦の生血を絞つてゐた事其の筋の知る處となり先日營業停止の處分をうけた

天長節奉祝宴出席

從來總督主催の天長節奉祝宴には京城在住者のみ招待されて居たが本年よりは範圍を廣め全鮮に亘つて有力者が招待される事となり、平北よりは多田榮吉、宮川李昌錫、劉遠東弘の三氏が列席する由

奉祝生花會

安東縣橋會では來る廿九日より五月一日まで三日間五番通幼稚園において奉祝献花會を催す由

國境雜信

安東山岳會主催の平北寧邊郡鍾乳洞探險は二十七日安東發の豫定であつたが、無期延期となつた
◇
當地山梨縣人會では二十七日家族午前十一時から鎭江山に於て春季會を催した
◇
全滿憲兵分隊武道大會に安東分隊から犬童、前田兩選手の外數名參加に決し、猛稽古を續けてゐる

瓦房店

小學校に衞生婦を置く

瓦房店小學校に五年度より學校衞生婦を配置する事となり廿三日附草野やす氏任命せられた、草野氏は內地福岡縣及滿鐵醫院等に於て看護婦助產婦等を勤務せる頗る適任者である

公主嶺

天長節式次

公主嶺の天長節は午前八時公主嶺神社において天長節祭典擧行、同九時小學校講堂において全校生徒の御眞影拜賀式、同三十分守備隊練兵場に觀兵式擧行、十時三十分市民御眞影拜賀、十一時三十分小學校講堂において官民合同の祝賀會を開催することゝなつた

巡補殺し逮捕

旣報市內川岸町一丁目燒草商方を襲ひ同店に居合はした李巡捕を射殺拳銃を奪ひ逃走した三名の馬賊に對し嚴探中、孫房子附屬地東端の支那宿に賊の一味が潛伏し居るを探知した公主嶺警察署同所警官派出所勤務張巡捕は、二十二日午前六時三十分該支那宿を臨檢賊を發見捕縛せんとするや頑強に抵抗所持の拳銃を取出した刹那、張巡捕は之れを奪ひ戶外に投げ捨て大格鬪の上取押へた、賊は有力なる被疑者で目下嚴重に取調べ中である

電氣實演會

公主嶺家庭研究所主催當地電燈會社後援の「電氣の實演會」は二十五日午後一時滿俱樓上に開催、電氣に就てと題する講演を終り備田菓子店出張電氣の菓子燒き、飯のたき方、魚の燒き方洗濯機、掃除器アイロン等の使用狀態の實演をなし電氣で燒いた菓子、電氣で沸した茶を供し家庭生活に於ける電燈、電熱の智識を普及し多數の來觀者に盛況を呈し四時閉會した

遼陽

天長節の拜賀式 領事館にて

遼陽領事館に於ける天長節當日の御眞影拜賀式は午前九時三十分から十時三十分迄と定められた

結核豫防デー

遼陽警察署では廿七日早朝から當署員の總動員を行ひ警察取締營業者の飮食器具の檢査實施する外結核豫防の宣傳をなし特に學校側と協議の上小學校に對し「肺病とは如何なるものか之が豫防方法の大要を述べよ」といふ如き課題をなし答案を求むる外兒童を通じて家庭に豫防上の注意をなす處があつた

五一節の警戒

遼陽縣政府では遼寧省からの訓電に基き五月一日に民國青年共產黨員が中堅となり國際勞働節の名稱の下に全國總罷業を企てんとする風聞ある故管內淸鄕を督勵して嚴重查察警戒をなせと

少女歌劇來演

日本少女歌劇座一行は滿鐵社會課の後援で沿線各地に於て社員及び家族其の他一般の慰問をなすと遼陽は五月十四日遼陽座に於て開演入場料は特等社員一圓五十錢、一般二圓、一等社員一圓、一般一圓五十錢

圍碁會

遼陽社員俱樂部の圍碁部では廿七日正午から日本間で春季圍碁大會を開催したが參加者三十餘名で極めて盛會であつた

探偵小說 女妖 (75)

江戶川亂步 作
橫溝正史
伊藤幾久造 畫

霧の運河(二)

牛松が倉庫の窓から覗いて呟いたやうに、外はひどい霧が立ち罩めてゐた。

倉庫だの工場だのゝ間にある空地の向ふに、セーヌ河の水が乳色ににぶく光つてゐる。其處に繫つてゐる小蒸汽の灯が、煤けたやうに赤黑く光つてみえた。

ジャランジャランと鳴るのは、その深い霧の中を航行してゐる蒸汽達の、互の警報であらう。

河沿ひの、とある古工場の中で今しも數人の男が車座になつて何か惡い手遊びにふけつてゐた。どれを見ても荒くれた髯むしやの男たちで、いづれも職にあぶれた泥溝鼠たちであらう。彼等は晝になると、街の方々をうろついて、何かしらんパンにありつける仕事を見つけて來る。そして一日の勞銀を、パンと酒とにかへると、夜はこの古びた工場の軒の下で、餓えたやうな生活を送つてゐるのであつた。

「ブル、、、！寒い、今夜は又やけに霧の深い晩だぜ。かうして坐つてゐても、じつとりと着物が濡れて來るぢやねえか」

「さうよなア、こんな深い霧を見たのは、何年此方ねえことだ。何か嫌な事が起りさうな晩だぜ」

彼等は低い聲で口々にそんな事を言ふと、後はむつつりとして、又しても汚れたトランプの方へ眼をやつた。

その時、工場の表の方で、ゴトゴトといふ靴の音がしたかと思ふと、一人の老人が覗いて、

「一寸御訊ねします。この邊にお象といふ女は居りませんかね」

と聲をかけた。

「お象さん？」

トランプに夢中になつてゐた男達は、ぎよつとしたやうに振返つたが、見ると、これもあまり服裝のよくない老人の樣子に安心したものか、

「さアてね、何をする女だか知りませんが、この邊に女はあまりゐませんぜ」

「さうですかね。何んでも確にこの邊りに男と二人で隱れてゐるといふやうな話を聞いたんでございますが」

老人は途方にくれたやうな顏持をした。

「男と二人で……？して、その男といふのは何をする人なんですか？」

「さあ、何をする男だか……いづれこんな所に隱れ樣といふんですから、大槪は知れてゐますがね」

老人は淋しく笑つた。

この老人、讀者諸君も或は記憶があるかも知れない。[illegible]巣街の死美人と共に滿洲から歸つて來たといふ、あの庄司三平である。いつか、蛭田檢事の許に、死美人の身元を知つてゐると言つて屆けて出た男。然し、その當夜、安藤婆さんが何者ともなく殺害されたので折角目星のつきかけた死美人の身許が、再び五里霧中に入つた事は讀者諸君もよく御記憶であらう。

然し、その庄司三平が、何の故あつて、牛松の情婦お象を探してゐるのであらうか。

「一體、そんなお象さんといふのは幾ら位の年頃ですかね。一寸、思ひ當る事がありますが」

トランプに夢中になつてゐた一人の男が、ふと、何か思ひ出したやうにさう聲をかけた。

「ハイ、今年で確か二十六、一寸垢拔けのしたいゝ女でしたが、何でも、男といふのは牛松とかいふ名前でしたが……」

「おゝ、それなら……」

とトランプ組の連中は一齊に庄司老人の方を振返る。

「えツ、ぢや、お心當りがございますか」

老人はいそいそとして中へ踏込んだ。